

HP Asset Manager

ソフトウェアバージョン : 5.10

調達

ドキュメントリリース日 : 16 September 2008
ソフトウェアリリース日 : September 2008



法的制限事項

著作権

(c) Copyright 1994-2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、または複製するには、HP からの有効なライセンスが必要です。

FAR 12.211 および 12.212 準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

保証

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HP は本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

商標

- Adobe®, Adobe logo®, Acrobat® and Acrobat Logo® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, Windows Mobile® and Windows Vista® are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered trademark of Oracle Corporation and/or its affiliates.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

目次

はじめに	13
調達モジュールの使用ユーザ	13
調達モジュールの使用目的	14
このガイドの使用方法	14
このガイドの使用方法	16
実用例に関する一般情報	18
表記規則	19
I. 概要	21
1. 一般概念	23
カタログ	23
調達サイクル	25
特定テーブルでの階層属性の影響	29
2. 準備段階	31
3. 適切な参照レコード	35
基本概念	35
実用例1 - 適切な参照レコード	36

4. カタログ	45
基本概念	45
手順	47
実用例2 - 単純カタログ	49
実用例3 - オプション	54
5. 調達サイクル	59
基本概念	59
調達サイクルのトラッキング	60
実用例4 - 完全調達サイクル	61
6. 依頼	67
基本概念	67
手順	68
実用例5 - 標準依頼	76
7. 予約	81
基本概念	81
手順	82
予約のキャンセル	83
既存の予約の表示	84
実用例16：ウィザードを使用した予約の作成	84
8. 見積	89
基本概念	89
手順	90
9. 発注	95
基本概念	95
標準発注	96
一括発注	99
実用例6 - 一括発注	102
10. 受領、実行、作成、返却	107
基本概念	107
手順	108
実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する	113

11. 請求書	121
基本概念	121
手順	121
12. コスト	125
基本概念	125
実用例15 - コスト	128
13. 依頼のセルフサービス	139
基本概念	139
インストールと設定	144
用途	152
II. 特別な例	155
14. 複合製品	157
基本概念	157
実用例8a - 複合製品	158
実用例8b - 複合製品	164
15. 依頼オプション	171
基本概念	171
プロセス	172
実用例 - 依頼オプション	172
16. 計量単位	173
基本概念	173
実用例9 - 計量単位	174
17. パッケージング	181
基本概念	181
手順	182
実用例10a - パッケージング	183
実用例10b - パッケージング	188
18. 取得予定の品目の予約	195
基本概念	195

プロセス	195
実用例11 - 予約	196
19. 交換	209
基本概念	209
手順	209
実用例12 - 交換	210
20. 作業指示	215
基本概念	215
手順	216
実用例13 - 作業指示	218
21. 在庫の自動再発注	225
22. リース	227
基本概念	227
手順	228
23. 契約	231
基本概念	231
手順	231
実用例14 - 契約	233
III. 付録	241
A. 用語解説	243
資産	243
カタログ	244
分類の基準	244
分類コード	244
発注	245
標準発注	245
発注された品目のレコードを受領前に作成する	245
調達サイクル	245
依頼	246
標準依頼	246
見積	247
ポートフォリオ品目	247

実行	248
請求書	248
オプショングループ	248
依頼明細	248
発注明細	249
見積明細	249
請求明細	249
受領明細	250
モデル	250
属性	251
オプション	251
製品	252
返却	252
受領	252
カタログリファレンス	253
予約	253
オーバースペック	253
計量単位	253

索引	255
---------------------	------------

図の一覧表

1.1. カタログ - 作成	24
1.2. 調達サイクル - 段階の概要	25
1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明	26
4.1. オプション - 原則	47
6.1. 調達サイクル - 依頼	68
7.1. 調達サイクル - 予約	82
8.1. 調達サイクル - 見積	90
9.1. 調達サイクル - 発注	96
10.1. 調達サイクル - 受領	108
11.1. 調達サイクル - 請求書	121
13.1. 依頼のセルフサービス - 概要	141
16.1. 計量単位	173

表の一覧表

1. 調達モジュール - 関連従業員	13
1.1. カタログ - 作成	24
1.2. 調達サイクル - 段階	26
1.3. 階層テーブル - 影響	29
2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス	31
4.1. オプション - 原則	46
5.1. 調達サイクル - 段階	59
5.2. 調達サイクル - [トラッキング] タブ内のアイコン	61
6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート	73
6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート	76
9.1. 依頼 - 発注の進捗ワークフロースキーム	98
12.1. 経費 - 資産	126
12.2. 経費 - 研修	127
12.3. 経費 - 契約	127
12.4. 経費 - 契約外メンテナンスおよび契約メンテナンスタイプの作業指示	127
12.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示	128
20.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート	217
20.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート	218

はじめに

調達モジュールの使用ユーザ

調達モジュールは、Asset Managerによる商品およびサービスの調達管理を希望する企業向けです。

調達モジュールは、以下のユーザが使用します。

表 1. 調達モジュール - 関連従業員

タスク	従業員
カタログを管理する	<ul style="list-style-type: none">■ 調達部管理者■ 購入者
依頼を管理する	<ul style="list-style-type: none">■ 自分の依頼を作成する従業員■ 他の従業員の依頼を記録する従業員■ 依頼を承認する従業員
見積と発注を管理する	<ul style="list-style-type: none">■ 発注する従業員■ 発注を承認する従業員
受領および返却を管理する	<ul style="list-style-type: none">■ 発注された製品とサービスを受領および返却する従業員
請求書を管理する	<ul style="list-style-type: none">■ 請求書を記録する従業員

調達モジュールの使用目的

調達モジュールでは、以下の製品およびサービスの取得を管理できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 契約の使用
- 研修会
- ケーブル

調達モジュールでは、これらの品目を受領するときに品目をそれぞれのテーブルに作成できます。

このガイドの使用方法

「概要」

「一般概念」の章

調達モデルの必要条件、モデルの作成、調達サイクルの管理、商品とサービスの受領時に特定テーブルの階層属性に与える影響について概要を示します。

「準備段階」の章

この章では、調達モジュールを使用するために必要になる条件とデータベースを準備する方法を説明します。

「適切な参照レコード」の章

この章では、参照レコードを調達モジュールに合うように構成する方法を説明します。

「カタログ」の章

この章では、サプライヤの商品を記述する方法を説明します。

「調達サイクル」の章

この章では、調達サイクル内の一連の段階について説明します。

「依頼」の章

この章では、依頼を管理する方法について説明します。

「予約」の章

この章では、予約を管理する方法について説明します。

「見積」の章

この章では、見積を管理する方法について説明します。

「発注」の章

この章では、発注を管理する方法について説明します。

「受領、実行、作成、返却」の章

この章では、商品とサービスを受領する方法と返却する方法について説明します。

また、受領プロセスの前にデータベースにレコードを作成する方法について説明します。

「請求書」の章

この章では、受領した商品とサービスの請求書を処理する方法について説明します。

「コスト」の章

この章では、取得コストにリンクされた情報を管理する方法について説明します。

「特別な例」

「複合製品」の章

この章では、製品バンドルを管理する方法について説明します。

「計量単位」の章

この章では、調達プロセスで計量単位を記載する方法について説明します。

「パッケージング」の章

この章では、調達プロセスでパッケージングの各種フォームを処理する方法について説明します。

「取得予定の品目の予約」の章

この章では、取得する予定のポートフォリオ品目を予約する方法について説明します。

「交換」の章

この章では、資産を交換する方法について説明します。

「作業指示」の章

この章では、作業指示の取得を管理する方法について説明します。

「在庫の自動再発注」の章

この章では、自動による在庫再発注を管理する方法について説明します。

「リース」の章

この章では、リース資産の取得を管理する方法について説明します。

「契約」の章

この章では、発注した資産と契約間の関係を管理する方法について説明します。

「付録」のセクション

付録「用語解説」

用語解説では、調達モジュールで使用する基本用語の定義を示します。

このガイドの使用方法

それぞれの役割に応じて、このガイドにはさまざまな利用方法があります。

Asset Manager調達モジュールの実装者

実装者の場合、本ガイドを全部読んでモジュールの全容を把握することをお勧めします。

調達部管理者

- 1 「一般概念 [献 23]」の章

購入者

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「カタログ [献 45]」の章

- 3 「調達サイクル [献 59]」の章
- 4 「依頼 [献 67]」の章
- 5 「予約 [献 81]」の章
- 6 「見積 [献 89]」の章
- 7 「コスト [献 125]」の章
- 8 「複合製品 [献 157]」の章
- 9 「計量単位 [献 173]」の章
- 10 パッケージング [献 181]の章
- 11 「取得予定の品目の予約 [献 195]」の章
- 12 「交換 [献 209]」の章
- 13 「作業指示 [献 215]」の章
- 14 「在庫の自動再発注 [献 225]」の章

依頼を記録するユーザ

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「調達サイクル [献 59]」の章
- 3 「依頼 [献 67]」の章
- 4 「予約 [献 81]」の章
- 5 パッケージング [献 181]の章
- 6 「取得予定の品目の予約 [献 195]」の章
- 7 「交換 [献 209]」の章

依頼を承認する従業員

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「依頼 [献 67]」の章

発注する従業員

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「準備段階 [献 31]」の章
- 3 「適切な参照レコード [献 35]」の章
- 4 「カタログ [献 45]」の章
- 5 「調達サイクル [献 59]」の章
- 6 「依頼 [献 67]」の章
- 7 「見積 [献 89]」の章
- 8 「発注 [献 95]」の章
- 9 「複合製品 [献 157]」の章

- 10 「計量単位 [献 173]」の章
- 11 パッケージング [献 181]の章

発注を承認する従業員

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「受領、実行、作成、返却 [献 107]」の章

発注を受領するユーザ

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「調達サイクル [献 59]」の章
- 3 「受領、実行、作成、返却 [献 107]」の章

請求書を記録する従業員

- 1 「一般概念 [献 23]」の章
- 2 「請求書 [献 121]」の章

実用例に関する一般情報

実用例を実行するためには、各手順を指定の順番で全部行う必要があります。

ヒント:

実用例に指定されたレコードを作成する場合、電子形式（PDFまたはCHM）の本ガイドから値をコピーしてAsset Managerの必要フィールドに貼り付けることができます。

記載されているのは基本的なフィールドとリンクのみです。その他のフィールドとリンクについては、自分で調べて検討してください。

以下の実用例を最初に実行してから、その他の実用例を実行する必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

Windowsクライアントを使用している場合

実用例を実行する場合、以下を実行しておく必要があります。

- 1 Asset Managerデモ用データベースに接続します。

- 2 少なくともポートフォリオ、調達、ファイナンス、ケーブル、契約モジュールを使用できるようにします（[ファイル/モジュールの起動]メニュー）。



ヒント:

フィールドの状況依存ヘルプ（[Shift + F1]）に有用な情報が表示されます。

表記規則

このガイドでは、次の表記規則を使用しています。

表記	説明
Java Scriptコード 等幅フォント	コードやコマンドの例 DOSコマンド、関数のパラメータ、またはデータフォーマット
...	コードまたはコマンドの省略部分
注意: 補足情報	注意事項
重要項目: 以下の注意事項は...	重要な情報
ヒント: 使用上のヒント...	ヒント
警告: 警告	特に注意が必要な情報
[目的]	Asset Managerのインタフェースのオブジェクト：メニュー、タブ、ボタン

次の表記方法も使用しています。

- 操作の手順は、例のように番号を順番に付して説明します。例：
 - 1 手順1
 - 2 手順2
 - 3 手順3
- 図や表には、各章ごとに順番に番号が付いています。例えば、第2章の4番目の表には、「**表2-4**」という番号が付きます。

I 概要

1 一般概念

カタログ

カタログは、サプライヤに発注する対象を記述するために使用します。
カタログは、別々の段階で構成されており、以下の図に簡単な説明を示し、表に詳細を示します。

図 1.1. カタログ - 作成

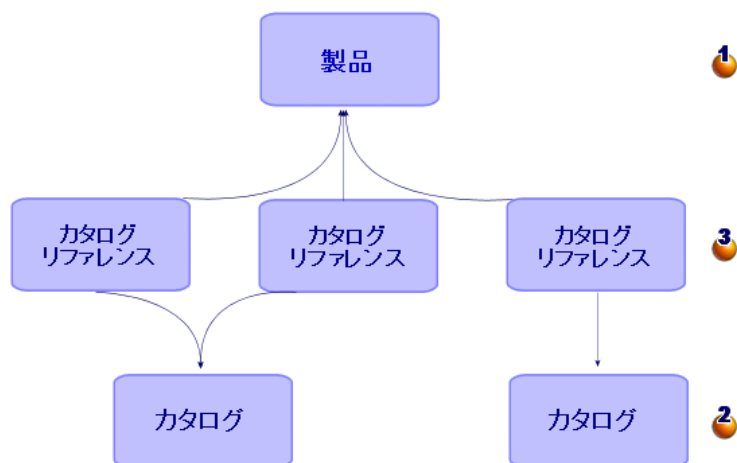


表 1.1. カタログ - 作成

段階	コメント
1 製品	<p>製品を作成することから開始します。</p> <p>製品とは、サプライヤから購入できるハードウェアまたはサービスです。</p> <p>例：HP Compaq dc7600コンピュータ、Microsoft Word 2003の研修</p> <p>製品には、表記価格がありますが、サプライヤの取引条件はありません。</p> <p>カタログの作成には、いくつかの標準化された方法があります。</p> <p>例：UN/SPSC標準</p> <p>製品作成時には、これらの標準に準拠して行います。</p>
2 カタログ	<p>続いて、カタログを作成します。</p> <p>カタログは、任意のサプライヤから製品を取得する時の条件を指定するリファレンスの一式です。</p> <p>例：Computer Companyから入手可能なHP Compaq製品のカタログ</p>

段階	コメント
3 カタログリファレンス	最後に、 カタログリファレンス をカタログに追加します。 カタログリファレンス は、指定サプライヤの任意の 製品 を取得するための取引条件を説明します。 例：HP Compaq dc7600コンピュータに対するサプライヤComputer Companyの取引条件 複数のサプライヤで入手可能な場合、1つの 製品 が複数の カタログリファレンス によって参照されます。

調達サイクル

調達サイクルでは、Asset Managerデータベース（属性、モデル、従業員、場所など）のコアエリアも使用します。

▶ 属性 [献 251]およびモデル [献 250]。

調達サイクルには次に示す段階があります。下記の最初の図を簡単に説明し、図と表で詳細に説明します。

図 1.2. 調達サイクル - 段階の概要

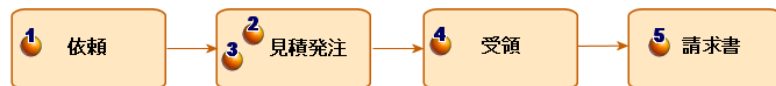


図 1.3. 調達サイクル - 段階の詳細説明

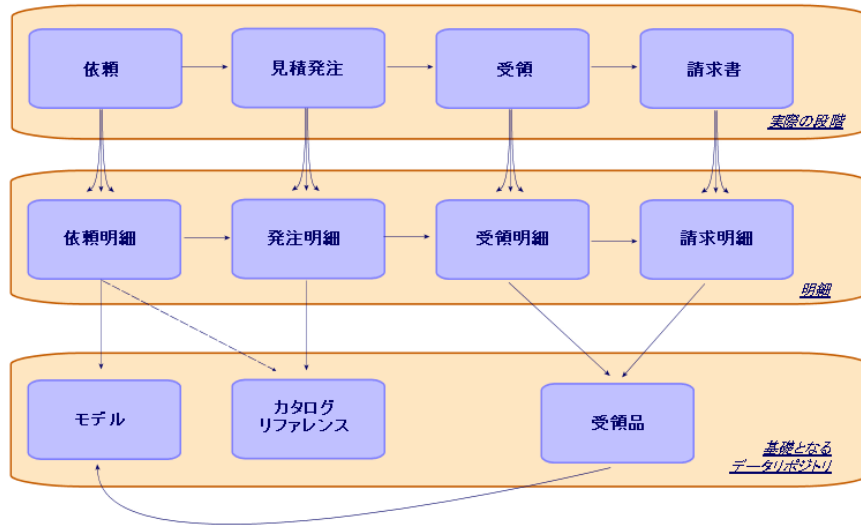


表 1.2. 調達サイクル - 段階

段階	コメント
1 依頼	<p>依頼は要求を記述したものです。</p> <p>依頼は、依頼明細で構成されます。</p> <p>各依頼明細では、モデルを指定します。詳細な情報が必要な場合は、オプションのカタログリファレンスを指定することもあります。</p> <p>見積と発注を作成するためのベースとして、依頼が使用されます。</p> <p>依頼明細レベルで選択されたモデルは、品目またはサービスを受領時に作成するために使用されます。</p> <p>依頼明細の階層構造は、受領する品目またはサービスのレベルに引き継がれます。例：コンピュータの依頼明細を作成してから、コンピュータ依頼明細にリンクされた画面の依頼明細を作成します。依頼明細から作成された発注を受領する場合、画面はコンピュータにリンクされます。</p>

段階

2 予約

コメント

予約とは、保持されている、または保持予定の1つ以上のポートフォリオ品目を示します。

予約には、開始日と終了日があります（これらのフィールドは参照用です）。

各予約は、依頼明細と在庫にあるポートフォリオ品目に関連付けられています。

各予約により、予約テーブルに1つ以上のレコードが作成されます。

依頼が承認されると、予約が可能になります。

予約は見積の後でも行えますが、発注の前に行う必要があります。

依頼から発注が作成されると、在庫内で予約されたポートフォリオ品目は、発注するポートフォリオ品目の数から差し引かれます。

予約は、[在庫中資産の予約] ウィザード、または依頼明細の詳細画面で行えます。

3 見積

見積では、任意のサプライヤからの潜在的な購入について記述します。

見積は、見積明細で構成されます。

各見積明細は、カタログリファレンスを参照します。

見積は通常、依頼から作成され、この例の場合、サプライヤごとに別々の見積が作成されます。1つの依頼から無制限に見積が作成されることもあります。

依頼を経由せずに、見積を直接作成することもできます。ただし、モジュール機能への適合性が低下します。

見積は、承認されると、発注に移行します。

注意:

見積と発注は、同じテーブルに保存されます。違うのは、[ステータス] フィールドです。見積では以下に示すフィールド値があります。

- 準備中
- 見積依頼済
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済
- 却下済

段階

4 発注

コメント

発注は、指定のサプライヤから取得する対象について記述します。
発注は、発注明細で構成されます。

ヒント:

Asset Managerを使用すると、各発注明細が依頼明細に必ず関連付けられます。発注明細を追加するか依頼する数量を増やした場合、発注の際に、不足する依頼明細を作成するようAsset Managerによって促されず（[発行] ボタン）。

各発注明細は、カタログリファレンスを参照します。
発注は通常見積から作成しますが、依頼から作成することもあります。また、非常にまれなケースとして発注を直接作成することもあります。発注は、受領作成のベースとして使用されます。

注意:

見積と発注は、同じテーブルに保存されます。違うのは、[ステータス] フィールドです。発注では以下に示すフィールド値があります。

- 発行済
- サプライヤ側で受諾済
- 検収済

5 受領と返却

受領伝票は、指定サプライヤの配達を処理する際に受領する対象を記述します。

受領は、受領明細と返却明細で構成されます。
返却明細の各受領は、発注明細を参照します。
受領伝票は、通常発注依頼から作成されます。
発注の受領は、単一操作または複数操作で実施されます。
また、非常にまれなケースとして受領を直接作成することもあります。
発注は、受領作成のベースとして使用されます。

6 請求書

請求書は、サプライヤから受領した請求の記録です。

請求書は、請求明細で構成されます。
各請求明細は、カタログリファレンスを参照します。
請求書は通常、発注依頼から作成されます。
また、非常にまれなケースとして請求書を直接作成することもあります。
発注明細や受領伝票と請求明細との間に直接リンクを作成しません。

特定テーブルでの階層属性の影響

調達に直接リンクされたテーブルの中で、以下のテーブルが階層構造（レコードが同一テーブル内に親レコードを持つ）であり、細心の注意を払う必要があります。

表 1.3. 階層テーブル - 影響

テーブル	Asset Managerによるレコード間の階層関係の処理
モデル (amModel)	<p>モデルの階層構造の目的：</p> <ul style="list-style-type: none">レコードを簡単に利用できるように整理する 例：モデルの構造ハードウェア/コンピュータ/ラップトップ発注を依頼から作成すると、Asset Managerによって、各依頼明細に関連付けられたモデルが特定され、モデルと従属モデルに関連付けられたカタログリファレンスが提供されます。 <p>モデル間の階層リンクが受領時に作成されるレコード間の階層リンクに与える影響はありません。</p> <p>モデルを参照してそのモデルが従属モデルにリンクされる依頼明細を作成すると、発注を依頼から作成する場合にAsset Managerによって従属モデルの発注明細が作成されません。</p>
製品 (amCatProduct)	<p>製品の階層構造は、依頼を【見積を作成】ウィザードで見積に変換するか、【発注を作成】ウィザードで発注に変換する時にAsset Managerによって使用されます。</p> <p>各依頼明細は、ウィザードによってカタログリファレンスに関連付けられます。カタログリファレンスは製品にリンクされます。Asset Managerにより、本製品および各従属製品に対して発注明細が作成されます。</p> <p>従属製品の発注明細は主製品の発注明細にリンクされます。</p>
依頼明細 (amReqLine)	<p>Asset Managerによって、受領時に作成されるレコードのレベルまで依頼明細間の階層リンクが伝達されます。</p> <p>例：2つの依頼明細を作成し、片方がもう片方の親であるとしします。これらの依頼明細から発注を作成すると、Asset Managerによって依頼明細ごとに1つの発注明細が作成されます。ただし、発注明細間に階層関係はありません。発注を受領すると、Asset Managerは、発注明細から2つのレコードを作成します。依頼明細の階層関係を使用して受領品目間に階層リンクが作成されます。</p>
発注明細 (amPOrdLine)	<p>発注明細の階層構造は、参照専用です。デフォルトで、製品間の階層関係が反映されています。</p>
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)	<p>発注を受領すると、Asset Managerによって依頼明細間の階層リンクが使用され、ポートフォリオ品目間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAsset Managerによって参照されません。</p>
契約 (amContract)	<p>発注を受領すると、Asset Managerによって依頼明細間の階層リンクが使用され、契約間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAsset Managerによって参照されません。</p>

テーブル	Asset Managerによるレコード間の階層関係の処理
作業指示 (amWorkOrder)	発注を受領すると、Asset Managerによって依頼明細間の階層リンクが使用され、作業指示間の階層リンクが作成されます。モデル、製品、または発注明細の階層リンクはAsset Managerによって参照されません。

2 準備段階

調達モジュールの前提条件

調達モジュールを使用するには、Asset Manager ユーザライセンスによって以下のモジュールへのアクセスが付与される必要があります。

表 2.1. 調達モジュール - 必要なユーザライセンス

必要な機能	ライセンス範囲内で得られるモジュール
調達全般	調達
依頼のセルフサービス	ポートフォリオ
社内依頼の作成	ポートフォリオ
これは、ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンクではなく、[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクを使用した購入依頼の作成と同等です。	
ポートフォリオ品目の取得	ポートフォリオ
ケーブルの取得	ケーブル
作業指示の取得	ポートフォリオ
契約使用の取得	契約
取得経費の管理	ファイナンス
一括発注の管理	契約

調達モジュールに伴う本番データベースでの作業

データベースを使用するには：

- 1 Asset Managerをインストールします。
- 2 Asset Manager Application Designerを実行します。
- 3 データベースを作成して、調達モジュール専用の**専門分野データ**をインポートします（下記手順を参照）。
- 4 表調達モジュール - 必要なユーザライセンス [献 31]に記載されたモジュールを含むユーザライセンスを適用します。
- 5 Asset Managerを実行します。
- 6 データベースに接続します。
- 7 Windowsクライアントを使用している場合：[ファイル/モジュールの起動]メニューで、表調達モジュール - 必要なユーザライセンス [献 31]のモジュールを起動します。

データベース作成時の専門分野データのインポート

『管理』ガイドの「Asset Managerデータベースの作成、変更、削除 / Asset Manager Application Designerを使ってデータベース構造を作成する」の章に記述されている手順に従います。

[インポートするデータ] ページで、[調達 - 専門分野データ] を選択します。

専門分野データの既存データベースへのインポート

以下の方法で行います。

- 1 Asset Manager Application Designerを実行します。
- 2 [ファイル/開く] メニューを選択します。
- 3 [データベース記述ファイルを開く（新規データベースの作成）] オプションを選択します。
- 4 Asset Managerインストール先フォルダのconfigサブフォルダにあるファイル gbbase.xmlを選択します。
- 5 データベース作成ウィザードを起動します（[アクション/データベースの作成] メニュー）。
- 6 ウィザードのページを次のように入力します（ウィザードページの移動には [次へ] と [戻る] ボタンを使用します）。

[SQLスクリプトの生成/データベースの作成] ページ：

フィールド	値
データベース	レポートのインポート先にするデータベースへの接続を選択します。
作成	専門分野データをインポート
高度な作成オプションを使用	このオプションは選択しません

[作成パラメータ] ページ：

フィールド	値
パスワード	管理者のパスワードを入力します。
	<p>注意:</p> <p>Asset Managerデータベース管理者は、[名前] (Name) フィールドがAdminに設定された [従業員と部署] (amEmplDept) テーブル内のレコードです。</p> <p>データベース接続ログインは、[ユーザ名] (UserLogin) フィールドに保存されます。管理者名はAdminです。</p> <p>パスワードは、[パスワード] フィールド (LoginPassword) に保存されます。</p>

[インポートするデータ] ページ:

フィールド	値
使用可能データ	オプション [調達 - 専門分野データ] を選択します。
エラー発生時にインポートを中止	このオプションは、問題が発生したときにインポートを中止する場合に選択します。
ログファイル	エラーや警告などすべてのインポート操作を記録するファイルの完全名。

7 ウィザードによって定義したオプションを実行します ([完了] ボタン)。

Asset Managerインストールの詳細について

『インストールとアップグレード』ガイドを参照してください。

3 適切な参照レコード

基本概念

調達モジュールで必要になるリポジトリまたは参照レコードは、基本的に次のレコードで構成されます。

- 属性
- モデル
- ブランド
- 部署と従業員
- 会社
- 在庫
- コストセンタ
- コストタイプ

モデルには重要な役割があります。モデルは以下の目的で使用されます。

- 依頼明細を作成します。これにより、依頼された対象を指定できます。
- 発注品目が受領された時に発注品目を作成します（ポートフォリオ品目、作業指示、契約、研修、およびケーブル）。

モデルを調達モジュールで使用できるようにするには、**[購入依頼用に承認済]** (bRequestable) オプションを選択する必要があります（モデルの詳細画面、**[全般]** タブ）。



注意:

調達モジュールで使用可能なモデルを作成するために、すべての属性を使用できます。

実用例1 - 適切な参照レコード

はじめに

この簡単な実用例では、調達管理のための参照レコードの作成を紹介します。後述の実用例では、この実用例で作成したレコードが使用されます。

前提条件

前提条件はありません。

シナリオ

以下のモデルを取得するのが仕事です。

属性	ブランド	モデル
PC1 - コンピュータ	PC1 - HP Compaq	PC1 - デスクトップコンピュータ
PC1 - 画面	PC1 - HP Compaq	PC1 - XGA画面
PC1 - 画面	PC1 - HP Compaq	PC1 - SXGA画面
PC1 - モニタ	PC1 - HP Compaq	PC1 - SXGA 15インチモニタ (PC1 - SXGAモニタの従属モデル)
PC1 - モニタ	PC1 - HP Compaq	PC1 - SXGA 17インチモニタ (PC1 - SXGAモニタの従属モデル)
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー256
PC1 - USBキー	PC1 - Freecom	PC1 - USBキー512
PC1 - 外付けCDライター	PC1 - HP Compaq	PC1 - 外付けCDライター
PC1 - コンピュータ設定		PC1 - セールスエンジニア用の設定
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータのインストール
PC1 - 作業指示		PC1 - コンピュータの接続
PC1 - 契約		PC1 - 保証
PC1 - メンテナンス契約		PC1 - メンテナンス契約
PC1 - 契約		PC1 - 契約
PC1 - 研修		PC1 - コンピュータ基礎研修
PC1 - ケーブル		PC1 - 同軸ケーブル

これらのモデルは、会社「PC1 - MySupplier」から取得します。

会社に「*PC1* - 小林」氏という従業員がいます。
 会社に「*PC1* - 在庫」という在庫があります。
 次のコストタイプに対して、経費が割り当てられています。

- *PC1* - コンピュータ
- *PC1* - ケーブル
- *PC1* - 作業指示
- *PC1* - 契約
- *PC1* - 研修

資産の減価償却に計算式「*PC1* - 定額法」を使用します。
 経費は、コストセンタ「*PC1* - 本社」に割り当てられます。

作成

属性の作成

- 1 属性を表示します（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/属性] メニュー）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	<i>PC1</i> - コンピュータ
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	コンピュータ (amComputer)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	<i>PC1</i> - 画面
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	<i>PC1</i> - USBキー
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	<i>PC1</i> - 外付けCDライター
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目

フィールドまたはリンク	値
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	固有資産タグ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ設定
作成 (seBasis)	なし

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 作業指示
作成 (seBasis)	作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - メンテナンス契約
作成 (seBasis)	契約
契約のタイプ (seCtrType)	メンテナンス

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 契約
作成 (seBasis)	契約
契約のタイプ (seCtrType)	その他

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 研修
作成 (seBasis)	研修

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - ケーブル
作成 (seBasis)	ケーブル

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

ブランドの作成

- 1 ブランドを表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/ブランド] メニュー)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - Freecom

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - HP Compaq

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

コストタイプの作成

- 1 コストタイプを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理／コストタイプ] リンク）。
- 2 **【新規作成】** をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - ケーブル

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 作業指示

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 契約

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 研修

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

コストセンタの作成

- 1 コストセンタを表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理／コストセンタ] リンク）。
- 2 **【新規作成】** をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
ラベル (Title)	PC1 - 本社

- すべてのウィンドウを閉じます。

減価償却の計算式の作成

- 減価償却の計算式を表示します（ナビゲーションバーの【ファイナンス／減価償却／減価償却の計算式】リンク）。
- 【新規作成】をクリックします。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 定額法

- すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

- モデルを表示します（ナビゲーションバーにある【ポートフォリオ管理／モデル】メニュー）。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - デスクトップコンピュータ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
【全般】 タブ	
属性 (Nature)	PC1 - コンピュータ
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
【会計】 タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ
会計コード (AcctCode)	PC1 - CC001
タイプ (DeprScheme)	PC1 - 定額法
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - XGA画面
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
【全般】 タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
【会計】 タブ	

フィールドまたはリンク	値
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - SXGA画面
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 画面
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - SXGA15インチモニタ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
親モデル (Parent)	PC1 - SXGA画面
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - モニタ
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	<input type="radio"/>
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	19.6%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - SXGA17インチモニタ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
親モデル (Parent)	PC1 - SXGA画面
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - モニタ
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	<input type="radio"/>
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	19.6%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - USBキー256
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - USBキー512

フィールドまたはリンク	値
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - USBキー
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 外付けCDライター
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - セールスエンジニア用の設定
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - コンピュータ設定
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータの接続
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[作業指示] タブ	
タイプ (seWOType)	内部メンテナンス
[会計] タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 作業指示
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータのインストール
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 作業指示
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[作業指示] タブ	
タイプ (seWOType)	契約外メンテナンス
[会計] タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 作業指示

フィールドまたはリンク	値
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - メンテナンス契約
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - メンテナンス契約
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 保証
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 契約
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 契約
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ基礎研修
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - 研修
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 研修
税率 (pTaxRate)	7.75%

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 同軸ケーブル
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC1 - ケーブル
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
[会計] タブ	
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - ケーブル
タイプ (DeprScheme)	PC1 - 定額法
税率 (pTaxRate)	7.75%

3 すべてのウィンドウを閉じます。

従業員の作成

1 部署と従業員を表示します (ナビゲーションバーの [組織/従業員] リンク)。

- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
部署名/姓 (Name)	PC1 - 小林

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

サプライヤの作成

- 1 会社を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/会社] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - MySupplier

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

在庫の作成

- 1 在庫を表示します (ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/在庫] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 在庫

- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

4 カタログ

基本概念

カタログ

カタログでは、同一条件の製品を提供する複数のサプライヤの製品を記述できます。

ヒント:

通常、サプライヤとカタログは1対1に関連付ける必要があります（[サプライヤ] タブ）。

ただし、サプライヤが同一ネットワークに属し、同一の取引条件で同一製品を供給する場合、1つのカタログに複数のサプライヤを関連付けることができます。

カタログリファレンスはサプライヤに直接リンクされていません。カタログリファレンスのサプライヤは、カタログのサプライヤです。

このため、カタログリファレンスの取引条件が [サプライヤ] タブに表示されるすべてのサプライヤで同じ必要があります。

サプライヤリファレンスとモデル間のリンク

サプライヤが製品を記述する方法と、ポートフォリオ内のレコードのリンク先モデルとの間には直接の関係はありません。

ただし、それらのうち2つを発注済みカタログリファレンスの受領時にリンクする必要があります。

このリンクは製品を通して行われます。

- サプライヤ側では、製品に関連付けられたカタログリファレンスを発注します。
- ポートフォリオ側では、モデルに関連付けられたレコードを作成します。

製品とモデル間のリンクを使用することで、Asset Managerは発注の受領時にポートフォリオ内にレコードを自動作成します。

このため、Asset Managerはリンク発注明細 -> カタログリファレンス -> 製品 -> モデルに従っています。

外部カタログのインポート

インポート可能なフォーマットのカatalogデータがサプライヤから提示された場合、インポートおよび更新処理を自動化することができます。

このタスクを実施するためには、HP Softwareが開発したHP Connect-Itを使用します。HP Connect-Itは、さまざまなファイルフォーマットに対応しています。

Asset Managerの照合更新モジュールを使用することもできます（▶ 照合更新ガイド）。

製品に関連付けられたカタログリファレンスがサプライヤによって提示される場合、それらの各製品をAsset Manager参照レコード内のモデルに関連付ける必要があります。

オプション

Asset Managerでは、オプション選択が可能な製品を記述できます。

発注のオプションを処理するデフォルトの機能はありません。

発注でオプションを管理するためには、ウィザードを作成するか、既存のウィザードを必要に応じて変更します。

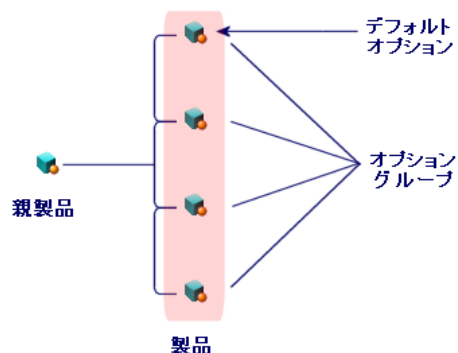
オプションに適用する原則を以下に示します。

表 4.1. オプション - 原則

原則	調達サイクルレベルでの結果	例
製品がオプションの従属製品（任意の数）で構成されている	カタログリファレンスを選択して発注を作成する際には、Asset Managerha、関連付けられた製品を特定し、主製品の従属製品に発注明細を追加するかどうかを自動的に調べます。	車には「CDプレイヤー」、 「複数枚のドア」などのオプションが使用可能です。

原則	調達サイクルレベルでの結果	例
オプションの従属製品がオプショングループに関連付けられている	発注時に、各オプショングループからオプション製品を選択する必要があります。	オプショングループドアの数には、次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 3ドア ■ 5ドア
オプショングループはオプションまたは必須	あるオプショングループが必須である場合、そのオプションをオプショングループから選択します。 それ以外の場合の選択は、オプションです。	<ul style="list-style-type: none"> ■ オプショングループドアの数は必須です。 ■ オプショングループCDプレイヤーはオプションです。
必須のオプショングループがデフォルトオプションに関連付けられている	発注作成時に、デフォルト値が自動的に使用されます。	オプショングループドアの数は、デフォルトでオプション5ドアに関連付けられています。

図 4.1. オプション - 原則



手順

実行順序

カタログは、以下の手順で簡単に作成できます。

- 1 カタログを作成します。
- 2 製品を作成します。
- 3 カタログリファレンスを作成します。

カタログを作成するには

- 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/カタログ]** リンク）。
- 2 カタログを作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

製品を作成するには

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/製品]** リンク）。
- 2 製品を作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

カタログリファレンスを作成するには

- 第1の方法：
 - 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/カタログ]** リンク）。
 - 2 リファレンスを追加するカタログを選択します。
 - 3 **[リファレンス]** タブを選択します。
 - 4 リファレンスを追加します（Windowsクライアントでは **[+]** ボタン、Webクライアントでは **[追加]** ボタン）。
 - 5 レコードの詳細を入力します。
- 第2の方法：
 - 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/カタログリファレンス]** リンク）。
 - 2 リファレンスを新規作成します（**[新規作成]** ボタン）。
 - 3 レコードの詳細を入力します。

オプション

オプション付きの製品を作成するには：

- 1 主製品を作成します。
 - 2 オプショングループを作成します。
 - 3 オプションを作成します。
 - 4 主製品とオプションの従属製品のカタログリファレンスを作成します。
- オプショングループを作成するには：

- 1 オプショングループを表示します（[管理/画面一覧]、[製品オプション] テーブル（amProdOption））。
- 2 オプショングループを新規作成します。
- 3 レコードの詳細を入力します。

オプション製品を定義するには：

- 1 製品を作成します（ナビゲーションバーの[カタログ/製品]リンク）。
- 2 オプション製品を作成します。
- 3 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
親レコード (Parent)	オプションの従属製品の上位の製品を選択します。
オプション (bOption)	オプションを選択します。
オプショングループ (OptionGroup)	オプションの従属製品がオプショングループに属する場合、このリンクを入力します。
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	オプションの従属製品がオプショングループに属してデフォルトで入力が必要な場合、このリンクを入力します。

実用例2 - 単純カタログ

はじめに

この実用例では、単純カタログを作成する方法を示します。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

ラップトップ「PC1 - HP Compaqデスクトップコンピュータ」は、会社「PC1 - MySupplier」に発注できるモデルの1つです。

これをカタログ内に記述します。

作成

カタログの作成

- 1 カタログを表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/カタログ]** リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - MySupplier
通貨 (Currency)	JPY (日本円)
[全般] タブ	
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
[新規作成] をクリックします。	
[サプライヤ] タブ	
	会社「 <i>PC1 - MySupplier</i> 」にリンクを追加します。
[変更] をクリックします。	
デフォルトサプライヤ (DefSuppCat)	PC1 - MySupplier

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ/製品]** リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - デスクトップコンピュータ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータのインストール
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - コンピュータのインストール

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 保証

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 保証

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータ基礎研修
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - 同軸ケーブル
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 同軸ケーブル

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - デスクトップコンピュータ
説明 (Description)	PC2 - デスクトップコンピュータ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	1000
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - コンピュータのインストール
説明 (Description)	PC2 - コンピュータのインストール
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	400
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 外付けCDライター
説明 (Description)	PC2 - 外付けCDライター
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	150
割引 (pDiscount)	0%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC1 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 保証
説明 (Description)	PC2 - 保証
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	50
割引 (pDiscount)	0%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - コンピュータ基礎研修

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC2 - コンピュータ基礎研修
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	200
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC2 - コンピュータ基礎研修 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC2 - 同軸ケーブル
説明 (Description)	PC2 - 同軸ケーブル
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	300
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier)

3 すべてのウィンドウを閉じます。

デフォルトのモデル用カタログリファレンスの定義

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/モデル] メニュー)。
- 2 以下のレコード (表の最初の行を使用して識別可能) を選択してから、下の表に示すようにフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - デスクトップコンピュータ
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのRef. (DefCatRef)	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) - PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータのインストール
[カタログ情報] タブ	

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのRef. (DefCatRef)	PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier) - PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 保証
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのRef. (DefCatRef)	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier) - PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - コンピュータ基礎研修
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのRef. (DefCatRef)	PC2 - コンピュータ基礎研修 - PC2 - コンピュータ基礎研修 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC1 - 同軸ケーブル
[カタログ情報] タブ	
デフォルトのRef. (DefCatRef)	PC2 - 同軸ケーブル (PC1 - MySupplier) - PC2 - 同軸ケーブル - (PC1 - MySupplier)

- すべてのウィンドウを閉じます。

実用例3 - オプション

はじめに

この実用例では、オプション付きの製品を作成する方法を示します。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

サプライヤ「*PC1 - MySupplier*」では、2種類の画面（必須オプション）と2種類のUSBキー（オプション）を選択できるコンピュータ「*PC1 - デスクトップコンピュータ*」を販売します。

作成

オプショングループの作成



警告:

このセクション「オプショングループの作成 [献 55]」にはWindowsクライアントが必要です。

- 1 オプショングループを表示します（[管理/画面一覧]、[製品オプション] テーブル (amProdOption)）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - スクリーン
選択必須 (bMandatory)	はい

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC3 - USBキー
選択必須 (bMandatory)	いいえ

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの[カタログ/製品] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - XGAスクリーン
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - XGAスクリーン

リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。

フィールドまたはリンク	値
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - スクリーン
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	はい

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - SXGAスクリーン
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - SXGAスクリーン
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - スクリーン
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - USBキー256
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - USBキー256
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - USBキー
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC3 - USBキー512
ブランド (Brand)	PC1 - Freecom
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - USBキー512
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	

フィールドまたはリンク	値
オプション (bOption)	はい
オプショングループ (OptionGroup)	PC3 - USBキー
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
説明 (Description)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	900
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC3 - オプション付きデスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - XGAスクリーン
説明 (Description)	PC3 - XGAスクリーン
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC3 - XGAスクリーン (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - SXGAスクリーン
説明 (Description)	PC3 - SXGAスクリーン
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。

フィールドまたはリンク	値
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC3 - SXGAスクリーン (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - USBキー-256
説明 (Description)	PC3 - USBキー-256
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	150
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC3 - USBキー-256 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC3 - USBキー-512
説明 (Description)	PC3 - USBキー-512
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	300
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC3 - USBキー-512 (PC1 - MySupplier)

3 すべてのウィンドウを閉じます。

5 調達サイクル

基本概念

調達サイクルは連続する複数の段階で構成されています。

このサイクルは、すべての段階が実行された場合に最も適切に運用されます。

特殊なケースで、ある段階を省略することもできますが、これによりいくつかの自動処理が実行されなくなる可能性があります。

例えば、依頼を最初に作成せずに見積を作成したとします。この場合、見積の【発行】をクリックしたときにAsset Managerによって依頼は自動作成されますが、依頼明細が階層構造なしで作成されます。階層構造は有用な情報です。これを付与し忘れると、発注の受領時に作成されるレコードにも階層構造がなくなります。

表 5.1. 調達サイクル - 段階

段階	段階の特性
依頼	依頼では、必要な場合にモデルを参照し、カタログリファレンスを使用して、要求を記述できます。 発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

段階	段階の特性
予約	<p>予約を使用すると、在庫内の品目を保持して、依頼を満たすことができるため、発注品目数を削減できます。</p> <p>予約は、[在庫中資産の予約] ウィザード、または依頼明細の詳細画面から手動で行えます。</p>
見積	<p>見積では、実際に行われる発注を記述します。</p> <p>見積は、見積のみ行ってまだ発行していない発注です。</p> <p>通常、見積は依頼から作成されます。</p> <p>例外的に、依頼を最初に作成せずに見積を作成する場合があります。この場合、見積内の【発行】ボタンをクリックすると、依頼が自動的に作成されます。</p>
発注	<p>発注では、サプライヤの発注済みカタログリファレンスを記述します。</p> <p>発注は見積からのみ作成されます。</p>
受領	<p>受領伝票では、発注明細の受領を記述します。</p> <p>必要な場合（例：発注明細がカタログリファレンスにリンクされる場合、製品にリンクされる場合、モデルにリンクされる場合、レコードの作成が規定される属性にリンクされる場合）、受領の作成によって、適切なテーブル（例：[ポートフォリオ品目] テーブル）にレコードが作成されます。</p> <p>受領は、未受領の発注明細を参照することによって作成されます。</p>
請求の記録	<p>請求書を使用すると、サプライヤが送った請求の記録を作成することができます。</p> <p>請求書は、受領の詳細から作成するのがロジカルです。</p>

調達サイクルのトラッキング



警告:

この機能はWindowsクライアントでは実行可能ですが、Webでは行えません。

調達サイクルの管理上の表示は、以下のレコードの詳細画面に【トラッキング】を表示することによって取得可能です。

- 依頼
- 見積/発注
- 受領
- 請求書

【トラッキング】タブに情報をまとめる方法は、表示されるテーブルによって決まります。情報は、表示されるレコードから見て整理されます。

この画面は、ツリー構造で表示されます。

ブランチをクリックすると、それぞれのサイクルの各パラメータを表示できます。

例えば、依頼の詳細画面でブランチ【**依頼明細**】をクリックすると、依頼に対応するために取得しなければならない品目を表示できます。

同様に、【**関連する見積**】のブランチをクリックすると、さまざまな依頼品目から作成された見積が表示されます。








任意の見積を選択することによって開始する場合、見積に対応する依頼、発注、および受領が表示されます。

これらの項目のいずれかをダブルクリックすると、その項目の詳細画面にアクセスできます。

トラッキングアイコン

以下のアイコンで、依頼、見積、発注、受領の明細の現在のステータスが一目でわかります。

表 5.2. 調達サイクル - 【トラッキング】タブ内のアイコン

アイコン	意味
	その明細を含んでいる依頼は承認済です。
	その明細を含んでいる依頼は承認待ちまたは承認中です。
	その明細を含んでいる依頼は却下されました。
	その依頼明細の発注数。この例では3です。
	その依頼明細の受領数。この例では3です。
	その依頼明細の納品待ちの物件の数量。この例では1です。
	依頼、見積、または発注明細がすべて受領済です。

実用例4 - 完全調達サイクル

はじめに

この実用例では、完全調達サイクルが段階から段階へどのように移り変わるかを示します。

サイクル内での各段階における機能の完全な範囲を示すことを目的にしているではありません。これについては後述します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]

- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

- 「PC1 - 小林」氏は、コンピュータ「PC1 - デスクトップコンピュータ」が必要です。
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積が承認されます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 資産が受領されます。
- 資産の請求が登録されます。

作成

依頼の作成

- 1 [新規依頼を作成...] ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [調達 / 新規依頼を作成...] リンク)。
- 2 [新規依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[新規依頼を作成] ページ	
ブランド	PC1 - HP Compaq
[フィルタを適用] ボタンをクリックします。	
モデル	PC1 - デスクトップコンピュータ
[追加] の右側のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
ユーザ	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
目的	PC4 - 小林氏用のコンピュータ
ステータス (seStatus)	準備中
[明細] タブ	
	モデル「PC1 - デスクトップコンピュータ」に対応する依頼明細

- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC4 - REQ001

- 5 依頼の変更を確定します（[変更] ボタン）。
6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC4 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成 PC4 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	<input type="radio"/>
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
ページをそのままの状態で使用できるはずです。	
下の表に、「PC1 - デスクトップコンピュータ 11 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%」が表示されます。	
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[全般] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC4 - REQ001 (PC4 - 小林氏用コンピュータ)
[明細] タブ	
	[見積を作成] ウィザードによって選択されたカタログリファレンス「PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier)」に対応する発注明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC4 - EST001

- 6 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積「PC4 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 5 この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC4 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。

- Windowsクライアントの場合：[受領] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- [受領] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[受領] ページ	明細「PC2 - デスクトップコンピュータ101」を選択し、[受領する数量] 列を「1」に設定します。
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。	

- 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル（「PC1 - デスクトップコンピュータ」）が表示されます。
[全般] タブ	
ユーザ (User)	最初の依頼で選択されたユーザ（「PC1 - 小林」）が表示されます。
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格（900）が表示されます。

- すべてのウィンドウを閉じます。

請求書の保存



警告:

このセクション「請求書の保存 [献 65]」にはWindowsクライアントが必要です。

- 発注を表示します（ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク）。
- 発注「PC4 - EST001」を選択します。
- [トラッキング] タブを選択します。
- [受領] のプランチをクリックします。
- 明細「XXX PC1 - MySupplier」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 発注から作成された受領の詳細が表示されます。

- 7 **【請求書】** をクリックします。
- 8 ウィザードによって表示されるページを確認して、デフォルトの値を承認します。
- 9 ウィザードの実行を確定します（**【完了】** ボタン）。
- 10 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは **【OK】** ボタン、Webクライアントでは **【戻る】** ボタン）。
- 11 受領から作成されたサプライヤの請求書の詳細画面が表示されます。
この請求書の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ (Supplier)	PC1 - MySupplier
【明細】 タブ	
	1 PC2 - デスクトップコンピュータ 11,000.00 10% 7.75% 969.75

他のフィールドは、サプライヤが送信した請求書に表示される情報を使用して入力されます。

6 依頼

基本概念

依頼の作成方法は、複数あります。Webプラットフォーム経由で可能な唯一の方法は、このガイドの「[依頼のセルフサービス \[献 139\]](#)」で説明されています。

依頼が作成された後は、依頼の明細（[\[明細\]](#) タブの明細リスト）を変更するために複数の方法を利用できます。

注意:

【ステータス】（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼には新規の明細のみを追加できます。

- 準備中
- 標準依頼

この章では、これらの方法を詳細に説明します。

調達モジュールに関連付けられたシステムデータには、ワークフローチャート「[購入依頼の承認](#)」（REQAPPR）があり、これは購入依頼の承認処理をトリガします。

調達に関連付けられた専門分野データには、ワークフローチャート「[依頼の受諾](#)」（REQSATIS）があり、すべての依頼明細が受諾された場合はこれによって【ステータス】（seStatus）フィールドが「[検収済](#)」に設定されます。

この章では、これらのワークフローについて詳細に説明します。

図 6.1. 調達サイクル - 依頼



手順

標準依頼から新規の依頼を作成する

原則

Asset Managerを使用すると、「標準依頼」という名前の依頼用テンプレートを作成することができます。

標準依頼は、次の目的で使用できます。

- 頻繁に生じる同一の依頼を作成します。
- 購入を標準化します。

重要項目:

依頼明細と関連するオプション（[明細] タブ）のみが標準依頼から依頼に伝達されます。

標準依頼を作成する

- 1 標準依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/サービスのカタログ] リンク）。
- 2 新規のレコードを作成します（[新規作成] ボタン）。
- 3 レコードの詳細を入力します。

依頼を標準依頼に変換する

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク）。

ヒント:

調達モジュールにアクセス不可でポートフォリオモジュールにはアクセス可能なユーザは、ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。 [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、 [見積] ボタン、 [発注] ボタン (Windowsクライアント)、 状況依存アクション(Webクライアント)が表示されないことです。

- 2 標準依頼に変換する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 依頼を複製します ([複製] ボタン) 。
- 4 特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的 (ReqPurpose)	標準依頼を簡単に識別できる値を使用します。
ステータス (seStatus)	標準依頼
[明細] タブ	標準依頼の明細が正しいことを確認します。

標準依頼から新規の依頼を作成する

- 1 [標準依頼から依頼を作成] ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [調達/標準依頼から依頼を作成...] リンク) 。
- 2 必要に応じて、 [標準依頼から依頼を作成...] ウィザードに情報を入力します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、 Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼は、次の情報を使用して入力されます。

ソース	使用されるフィールドとリンク
標準依頼	依頼明細と関連するオプションのみ ([明細] タブ)
[標準依頼から依頼を作成...] ウィザード	[新規依頼] ページに入力されるフィールドとリンクのみ

- 6 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

オプションが依頼明細に関連付けられている場合（**[明細]** タブ）、**[依頼オプションを選択]**（sysProcSolveOptions）ウィザードから目的のオプションを選択します。

- Windowsクライアントの場合：**[オプション]** ボタンをクリックします。
- Webクライアントの場合：**[アクション...]** ドロップダウンリストから**[オプション]** を選択します。



注意:

見積、または発注を作成する場合に、この方法でオプションを選択しないと、エラーメッセージが表示されます。

ウィザードでモデルを選択して新規依頼を作成する

- 1 **[新規依頼を作成...]** ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの**[調達／新規依頼を作成...]** リンク）。
- 2 必要に応じて、**[新規依頼を作成...]** ウィザードに情報を入力します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（**[完了]** ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは**[OK]** ボタン、Webクライアントでは**[戻る]** ボタン）。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼は、ウィザードに入力済みの情報を使用して入力されます。
- 6 依頼と依頼明細のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。

ウィザードを使用せずに新規依頼を作成する

ユーザが調達モジュールにアクセスできる場合

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの**[調達／依頼]** リンク）。
- 2 **[新規作成]** をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
- 5 依頼明細を作成します。

ユーザが調達モジュールにアクセス不可でポートフォリオモジュールにアクセス可能な場合

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの**[ポートフォリオ管理／拡張ポートフォリオ／社内依頼]** リンク）。

ヒント:

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。
[ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、[見積] ボタン、[発注] ボタン (Windowsクライアント)、状況依存アクション(Webクライアント)が表示されないことです。

- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 依頼のフィールドとリンクを手動で入力することによって、依頼を完了します。
- 5 依頼明細を作成します。

Windowsクライアントでは [追加] ボタン、Webクライアントでは状況依存アクションを使用して、依頼明細を追加します。

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合: [追加] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [追加] を選択します。
- 4 ウィザードの [依頼にモデルを追加する] に入力します。
- 5 Asset Managerによって依頼に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
 - 1 [明細] タブを選択します。
 - 2 変更する依頼明細の詳細画面を表示します。

標準依頼から作り出された依頼明細を追加する

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。

 ヒント:

調達モジュールにアクセス不可でポートフォリオモジュールにはアクセス可能なユーザは、ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。 [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、 [見積] ボタン、 [発注] ボタン (Windowsクライアント)、 状況依存アクション(Webクライアント)が表示されないことです。

- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合： [標準依頼] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [標準依頼] を選択します。
- 4 ウィザードの [依頼を追加] に入力します。
- 5 Asset Managerによって依頼に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された依頼明細の説明を完成させます。
 - 1 [明細] タブを選択します。
 - 2 変更する依頼明細の詳細画面を表示します。

Windowsクライアントでは [+] ボタン、Webクライアントでは [追加] ボタンを使用して、依頼明細を追加します。

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク) 。

 ヒント:

調達モジュールにアクセス不可でポートフォリオモジュールにはアクセス可能なユーザは、ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクを使用できます。

このリンクを使用すると、購入依頼のリストと詳細画面にアクセスできます。 [ポートフォリオ管理/拡張ポートフォリオ/社内依頼] リンクの使用時に適用される唯一の制約は、 [見積] ボタン、 [発注] ボタン (Windowsクライアント)、 状況依存アクション(Webクライアント)が表示されないことです。

- 2 完了する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [明細] タブを選択します。
- 4 Windowsクライアント： [+] ボタンをクリックします。

- Webクライアント：[追加] ボタンをクリックします。
- 5 依頼明細の詳細画面に入力します。

依頼の承認を自動化する

- 1 Asset Manager Automated Process Managerを起動します。
- 2 データベースへ接続します（[ファイル/開く] メニューの[既存のデータベースを開く] オプション）。
- 3 モジュール実行グループ'*STD_PROCUR*'にワークフロー規則を適用（*WkGroupSTD_PROCUR*）を設定します（[ツール/モジュールの設定] メニュー）。
 - ▶ 『管理』ガイドの「*Asset Manager Automated Process Manager*」の章、「*Asset Manager Automated Process Manager*でモニタするモジュールを設定する」のセクション。

この方法でAsset Manager Automated Process Managerは、実行グループ'*STD_PROCUR*'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートを実行します。

以下は、購入依頼の承認（REQAPPR）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.1. 依頼 - 購入依頼の承認ワークフローチャート

任意管理項目	説明						
ワークフローをトリガするイベント	[依頼] (amRequest) テーブルにある [ステータス] (seStatus) フィールドを変更する依頼の作成						
トリガ対象のワークフローチャートの条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーブルの名前</th> <th>フィールドの名前</th> <th>フィールドの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼 (amRequest)</td> <td>ステータス (seStatus)</td> <td>承認待ち</td> </tr> </tbody> </table>	テーブルの名前	フィールドの名前	フィールドの値	依頼 (amRequest)	ステータス (seStatus)	承認待ち
テーブルの名前	フィールドの名前	フィールドの値					
依頼 (amRequest)	ステータス (seStatus)	承認待ち					
ワークフローチャートによってトリガされるアクション1	<p>依頼に関連付けられたコストセンタの詳細画面で（[配賦] タブ、[コストセンタ]（コストセンタ）フィールド）、[機能面での承認が必要] (bFuncApproval) オプションを有効にすると、完全なワークフロー（機能面での承認の手順を含む）が開始します。</p> <p>それ以外の場合、基本ワークフローが開始し、技術の承認の手順に進みます。</p>						

任意管理項目	説明
ワークフローチャートによってトリガされるアクション2 (完全なワークフローに対して発生)	<p>完全なワークフローでは、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 機能面での承認が呼び出される ■ 依頼の【技術者】 (Technician) フィールドに指定されたユーザの部署の責任者に割り当てられる。技術者が指定されていない場合、Asset Managerによってその交替従業員が使用されます。 <p>責任者も交替従業員も見つからない場合、Asset Managerによってユーザが使用される。ユーザが見つからない場合、Asset Managerによってその交替従業員が選択されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 依頼にリンクする ■ 依頼内容の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す
ワークフローチャートによってトリガされるアクション3	<p>依頼が機能面で承認される (完全なワークフローに対して発生) または基本ワークフローに対して承認されると、ワークフローチャートは、以下のワークフロータスクを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 技術の承認が呼び出される ■ 技術の承認グループに割り当てられる ■ 依頼にリンクする ■ 責任者に依頼を承認するか却下するかを促す
ワークフローチャートによってトリガされるアクション4	<p>依頼が技術面で承認されると、ワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。依頼の金額のチェック：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 依頼の税引き前合計金額 (mEstimNet) が、依頼に関連付けられたコストセンサ詳細画面で定義した金額のしきい値 (mApprAmount) より少ない場合、その依頼は承認されワークフローは最後の手順に移行します。 ■ それ以外の場合、ワークフローは最後は次の手順に進みます。
ワークフローチャートによってトリガされるアクション5	<p>依頼の税引き前合計金額が、関連するコストセンタで定義されたしきい値を超えているため、ワークフローチャートは、次のワークフロータスクを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 財務の承認が呼び出される ■ ファイナンスグループに割り当てられる ■ 依頼にリンクする ■ 財務の承認者に依頼を承認するか却下するかを促す、または依頼明細の予算の承認を依頼する

任意管理項目	説明
ワークフローチャートによってトリガされるアクション6（予算承認依頼が未決定の場合）	<p>財務の承認の間、財務の承認者は、予算の承認をリクエストします。次にワークフローチャートによって以下のワークフロータスクが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予算の承認が呼び出される ■ ファイナンスグループに割り当てられます。 ■ 依頼にリンクする ■ 予算の承認者に、【ウィザード】 (sysValidBudgetReqLine) ボタンをクリックして、【依頼明細の予算を承認】 (sysValidBudgetReqLine) ウィザードを起動するよう促します。承認者は、ウィザードを使用して、各依頼明細を承認、または却下します。各明細を確定する前、使用する予算明細を変更するために、必要に応じて、コストタイプ、またはコストセンタを変更することもできます。
ワークフローチャートによってトリガされるアクション7	<p>依頼が財務面で承認されると（そして予算の承認をクリアすると）ワークフローチャートによって、以下のワークフロータスクが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 【ステータス】 (seStatus) フィールドを「承認済」に設定することによって更新します。 ■ 依頼のステータスに関するメッセージを【依頼者】 (Requester) フィールドによって指定された依頼者に送信します。
ワークフローチャートによってトリガされるアクション8	<p>承認手順のいずれかの段階で依頼が却下された場合、ワークフローは次のアクションをトリガします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 【ステータス】 (seStatus) フィールドを「却下済」に設定することによって更新します。 ■ 依頼のステータスに関するメッセージを【依頼者】 (Requester) フィールドによって指定された依頼者に送信します。

依頼ステータスの更新を自動化する

- 1 Asset Manager Automated Process Managerを起動します。
- 2 モジュール実行グループ'*BST_PROCUR*'にワークフロー規則を適用 (WkGroup*BST_PROCUR*) を設定します (**【ツール／モジュールの設定】** メニュー)。
 - ▶ 『管理』ガイドの「*Asset Manager Automated Process Manager*」の章、「*Asset Manager Automated Process Manager*でモニタするモジュールを設定する」のセクション。

この方法でAsset Manager Automated Process Manager Serverは、**実行グループ'*BST_PROCUR*'にワークフロー規則を適用**モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、**依頼の受諾 (REQSATIS)** ワークフローチャートを実行します。

以下は、**依頼の受諾 (REQSATIS)** ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 6.2. 作業指示 - 依頼の受諾ワークフローチャート

任意管理項目	Description						
ワークフロー キームをトリガするイベント	依頼明細が追加されるか、 【依頼明細】 (amReqLine) テーブルの 【受領数】 (fQtyReceived) または 【数量】 (fQty) が更新される						
トリガ対象のワークフローチャートの条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>テーブルの名前</th> <th>フィールドの名前</th> <th>フィールドの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼 (amRequest)</td> <td>ステータス (seStatus)</td> <td>承認済</td> </tr> </tbody> </table>	テーブルの名前	フィールドの名前	フィールドの値	依頼 (amRequest)	ステータス (seStatus)	承認済
テーブルの名前	フィールドの名前	フィールドの値					
依頼 (amRequest)	ステータス (seStatus)	承認済					
各依頼明細のレベルで実行される承認	【受領数】 (fQtyReceived) フィールドと 【数量】 (fQty) フィールドが同じ値であること						
承認が正しい場合に実行されるアクション	Asset Managerによって、依頼の 【ステータス】 (seStatus) が「検収済」に設定される						

実用例5 - 標準依頼

はじめに

この実用例では、標準依頼を作成して依頼の作成に使用する方法を示します。調達サイクルの全段階を実行することを目的としているではありません。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

- セールスエンジニアに指定する設定を標準化しました。
- 通常は、新人のセールスエンジニア用の設定を指示します。
- さまざまなオプションの付いたセールスエンジニア用の標準設定を標準依頼として記述するつもりです。
- 「PCI-小林」氏は、コンピュータの設定を必要としている新人のセールスエンジニアです。
- この要求は、依頼の書式で記録します。

作成

標準依頼の作成

- 1 標準依頼を表示します（ナビゲーションバーの [ポートフォリオ管理／拡張ポートフォリオ／サービスのカタログ] リンク）。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的 (ReqPurpose)	PC5 - セールスエンジニア用の設定
番号 (amRequest)	PC5 - STDREQ001

- 4 依頼の作成を確定します（Windowsクライアントでは [作成] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。
- 5 [明細] タブを選択します。
- 6 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します（Windowsクライアントでは [+] ボタン、Webクライアントでは、 [明細] タブの上のリストにある [追加] ）。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC5 - 追加モニタ
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - SXGA画面
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ
オプション (bOptional)	なし (チェックボックスをオフにします)

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC5 - USBキー

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - USBキー-256
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ
オプション (bOptional)	はい (このボックスをチェックします)

 **注意:**

2つのオプションが作成されています。

- ユーザが受け入れる必要のある追加モニタ。
- ユーザが承認可能、または承認不可能なUSBキー。

- 7 変更を保存します (Windowsでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存])。
- 8 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力して (依頼明細の下の [オプション] フレーム) オプションを追加します (Windowsクライアントでは [+] ボタン、Webクライアントでは、 [追加] ボタン) 。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - SXGA15インチモニタ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ
オプション (ChoiceOf)	1 PC5 - 追加モニタ
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	はい (このボックスをチェックします)

 **注意:**

このモニタは、ユーザがウィザードで追加モニタを選択した場合のデフォルトオプションです。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - SXGA17インチモニタ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ
オプション (ChoiceOf)	1 PC5 - 追加モニタ

フィールドまたはリンク	値
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	なし (チェックボックスをオフにします)

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1
モデル (Model)	PC1 - USBキー-256
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ
オプション (ChoiceOf)	1 PC5 - USBキー
デフォルトのオプション (bDefaultOption)	なし (チェックボックスをオフにします)

- 9 変更を保存します (Windowsでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存])。
- 10 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 [標準依頼から依頼を作成] ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [調達/標準依頼から依頼を作成...] リンク)。
- 2 [標準依頼から依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[標準依頼を選択] ページ	
依頼	PC5 - セールスエンジニア用の設定
数量	1
同じテンプレートに関連する依頼明細を結合	なし (チェックボックスをオフにします)
[次へ] をクリックします。	
[標準依頼から依頼を作成...] ページ	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC5 - 小林氏用の設定
ユーザ	PC1 - 小林
[完了] をクリックします。	

- 3 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 4 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
目的	PC5 - 小林氏用の設定
ステータス (seStatus)	準備中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[明細] タブ	
標準依頼の依頼明細とオプション「PC5 - セールスエンジニア用の設定」	

5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC5 - REQ001

- 6 依頼の変更を確定します（[**変更**] ボタン）。
- 7 [**オプションを選択**] ウィザードを起動して（Windowsクライアントでは[**オプション**] ボタン、Webクライアントでは[**アクション...**] ドロップダウンリストから**見積**を選択）、依頼明細に関連付けるオプションを選択します。
- 8 [**オプションを選択**] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[オプション選択] ページ	
[次へ] をクリックします。	
[オプション選択] ページ	
<i>I</i> PC5 - 追加モニタオプションの選択	PC1 - SXGA15インチモニタ
[次へ] をクリックします。	
[オプション選択] ページ	
PC5 - USBキー	はい（このボックスをチェックします）
[選択したオプションの概要] ページ	
[完了] をクリックします。	

- 9 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[**OK**] ボタン、Webクライアントでは[**戻る**] ボタン）。
- 10 ウィザードによって作成された新しい依頼の詳細画面がオプションと共に表示されます。
以下を含めて、依頼の詳細画面を確認します。
 - [**オプション**] フレーム以外にオプション明細がないこと。
 - すべての選択されたオプションが、依頼明細に追加されていること。
- 11 すべてのウィンドウを閉じます。

7 予約

予約には2つのタイプがあります。

- 在庫にあるポートフォリオ品目の予約
- 取得する予定のポートフォリオ品目の予約

ここでは、**在庫にあるポートフォリオ品目の予約**について説明します。

取得する予定のポートフォリオ品目の予約の詳細については、「[取得予定の品目の予約 \[献 195\]](#)」を参照してください。

依頼から発注が作成されると、在庫内で予約されたポートフォリオ品目は、発注するポートフォリオ品目の数から差し引かれます。

例えば、3つのUSBキーを依頼するときに1つを在庫内で予約する場合、発注するのは2つだけです。

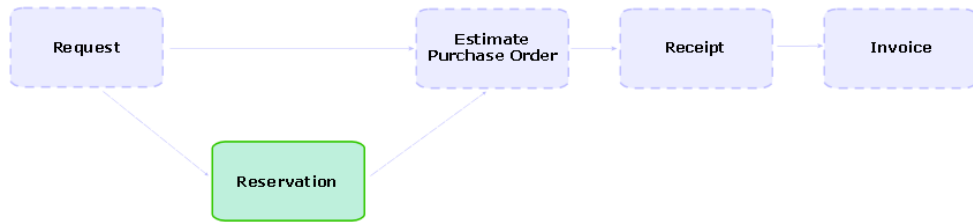
基本概念

在庫内でポートフォリオ品目を予約すると、指定された期間内に1つ以上のポートフォリオ品目を在庫に保持することができます。予約されたポートフォリオ品目は、依頼が発注されたときに、品目から差し引かれます。

在庫にあるポートフォリオ品目の予約は、複数の方法で作成できます。

この章では、各方法について詳細を説明します。

図 7.1. 調達サイクル - 予約



手順



警告:

【ステータス】（seStatus）フィールドが「承認済」に設定されている場合、在庫内のポートフォリオ品目に対する予約のみを作成できます。

ウィザードを使用した予約の作成

在庫にあるポートフォリオ品目に対して、依頼から新しい予約を作成するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの**調達／購入依頼** リンク）。
- 2 予約を作成する依頼を選択します。
- 3 Windowsクライアントの場合：[予約] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[アクション...] ドロップダウンリストから [予約] を選択します。
- 4 [物品の物理的予約]（sysProcRequestStock）ウィザードに、値をすべて入力して、実行します。
- 5 依頼に予約が追加され、ウィザードで作成された予約のリストが表示されます。

ウィザードを使用しない依頼の作成

在庫内のポートフォリオ品目を予約するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの**調達／購入依頼** リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 依頼明細の詳細画面を表示します。

- 5 **【予約】** タブを表示します。
- 6 予約を追加して(一番下のタブを右クリックして **【リンクの追加】** をクリック)、以下のフィールドとリンクを入力します。

Name	SQL名	値
ポートフォリオ品目	割り当て	予約する在庫内のポートフォリオ品目
【全般】 タブ		
数量	fQty	単位がポートフォリオ品目のモデルに関連付けられている場合に予約する数量 (【使用単位】 (UseUnit) フィールド)

- 7 変更を保存します。

警告:

依頼明細に基づいて見積または発注が作成された後に、この依頼明細に予約を追加することはできません。

見積作成後に予約を追加しなくてはならない場合、見積を発注に変換することができません (依頼、予約、見積の数量に不整合が生じるため)。発注量が残りの依頼された数量より大きいため、発注明細が発行できないことを示すエラーメッセージが表示されます。[発注] ウィザードの完全な実行は行われません。

発注作成後に予約を追加しなくてはならない場合は、発注を受領することによって、在庫内の予約済みポートフォリオ品目を考慮に入れることなく、新しいポートフォリオ品目が作成されます。

注意:

予約情報がポートフォリオ品目に関連する資産の詳細画面の **【ポートフォリオ】** タブページ / **【予約】** サブタブページに表示されます。

予約のキャンセル

ウィザードを使用した予約のキャンセル

在庫にあるポートフォリオ品目に対して、依頼から未決定の予約をキャンセルするには：

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの **調達／購入依頼** リンク)。
- 2 1つ以上の未決定の予約をキャンセルする依頼を選択します。
- 3 Windowsクライアントの場合： **【予約】** ボタンをクリックします。

Webクライアントの場合：【アクション...】ドロップダウンリストから【予約】を選択します。

- 4 【物品の物理的予約】（sysProcRequestStock）ウィザードの最初のページで、【物品の物理的な予約を取り消し】を選択します。
- 5 ウィザードの各ページに完全に入力して実行します。
- 6 依頼から予約が削除され、品目が在庫に戻ります。

ウィザードを使用しない予約のキャンセル

在庫にあるポートフォリオ品目に対して未決定の予約をキャンセルするには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの調達／購入依頼 リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 【明細】タブを表示します。
- 4 依頼明細の詳細画面を表示します。
- 5 【予約】タブを表示します。
- 6 目的の予約を削除します（一番下のタブを右クリックしてから、【リンクの削除】をクリック）。
- 7 変更を保存します。
- 8 依頼から予約が削除され、品目が在庫に戻ります。

既存の予約の表示

既存の予約を表示するには、以下の方法があります。

- 予約されたポートフォリオ品目の【予約】タブページ。
- 依頼明細の詳細画面の【予約】タブページ。
- 依頼の【トラッキング】タブページ。

実用例16：ウィザードを使用した予約の作成

はじめに

ここでは、【物品の物理的予約】ウィザードを使用して、予約を作成する方法を説明します。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

依頼を行い、特定の品目を在庫に予約しました。

手順

在庫品目の作成

- 1 [ポートフォリオ品目] を表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/ポートフォリオ品目] リンク)。
- 2 次の表に示すようにフィールドとリンクに値を入力してレコードを作成します。

ラベル	SQL名	値
モデル	モデル	PC1 - デスクトップコンピュータ
[全般] タブ		
割り当て	seAssignment	在庫中
在庫	在庫	PC1 - 在庫
資産タグ	AssetTag	PC16 - 001

Name	SQL名	値
モデル	モデル	PC1 - SXGA15インチモニタ
[全般] タブ		
割り当て	seAssignment	在庫中
在庫	在庫	PC1 - 在庫
資産タグ	AssetTag	PC16 - 002

Name	SQL名	値
モデル	モデル	PC1 - SXGA17インチモニタ
[全般] タブ		
割り当て	seAssignment	在庫中
在庫	在庫	PC1 - 在庫
資産タグ	AssetTag	PC16 - 003

Name	SQL名	値
モデル	モデル	PC1 - SXGA17インチモニタ
[全般] タブ		
割り当て	seAssignment	在庫中
在庫	在庫	PC1 - 在庫

Name	SQL名	値
資産タグ	AssetTag	PC16 - 004

依頼の作成

- 1 [新規依頼を作成...] ウィザード (sysProcRequestAddModelInc) を起動します (ナビゲーションバーの [調達/新規依頼を作成...] リンク)。
- 2 [新規依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[新規依頼を作成] ページ	
以下の品目を追加します ([追加] ボタン) 。	<ul style="list-style-type: none"> ■ PC1 - デスクトップコンピュータ : 数量 = 1 ■ PC1 - SXGA15インチモニタ : 数量 = 2 ■ PC1 - USBキー512 : 数量 = 2
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
[目的]	PC16 - 依頼
依頼者	PC1 - 小林
ユーザ	PC1 - 小林
[次へ] をクリックします。	
[完了] をクリックします。	
[OK] をクリックして、ウィザードを終了します。	

- 3 作成された依頼の詳細画面が表示されます。依頼の [明細] タブで、依頼した品目を表示します。
- 4 [ステータス] フィールド (seStatus) を「承認済」に設定します。
- 5 [変更] をクリックします。
- 6 ページを開いたままにします。

依頼に対する在庫内の品目の予約

- 1 [物品の物理的予約] ウィザードを起動します (Windowsクライアントの場合 : [予約] ボタンをクリック。Webクライアントの場合 : 前に作成した依頼の詳細画面で、 [アクション...] ドロップダウンリストから [予約] を選択します)。
- 2 [物品の物理的予約] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[物品の物理的予約] ウィザードのページ	
依頼の物品を予約	このボックスをチェックします。
[次へ] をクリックします。	
[物品の物理的予約] ページ	
処理する依頼明細を選択	PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
在庫	PC1 - 在庫
[同一モデルでの検索] をクリックします。	
活用できる在庫の資産	PC1 - デスクトップコンピュータ (資産タグPC16 - 001) を選択
予約対象:	PC1 - 小林
次の項目を予約する日数:	90
在庫で選択した品目は、在庫から削除され【予約した資産】フレームに置かれます。	
[選択した資産を予約] をクリックします。	
処理する依頼明細を選択	PC1 - SXGA15インチモニタ
在庫	PC1 - 在庫
在庫で使用できる資産は1つだけです。	
[同一モデルでの検索] をクリックします。	
[広範囲検索(親モデル)] をクリックして、同じ親を持つすべての資産を含めます。	
活用できる在庫の資産	<ul style="list-style-type: none"> ■ PC1 - SXGA15インチモニタ (資産タグPC16 - 002) ■ PC1 - SXGA17インチモニタ (資産タグPC16 - 003) ■ PC1 - SXGA17インチモニタ (資産タグPC16 - 004)
	選択:
予約対象:	PC1 - 小林
次の項目を予約する日数:	90
在庫で選択した品目は、在庫から削除され【予約した資産】フレームに置かれます。	
この例では依頼明細に資産は2つしかありませんが、資産を3つ選択していて、予約された数量が依頼された数量より多くなっています。ウィザードはこの段階ではエラーメッセージを表示しませんが、ウィザードを完全に実行すると表示されます。	
依頼明細に表示される数量と矛盾しないようにするため、予約を1つキャンセルします。	
[選択した資産を予約] をクリックします。	
予約資産	PC1 - SXGA17インチモニタ (資産タグPC16 - 004)
選択した品目が、【予約した資産】から削除され、在庫に戻ります。	
[資産の予約を取り消し] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[全予約操作の概要] ページ	
[完了] をクリックします。	
[OK] をクリックします。	

3 「既存の予約の表示 [献 84]」のセクションで説明した予約を確認できます。

8 見積

基本概念

見積の作成には、複数の方法があります。

見積が作成された後は、見積の明細（[明細] タブの見積明細リスト）を変更できます。

警告:

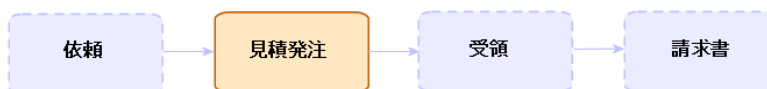
見積と発注は、同じテーブルに属します。[ステータス]（seStatus）フィールドの値によって、両者を区別することができます。

[ステータス]（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積には新しい明細のみを追加できます。

- 準備中
- 標準発注

この章では、各方法についての詳細を説明します。

図 8.1. 調達サイクル - 見積



手順

依頼から新規の見積を作成する

警告:

[ステータス] (seStatus) フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、依頼から見積のみを作成できます。

- 準備中
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済

依頼から新規の見積を作成するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [調達／依頼] リンク）。
- 2 見積を作成する依頼を選択します。
- 3 Windowsクライアントの場合： [見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [見積] を選択します。
- 4 [見積を作成] ウィザードですべての値を入力して実行します。
- 5 ウィザードで作成された見積のリスト（サプライヤごとに1つの見積）が表示されます。
- 6 ウィザードにより入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。

新規の見積を直接作成する

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの [調達／発注] リンク）。
- 2 [新規作成] をクリックします。

- 3 新規見積が表示されます。
- 4 見積のその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、見積を完了します。
- 5 見積明細を作成します。

Windowsクライアントでは [カタログリファレンス] ボタン、Webクライアントでは状況依存アクションを使用して、見積明細を追加します。

- 1 見積を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合: [カタログリファレンス] をクリックします。
Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [カタログリファレンス] を選択します。
- 4 [カタログリファレンスを使って発注を完成] ウィザードですべての値を入力します。
- 5 見積に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
 - 1 [明細] タブを選択します。
 - 2 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

見積のサプライヤにカタログリファレンスがないモデルの見積明細を追加する

- 1 見積を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアント: [カタログ外] をクリックします。
Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [カタログ外] を選択します。
- 4 [カタログ外リファレンスの作成] ウィザードのすべての値を入力します。
- 5 Asset Managerが続行する動作は、状況に応じて異なります。

ケース	結果
選択したモデルにカタログリファレンスがない	Asset Managerによって製品とカタログリファレンスが作成され、カタログ外カタログに追加されます。

ケース	結果
別のサプライヤのカタログ内に1つまたは複数のカタログリファレンスがある	<p>Asset Managerによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。</p> <p>警告:</p> <p>これにより、見積のサプライヤが同一でなくなるため、見積の整合性の問題が生じます。</p> <p>この方法で作成された見積明細は、削除する必要があります。</p>
サプライヤのカタログのいずれかにカタログリファレンスがあります。	Asset Managerによって、これらのカタログリファレンスのいずれかが選択されます。

- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
 - 1 **【明細】** タブを選択します。
 - 2 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

発注テンプレートから作り出された見積明細を追加する

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの **【調達／発注】** リンク）。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：**【標準発注】** をクリックします。
Webクライアントの場合：**【状況依存アクション】** ドロップダウンリストから **【標準発注】** を選択します。
- 4 **【ある発注を使って発注に入力する】** ウィザードにすべての値を入力して実行します。
- 5 見積に明細が追加されます。
- 6 必要な場合は、ウィザードによって作成された見積明細の説明を完成させます。
 - 1 **【明細】** タブを選択します。
 - 2 変更する見積明細の詳細画面を表示します。

Windowsクライアントでは **【+】** ボタン、Webクライアントでは **【追加】** ボタンを使用して、見積明細を追加します。

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの **【調達／発注】** リンク）。
- 2 完了する見積の詳細画面を表示します。
- 3 **【明細】** タブを選択します。
- 4 Windowsクライアント：**【+】** ボタンをクリックします。
Webクライアント：**【追加】** ボタンをクリックします。

5 見積明細の詳細画面に入力します。

9 発注

基本概念

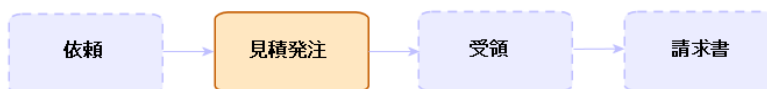
発注の作成方法は、複数あります。
この章では、各方法についての詳細を説明します。



見積と発注は、同じテーブルに属します。[ステータス] (seStatus) フィールドの値によって、両者を区別することができます。

発注の明細（[明細] タブの発注明細のリスト）を変更することはできません。調達に関連付けられた専門分野データには、ワークフローチャート「**発注の進度**」（POSATIS）があり、すべての発注明細が受諾された場合はこれによって [ステータス] (seStatus) フィールドが「**検収済**」に設定されます。この章では、このワークフローチャートについて詳細に説明します。

図 9.1. 調達サイクル - 発注



標準発注

手順

見積を発注に変換する



警告:

【ステータス】（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、見積を発注に変換します。

- 準備中
- 見積依頼済
- 見積済
- 承認待ち
- 承認済
- 却下済

見積を発注に変換するには：

- 1 見積を表示します（ナビゲーションバーの【調達／発注】リンク）。
- 2 発注に変換する見積の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：【発行】ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【発行】を選択します。
- 4 【発注】ウィザードにすべての値を入力して実行します。
必要な場合は、作成済みの発注明細のページがウィザードに表示されます。
 - 見積レベルで直接（依頼明細からではなく）
 - 依頼明細からだが、依頼された数量より多い数量ウィザードを確定する前にこのページに入力する場合は注意します。
- 5 必要な場合、依頼および依頼明細の不足や不十分な箇所がAsset Managerによって作成されるか補われます。

 **注意:**

ウィザードには、これらの依頼および依頼明細が表示されません。
これらを [トラッキング] タブで検索することはできません。

[トラッキング] タブは、Windowsクライアントでは使用できますが、Webクライアントでは使用できません。

ウィザードでは、 [ステータス] (seStatus) フィールドが [発行済] に設定されます。

標準依頼から新規の発注を作成する

 **警告:**

[ステータス] (seStatus) フィールドが「承認済」に設定されている場合、依頼から発注のみを作成できます。

依頼から新規の発注を作成するには：

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 発注の作成に使用する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合： [発注] をクリックします。

Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発注] を選択します。

- 4 [発注を作成] ウィザードにすべての値を入力して実行します。
- 5 ウィザードによって作成された発注のリスト (サプライヤごとに1つの発注) が表示されます。

 **注意:**

ウィザードでは、依頼から発注明細が既に作成済みであるかどうかを確認され、まだ発注されていない品目に対する明細の作成のみが行われます。

- 6 ウィザードによって入力されなかったその他のフィールドとリンクを手動で入力することによって、発注を完了します。
- 7 発注を1つずつ行います。

Windowsクライアントの場合： [発行] ボタン。

Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] 。

発注の更新を自動化する

- 1 Asset Manager Automated Process Managerを起動します。

- 2 モジュール実行グループ'*BST_PROCUR*'にワークフロー規則を適用
 (WkGroup*BST_PROCUR*)を設定します（[ツール/モジュールの設定]
 メニュー）。

▶ 『管理』ガイドの「*Asset Manager Automated Process Manager*」の章、
 「*Asset Manager Automated Process Manager*でモニタするモジュールを設定する」のセクション。

この方法で*Asset Manager Automated Process Manager Server*は、実行グループ'*BST_PROCUR*'にワークフロー規則を適用モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、発注の進捗（*POSATIS*）ワークフローチャートを実行します。

以下は、発注の進捗（*REQSATIS*）ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 9.1. 依頼 - 発注の進捗ワークフロースキーム

ワークフロースキームをトリガするイベント	発注明細が追加されるか、[依頼明細]（ <i>amReqLine</i> ）テーブルの[受領数]（ <i>fQtyReceived</i> ）または[数量]（ <i>fQty</i> ）が更新される		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブル名 発注（ <i>amOrder</i> ）	フィールド名 ステータス（ <i>seStatus</i> ）	フィールドの値 <ul style="list-style-type: none"> ■ 発行済 ■ サプライヤ側で受注確認済 ■ 検収済
各依頼明細のレベルで実行される承認	[受領数]（ <i>fQtyReceived</i> ）フィールドと[数量]（ <i>fQty</i> ）フィールドが同じ値であること		
承認が正しい場合に実行されるアクション	<i>Asset Manager</i> によって、発注の[ステータス]（ <i>seStatus</i> ）が「検収済」に設定される		

発注の新規バージョンを作成する



警告:

[ステータス]（*seStatus*）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合、発注の新規バージョンのみを作成できます。

- 発行済
- サプライヤ側で受注確認済
- 検収済

発注の新規バージョンを作成するには：

- 1 発注を表示します（ナビゲーションバーの[調達/発注]リンク）。
- 2 新規バージョンを作成する発注の詳細画面を表示します。
- 3 *Windows*クライアント：[バージョン] をクリックします。

Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【バージョン】を選択します。

アクションの【新規バージョンの発注を作成】では、次の処理が実行されます。

- 発注と見積のリストから発注の旧バージョンが削除されます。
- 旧バージョンの発注のすべての明細品目がその他のレコード（依頼明細など）から切り離されます。
それらは無効になり、参照専用として保存されます。
- 旧バージョンの発注の【ステータス】（seStatus）フィールドが「キャンセル」に設定されます。
- 新規の発注が作成されます。
- 新規バージョンの発注の【ステータス】（seStatus）フィールドが「準備中」に設定されます。
- 以前の発注明細がまったく同じように新しいバージョンの発注にコピーされます。
- 以前のバージョンの発注明細が新規バージョンの発注の【改訂】タブに表示されます。

新規バージョンの発注は、都合の良い時に変更することが可能で、準備ができたらもう一度実行することができます。

一括発注

基本概念

一括発注の定義

タイプの契約では、購入者は特定の期間、契約で決められた最低金額以上の商品の発注やサービスの利用が義務付けられています。

一般に、このタイプの契約では購入者が割引を利用できます。

Asset Managerによる一括発注の管理方法

一括発注は、【契約】（amContract）テーブルに記述されます。

それから、一括発注を基準として発注を作成することができます。

開いている発注へのリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼から作成された発注のデフォルト動作を定義します。

段階	効果
発注	発注がすべて一括発注に含まれていることを明記します。

 **ヒント:**

1つの発注を使用して一括発注を管理することはできません。発注が行われた後には、明細品目を追加することができなくなります。

同様に、1つの依頼を使用して一括発注を管理することもできません。依頼が発注に変換された後には、依頼明細を追加することができなくなります。

けれども、一括発注の属性とは、複数の発注を含むことです。

 **警告:**

発注明細レベルと依頼明細レベルの [一括発注] (BlanketPOCntr) フィールドは、考慮されません。

前提条件

一括発注契約の作成が可能になるには、Asset Manager ユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスできる必要があります。

手順

一括発注タイプの契約を作成する

一括発注タイプの契約を作成するには：

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約/契約] リンク)。
- 2 新規契約を作成します (Windowsクライアントでは [新規作成] ボタン、Webクライアントでは [新規作成] 状況依存アクション)。

特に、次の表に示す依頼のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ (seType)	一括発注
[発注] タブ	
契約額 (mPOCcommitment)	発注が義務付けられている最低金額

一括発注に含まれる発注が作成されることになる依頼を作成する

依頼から作成された見積と発注を一括発注にリンクするためには、次の表に示す依頼のフィールドとリンクを入力する必要があります。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
一括発注 (bUsesBlanketPO)	はい
一括発注契約 (BlanketPOCntr)	一括発注契約を選択する

発注を一括発注として考慮する

発注を一括発注として考慮するためには、次の表に示すように発注のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
一括発注 (bUsesBlanketPO)	はい
一括発注契約 (BlanketPOCntr)	一括発注契約を選択する

注意:

次に、すべての発注明細を考慮します。

発注額と契約レベルとの整合性を取る

警告:

リストの列の値の合計の作成は、Windowsクライアントでのみ使用できます。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約/契約] リンク)。
- 2 一括発注契約の詳細画面を表示します。
- 3 [発注] タブを表示します。

タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されません。

リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。


この合計は、[契約額] (mPOCcommitment) フィールドとの整合性が取られます。

一括発注の期限が近づいていることを警告する

警告:

アラームの定義は、Windowsクライアントでのみ可能です。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約/契約] リンク)。
- 2 一括発注契約の詳細画面を表示します。
- 3 [全般] タブを表示します。

- 4 【終了日】（dEnd）フィールドが入力されていることを確認します。
- 5  ボタンをクリックします。
- 6 アラームの詳細画面を入力します。
- 7 アラームの詳細画面を保存します（【OK】ボタン）。
- 8 契約に加えられた変更を保存します（【変更】）。
- 9 すべてのウィンドウを閉じます。
- 10 アラームをモニタするようにAsset Manager Automated Process Managerを設定します（▶ 『管理』ガイドの「Asset Manager Automated Process Manager」の章、「Asset Manager Automated Process Managerでモニタするモジュールを設定する／アラームの検証（アラーム）モジュール」のセクション）。

実用例6 - 一括発注

はじめに

この実用例では、一括発注を管理する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

「2008年1月1日」から「2008年12月31日」の期間に、「PC1-MySupplier」から「100,000」ドルにあたる商品とサービスを購入する義務があります。

作成

発注契約の作成

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの【契約／一括発注タイプの契約】リンク）。
- 2 【新規作成】をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC6 - BPO0001
[全般] タブ	
会社 (Company)	PC1 - MySupplier
開始日 (dStart)	グラフィックカレンダーを使って次の日付を選択します。 2008年1月1日
終了日 (dEnd)	グラフィックカレンダーを使って次の日付を選択します。 2008年12月31日
[発注] タブ	
契約額 (mPOCommitment)	100 000

- 4 契約の作成を承認します。
Windowsクライアント：[作成] ボタン。
Webクライアント：[保存] ボタン。
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC6 - デSKTOPコンピュータ
番号 (amRequest)	PC6 - REQ001
[ファイナンス] タブ	
一括発注 (bUsesBlanketPO)	<input type="radio"/>
一括発注契約 (BlanketPOCtr)	PC6 - BPO0001

- 5 依頼の作成を承認します。
Windowsクライアント：[作成] ボタン。
Webクライアント：[保存] ボタン。
- 6 [明細] タブを選択します。
- 7 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します (Windowsクライアントでは [+] ボタン、Webクライアントでは、[追加])。

フィールドまたはリンク	値
数量 (fQty)	1

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ

- 8 依頼明細を追加します (Windowsクライアントでは [追加] ボタン、Webクライアントでは [OK] ボタン)。
- 9 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済

- 10 依頼の変更を確定します ([変更] ボタン)。
- 11 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

- 1 依頼「PC6 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[発注] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発注] を選択します。
- 3 [発注を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を作成 PC6 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
発注する発注明細のリスト	PC1 - デスクトップコンピュータ 1 1 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
	警告: 実用例4を実行している場合、ウィザードに複数のカタログリファレンスが表示されます。 下のカタログリファレンスを選択します。
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。	

ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは **[OK]** ボタン、Webクライアントでは **[戻る]** ボタン)。

- 4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 **[ファイナンス]** タブを選択し、内容を確認します。
一括発注へのリンクが依頼から伝達されました。
- 6 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

契約と比較された発注ステータスを確認する



警告:

リストの列の値の合計の作成は、Windowsクライアントでのみ使用できます。

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの **[契約／一括発注タイプの契約]** リンク)。
- 2 契約「**PC6 - CO0001**」の詳細画面を表示します。
- 3 **[発注]** タブを表示します。
タブ内のリストには、一括発注によって資金が供給される発注が表示されます。
リストの下にある計算機をクリックして、発注した合計額を取得します。
この合計は、**[契約額]** (mPOCommitment) フィールドとの整合性が取られます。
- 4 すべてのウィンドウを閉じます。

10 受領、実行、作成、返却

基本概念

調達サイクルの間または最後にデータベース内のオブジェクトを作成するには、さまざまな方法があります。

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
内部メンテナンスタイプの作業指示	依頼を実行する 注意: これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
契約をポートフォリオ品目にリンクする	依頼を実行する 注意: これは、これらのオブジェクトが外部サプライヤから発注されていないという事実によります。	発注された品目を受領前に作成する
ポートフォリオ品目 契約外メンテナンスまたは契約メンテナンスタイプの作業指示	注文品の受領 注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する 発注された品目を受領前に作成する

取得オブジェクト	作成モード1	作成モード2
契約	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する
研修	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する
ケーブル	注文品の受領	発注された品目を受領前に作成する

受領された品目もすべて返却されます。

図 10.1. 調達サイクル - 受領



手順

依頼を実行する

この手順は、発注が作成されることにならない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
- 契約をポートフォリオ品目にリンクする

前提条件：依頼は【ステータス】（seStatus）フィールドが次のいずれかの値に設定されている場合にのみ実行されます。

- 承認済
- 予約済
- 検収済

依頼を実行するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
- 2 実行する依頼の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：【実行】をクリックします。

Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【実行】を選択します。

- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、【発注を生じない品目を作成】ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を生じない品目を作成]	ページ
[作成数]	列に作成する品目の数を指定します。
[完了]	をクリックします。

- 5 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは **[OK]** ボタン、Webクライアントでは **[戻る]** ボタン）。

ウィザードの実行後に、データベース内で次の処理が実行されます。

取得オブジェクト	実行される処理
内部メンテナンスタイプの作業指示	作業指示が作成される
契約をポートフォリオ品目にリンクする	契約がポートフォリオ品目にリンクされる

発注された品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領する前でも発注済みの品目に対応するレコードを作成することができます。

これは発注されたすべての製品属性に対して適応します。

これを行うと、これらの品目が発注されたらすぐにこれらの品目に対してビジネスプロセス（作業指示の計画、研修など）を開始することができます。

前提条件

発注済みの品目を受領前に作成することを可能にするには、購入レベルの **[ステータス]**（seStatus）フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 承認済
- 発行済
- サプライヤ側で受注確認済
- 検収済

品目を受領前に作成する

発注済みの品目を受領前に作成するには：

- 1 発注を表示します（ナビゲーションバーの **[調達／発注]** リンク）。
- 2 発注の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：**[作成]** ボタンをクリックします。

Webクライアントの場合：**[状況依存アクション]** ドロップダウンリストから **[作成]** を選択します。

- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、**[納品待ちのポートフォリオ品目を作成]** ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[納品待ちのポートフォリオ品目を作成]	ページ
[作成数]	列に作成する品目の数を指定します。
[完了]	をクリックします。
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

ポートフォリオ品目の作成に関連する注意事項

受領前に作成されたレコードがポートフォリオ品目である場合、[割り当て] (seAssignment) フィールドが「使用中」に設定されます。

受領品目の作成に関連する注意事項

発注済みの品目の一部のみを作成し、これらの品目が特定の人物に予約されている場合、予約者の従業員ID (IDNo) に従って受領される品目がAsset Managerによって割り当てられます。

注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の [ユーザ] (User) リンクを使用して予約されます。

動作は、発注済みの品目の一部のみを作成するときと同じであり、異なる品目にリンクされます。

注意:

品目は、発注明細に関連付けられている依頼明細の [親レコード] (Parent) リンクを使用してリンクされます。

発注品目を受領する

前提条件

発注済みの品目を受領前に作成することを可能にするには、購入レベルの [ステータス] (seStatus) フィールドを次のいずれかの値に設定する必要があります。

- 発行済
- サプライヤ側で受注確認済

発注品目を受領する

解決策1：発注詳細画面から

発注した品目を受領するには：

- 1 発注を表示します（ナビゲーションバーの【調達／発注】リンク）。
- 2 受領する発注の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：【受領】をクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【受領】を選択します。
- 4 以下の表に示す値に特に注意を払って、【受領】ウィザードに入力します。

フィールドまたはリンク	値
【受領】 ページ	
リストの明細ごとに、【受領する数量】列に受領する数量を入力します。	
【完了】をクリックします。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。	

解決策2：受領リストから

発注の品目を受領するには：

- 1 受領を表示します（ナビゲーションバーの【調達／受領】リンク）。
- 2 新規の受領を作成し（【新規作成】ボタン）、特に次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
サプライヤ (Supplier)	品目を受領する発注のサプライヤを選択します。

- 3 受領の作成を確定します（Windowsクライアントでは【作成】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン）。
- 4 【内容】タブを選択します。
- 5 受領する各品目に内容の行を追加し（Windowsクライアントでは【+】ボタン、Webクライアントでは【追加】）、特に次のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
受領数 (fQty)	受領する同じモデルの品目の数を入力します。
リファレンス (CatalogRef)	【発注明細】 (POrdLine) リンクにフィルタを適用する場合に受領する品目のカタログリファレンスを入力します。

フィールドまたはリンク	値
発注明細 (POrdLine)	受領する発注明細を選択します。 完全に受領していない発注明細のみが Asset Managerによって表示されます。

受領品目を返却する

受領された品目を返却するには：

1 返却する品目の受領の詳細画面を表示します。

■ **解決策1：発注の詳細画面から**



警告:

この解決策は、Windowsクライアントにのみ適用されます。

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 返却する品目を含む発注の詳細画面を表示します。
- 3 [トラッキング] タブを選択します。
- 4 [受領] のブランチをクリックします。
- 5 返却する品目の受領の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。

■ **解決策2：受領リストから**

- 1 受領を表示します (ナビゲーションバーの [調達/受領] リンク)。
- 2 返却する品目の受領の詳細画面を表示します。

2 Windowsクライアント：[返却] をクリックします。

Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [返却] を選択します。

3 [返品] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[返品...] ページ	

フィールドまたはリンク	値
選択	<p>【返品伝票を作成】：返却を記述する返品伝票を作成します。</p> <p>この伝票は、受領伝票の【返却品】タブに表示されます。</p> <p>【受領伝票を返品伝票として使用】：返却を記述する「負の」受領伝票を作成します。</p> <p>この伝票は、受領伝票の【返却品】タブと【内容】タブに表示されます。</p> <p>【既存の返品伝票に関連付ける】：このオプションは、このバージョンのAsset Managerでは使用しないでください。</p>
【返品...】 ページ	返却に関連する明細ごとに、返却する品目の数を【返却する数量】列に指定します。
返却伝票	このオプションが使用できる場合は、返却伝票を追加する既存の受領伝票を選択します。
【次へ】 をクリックします。	
【資産の返却】 ページ	
返却する品目を選択します。	
ヒント:	
リスト内の情報が返却する品目を識別するために十分でなく、Windowsクライアントを使用している場合は、リストに列を追加します（リストを右クリックして、ショートカットメニューから【ユーティリティ/リストの設定】を選択します）。	
【次へ】 をクリックします。	
【完了】 をクリックします。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】 ボタン、Webクライアントでは【戻る】 ボタン）。	

実用例7 - 発注された品目を受領前に作成する

はじめに

この実用例では、依頼され発注された品目を受領前に事前に作成する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施する必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]

- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏のために「PC1 - HP Compaq」「PC1 - デスクトップコンピュータ」コンピュータと、コンピュータを接続する内部作業指示を発注します。

これを実行するには：

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと作業指示が作成されます。
- コンピュータが受領されます。

作成

依頼の作成

- 1 [新規依頼を作成...] ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの[調達／新規依頼を作成...] リンク）。
- 2 [新規依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[新規依頼を作成] ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ PC1 - デスクトップコンピュータ ■ PC1 - コンピュータの接続
[追加] の右側のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC7 - コンピュータの購入と接続
依頼者	PC1 - 小林
ユーザ	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC7 - REQ001

- 5 [明細] タブを選択します。
- 6 発注明細「1 PC1 - デスクトップコンピュータPC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割り当て (bInstantAssign)	はい

- 8 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [OK] ボタン)。
- 9 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 10 発注明細「1 PC1 - コンピュータの接続PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
- 11 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割り当て (bInstantAssign)	はい
[全般] タブ	
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ

- 12 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [OK] ボタン)。
- 13 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 14 依頼に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 15 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC7 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC7-REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択する] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択する	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用する参照を変更する] ページ	
発注する発注明細のリスト	PC1 - デスクトップコンピュータ 1 1 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
- 5 見積に番号を割り当て、この発注用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC7 - EST001

- 6 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン) 。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積「PC7-REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

納品待ちのポートフォリオ品目を作成する

- 1 発注「PC7 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[作成] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [作成] を選択します。
- 3 [納品待ちのポートフォリオ品目を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[納品待ちのポートフォリオ品目を作成] ページ 処理する発注明細	明細「PC1 - デスクトップコンピュータPC1 - デ スクトップコンピュータ101」を選択し、[作成 数] 列で値を「1」に設定します。
[完了] をクリックします。 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 4 「納品待ちのポートフォリオ品目を作成する [献 117]」の残りの部分について
は、Windowsクライアントにのみ適用されます。
- 5 [トラッキング] タブを表示します。

注意:

[トラッキング] タブは、Windowsクライアントでは使用できますが、Web
クライアントでは使用できません。

- 6 [資産] のブランチをクリックします。
- 7 資産「PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ (XXXXXX) 注文
中」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
[ポートフォリオ] タブ、[全般] サブタブ 割り当て (seAssignment)	納品待ち

- 8 資産の詳細画面を閉じます。
- 9 発注の詳細画面を表示したままにします。

内部作業指示の作成

- 1 依頼を表示します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 依頼「PC7 - RFP001」の詳細画面を表示します。
- 3 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済

- 4 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 5 Windowsクライアントの場合: [実行] をクリックします。
Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [実行] を選択します。
- 6 [発注を生じない品目を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を生じない品目を作成] ページ 処理する依頼明細	明細「 <i>PCI-コンピュータの接続</i> <i>PCI-コンピュータの接続11</i> 」を選択し、[作成数] 列の値を「1」に設定します。

ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。

ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。

- 7 [トラッキング] タブを表示します。



注意:

[トラッキング] タブは、Windowsクライアントでは使用できますが、Webクライアントでは使用できません。

- 8 [作業指示] のブランチをクリックします。
- 9 作業指示「*PCI-コンピュータの接続*」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 (dtNotif)	作業指示の作成の日付と時間
資産 (Asset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ (xxxxxx)
依頼者 (Requester)	PC1 - 小林

- 10 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 11 依頼の詳細画面を閉じます。

発注の受領

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 発注「*PC7 - EST001*」の詳細画面を表示します。

- 3 Windowsクライアントの場合：[受領] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 4 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。
- 5 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。
- 6 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
- 7 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割り当て (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
使用開始日 (dAssignment)	受領日
単価 (mAvgPrice)	900
[メンテナンス] タブ	
	内部メンテナンス「PC1 - コンピュータの接続 , , () 0h 通知済 0,00」

- 8 すべてのウィンドウを閉じます。

11 請求書

基本概念

請求書の登録には、いくつかの方法を利用できます。
この章では、各方法についての詳細を説明します。

図 11.1. 調達サイクル - 請求書



手順

前提条件

受領された品目に対してのみ、請求書を作成することができます。

受領から請求書を作成する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

- 1 受領を表示します（ナビゲーションバーの【調達／受領】リンク）。
- 2 請求された品目に対応する受領の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：【請求書】をクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【請求書】を選択します。
- 4 【請求書の作成】ウィザードに、値をすべて入力して、実行します。
- 5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。
- 6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。

新規の請求書を直接作成する

この方法を使用する場合、請求書が受領明細に対して整合性が取られることはありません。

- 1 請求書を表示します（ナビゲーションバーの【調達／サプライヤの請求書】リンク）。
- 2 【新規作成】をクリックします。
- 3 新しい空白の請求書が表示されます。
- 4 少なくとも【サプライヤ】（Supplier）フィールドに入力します。
- 5 レコードの作成を確定します（Windowsクライアントでは【作成】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン）。
- 6 【明細】タブを選択します。
- 7 請求明細を追加します（Windowsクライアントでは【+】ボタン、Webクライアントでは【追加】ボタン）。

受領へのリンクを維持しながら請求書に明細を追加する

この方法は、請求書を調達サイクルの他の段階と合わせることができる唯一の方法です。

- 1 受領を表示します（ナビゲーションバーの【調達／受領】リンク）。
- 2 既存の請求書に追加する品目に対応する受領の詳細画面を表示します。
- 3 Windowsクライアントの場合：【請求書】をクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【請求書】を選択します。
- 4 【請求書の作成】ウィザードに、値をすべて入力して、実行します。

特に、**【請求書を選択】** フィールドと **【請求明細を結合】** フィールドを入力します。

- 5 ウィザードによって作成された請求書のリストが表示されます。
- 6 必要な場合は、請求書と請求明細の詳細画面を完成させます。

12 コスト

基本概念

調達サイクルを使用すると、取得コストにリンクされた情報を管理することができます。

取得経費明細は、次の品目の受領時に作成されます。

- 資産が作成されることになるポートフォリオ品目
- 契約外メンテナンスおよび契約メンテナンスタイプの作業指示
- 契約
- 研修会

資産に対して経費明細を作成する方法は、資産の取得方法によって決まります。

資産の取得方法	経費明細の作成
購入	資産の受領時に即座に自動で作成される
レンタル、リース、またはローン	Asset Manager Automated Process Manager によって作成されます。

次の表は、入力する情報とその情報の処理方法を説明します。

表 12.1. 経費 - 資産

提供情報	取得が購入である場合の結果		取得がレンタル、リース、またはローンである場合の結果
	ポートフォリオ品目または資産レベル	経費明細レベル	ポートフォリオ品目または資産レベル
モデル			
会計コード (AcctCode)	会計コード (AcctCode)		会計コード (AcctCode)
同じ名前のリンクが発注レベルで空の場合は、コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)
タイプ (DeprScheme)	減価償却方法 (DeprScheme)		
依頼明細			
ファイナンス契約 (AcquContract)			リース明細 (AcquContract)
コストセンタ (CostCenter)	コストセンタ (CostCenter)	コストセンタ (CostCenter)	コストセンタ (CostCenter)
ファイナンス契約			
取得方法 (seAcquMethod)	取得方法 (seAcquMethod)		
発注明細			
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	割引 (pDiscount)	借方 (mDebit)	割引 (pDiscount)
	購入価格 (mPrice)		市場価格 (mMarketVal)
	市場価格 (mMarketVal)		
	減価償却基準 (mDeprBasis)		
	単価 (mAvgPrice)		
税額 (mTaxValue)	税金 (mTax)	借方税額 (mTaxDebit)	
コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)
サプライヤ (Supplier)	サプライヤ (Supplier)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 貸主 (Lessor) ■ サプライヤ (Supplier)

表 12.2. 経費 - 研修

提供情報	処理	
	研修レベル	経費明細レベル
モデル		
コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)
依頼明細		
コストセンタ (CostCenter)		
発注		
サプライヤ (Supplier)		
発注明細		
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	コスト (mCost)	借方 (mDebit)
税額 (mTaxValue)	税金 (mTax)	借方税額 (mTaxDebit)

表 12.3. 経費 - 契約

提供情報	処理	
	契約レベル	経費明細レベル
モデル		
コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)
ブランド (Brand)	会社 (Company)	
依頼明細		
コストセンタ (CostCenter)		
発注		
発注明細		
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	初回金 (mIntPay)	借方 (mDebit)
税額 (mTaxValue)	税金 (mTax)	借方税額 (mTaxDebit)

表 12.4. 経費 - 契約外メンテナンスおよび契約メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理	
	作業指示レベル	経費明細レベル
モデル		
コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)
依頼明細		
コストセンタ (CostCenter)		
発注		

提供情報	処理	
	作業指示レベル	経費明細レベル
サプライヤ (Supplier)	会社 (Supplier)	
発注明細		
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)	見積額 (mEstimCost)	借方 (mDebit)
	実質経費 (mCost)	
税額 (mTaxValue)	税金 (mTax)	借方税額 (mTaxDebit)

表 12.5. 経費 - 内部メンテナンスタイプの作業指示

提供情報	処理	
	作業指示レベル	
モデル		
コストタイプ (CostCategory)	コストタイプ (CostCategory)	
依頼明細		
コストセンタ (CostCenter)		
発注明細		
単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)		
税額 (mTaxValue)		

実用例15 - コスト

はじめに

この実用例では、取得コストを処理する方法と経費明細を作成する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

- 次の品目を取得する必要があります。
 - 資産PC1 - デスクトップコンピュータ
 - 契約外メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」
 - 内部メンテナンスタイプの作業指示「PC1 - コンピュータの接続」

- 契約「PC1 - 保証」
- 研修「PC1 - コンピュータ基礎研修」
- 「PC1 - 同軸ケーブル」ケーブル
- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」に送るために発注に変換されます。
- 発注された品目が受領されます。

作成

依頼の作成

- 1 [新規依頼を作成...] ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの[調達／新規依頼を作成...] リンク）。
- 2 [新規依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
[新規依頼を作成] ページ		
モデル	選択： <ul style="list-style-type: none"> ■ PC1-デスクトップコンピュータ ■ PC1-コンピュータのインストール ■ PC1-コンピュータの接続 ■ PC1 - 保証 ■ PC1-コンピュータ基礎研修 ■ PC1 - 同軸ケーブル 	モデルが依頼明細に伝達されます。
[追加] の右側のフィールド	1	数量が依頼明細に伝達されます。
[追加] をクリックします。		
[次へ] をクリックします。		
[新規依頼] ページ		
目的	PC15 - コスト管理	
コストセンタ	PC1 - 本社	コストセンタは、依頼と依頼明細の [コストセンタ] (CostCenter) フィールドに伝達されます。

- 3 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。
- 5 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。

6 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済
番号 (amRequest)	PC15 - REQ001

- 7 依頼に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは **【変更】** ボタン、Webクライアントでは **【保存】** ボタン)。
- 8 特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	使用方法
[配賦] タブ コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 本社	このリンクは、追加する依頼明細に対してデフォルト値として使用します。 これは発注に伝達されません。

- 9 **【明細】** タブを選択します。
- 10 依頼明細「1 PC1 - デスクトップコンピュータPC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[全般] タブ モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ	受領時に、モデルの 【コストタイプ】 (CostCategory) フィールド、 【タイプ】 (DeprScheme) フィールド、 【会計コード】 (AcctCode) フィールドが受領品目に伝達されます。モデルの 【コストタイプ】 (CostCategory) リンクが経費明細に伝達されます。
[購入] タブ 税率 (pTaxRate)	7.75%	このフィールドはモデルから取得されません。 このフィールドは、発注明細に伝達されません。
税額 (mTaxValue)	77.50	このフィールドは、 【単価】 (mUnitCost) フィールドと 【税額】 (pTaxRate) フィールドに基づいて計算されます。 このフィールドは、発注明細に伝達されません。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[配賦] タブ		
コストセンター (CostCenter)	PC1 - 本社	このフィールドは、ウィザードによって入力されます。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	このフィールドはモデルから取得されます。

- 11 依頼明細の詳細画面を閉じます。
- 12 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

- 1 依頼「PC15 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[発注] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[発注] を選択します。
- 3 [発注を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC15 - REQ001] ページ 明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	

注意:

通常、モデル「PC1 - コンピュータの接続」に対応する依頼明細は選択されません。これは、内部作業指示であり、発注を作成する必要がありません。

カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
カタログリファレンスがデフォルトでモデルに関連付けられているため、ページを変更せずに使用できるはずです。	

- 4 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。
- 5 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。
- 6 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
ステータス (seStatus)	承認済	

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
番号 (amRequest)	PC15 - PO001	
[ファイナンス] タブ		
取得方法 (seAcquMethod)	購入	購入の取得方法は、受領品目に伝達されま す。

- 8 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 9 [明細] タブを選択します。
- 10 発注明細「1 PC2 - デスクトップコンピュータPC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
特に、以下のフィールドとリンクの詳細について調べます。

フィールドまたはリンク	値	特定データ項目の発生元と使用
[購入] タブ		
単価 (mUnitCost)	1000	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
割引 (pDiscount)	10%	このフィールドはカタログリファレンスから入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
税率 (pTaxRate)	7.75%	このフィールドは依頼明細から入力されました。
税額 (mTaxValue)	69.75	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、受領品目に伝達されて経費明細の計算に使用されます。
[配賦] タブ		
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 本社	このフィールドは依頼明細から入力されました。 受領時に、これは使用されません。

- 11 発注明細の詳細画面を閉じます。
- 12 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

- 1 発注「PC15 - PO001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。

- Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【発行】を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（【完了】ボタン）。
 - 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
 - 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC15 - PO001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【受領】をクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【受領】を選択します。：
- 3 ウィザードの実行を確定します（【完了】ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値	発生元
【全般】タブ		
単価 (mAvgPrice)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	モデル: コストタイプ (CostCategory)
コストセンタ (CostCenter)	PC1 - 本社	依頼明細: コストセンタ (CostCenter)
【取得】タブ、【価格と条件】サブタブ		
購入価格 (mPrice)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	69.75	発注明細: 税額 (mTaxValue)
割引 (pDiscount)	10%	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
【取得】タブ、【調達】サブタブ		
取得方法 (seAcquMethod)	購入	発注: 取得方法 (seAcquMethod)
会計コード (AcctCode)	PC1 - CC001	モデル: 会計コード (AcctCode)
サプライヤ (Supplier)	PC1 - MySupplier	発注: サプライヤ (Supplier)
市場価格 (mMarketVal)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
【固定資産】タブ		
減価償却方法 (DeprScheme)	PC1 - 定額法	モデル: タイプ (DeprScheme)

フィールドまたはリンク	値	発生元
減価償却基準 (mDeprBasis)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)

- 6 [コスト] タブを表示します。
- 7 経費明細の詳細画面を表示します。
- 8 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
借方 (mDebit)	900	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	69.75	発注明細: 税額 (mTaxValue)
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - コンピュータ	モデル: コストタイプ (CostCategory)

9



警告:

「発注の受領 [献 133]」の残りの部分については、Windowsクライアントにのみ適用されます。

経費明細の詳細画面を閉じます。

- 10 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます。
- 11 発注の詳細画面を閉じます。
- 12 依頼「PC15 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 13 [トラッキング] タブを選択します。
- 14 [ケーブル] のブランチを展開します。
- 15 ケーブル「PC1 - 同軸ケーブル」の詳細画面を表示します。
取得経費にリンクされた情報が使用できないことに気が付きます。
- 16 ケーブルの詳細画面を閉じます。
- 17 [作業指示] のブランチをクリックします。
- 18 作業指示「PC1 - コンピュータのインストール」の詳細画面を表示します。
- 19 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[取得] タブ		
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル: コストタイプ (CostCategory)
見積額 (mEstimCost)	360	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
実質経費 (mCost)		

フィールドまたはリンク	値	発生元
税金 (mTax)	27.90	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 20 [コスト] タブを選択します。
- 21 経費明細の詳細画面を表示します。
- 22 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
借方 (mDebit)	360	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	27.90	発注明細: 税額 (mTaxValue)
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル: コストタイプ (CostCategory)

- 23 経費明細の詳細画面を閉じます。
- 24 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 25 [研修] タブを表示します。
- 26 「PC1 - コンピュータ基礎研修」の詳細画面を表示します。
- 27 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 研修	モデル: コストタイプ (CostCategory)
コスト (mCost)	190	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	37.24	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 28 研修の詳細画面を閉じます。
- 29 [契約] のブランチを展開します。
- 30 契約「PC1 - 保証」の詳細画面を表示します。
- 31 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 契約	モデル: コストタイプ (CostCategory)
初回金 (mIntPay)	50	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
税金 (mTax)	3.88	発注明細: 税額 (mTaxValue)

- 32 [コスト] タブを表示します。

- 33 経費明細の詳細画面を表示します (🔍 ボタン)。
 34 特に、以下の表のフィールドとリンクを調べます。


フィールドまたはリンク	値	発生元
[全般] タブ		
借方 (mDebit)	50	発注明細: 単価 (mUnitCost) と割引 (pDiscount)
借方税額 (mTaxDebit)	3.88	発注明細: 税額 (mTaxValue)
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 契約	モデル: コストタイプ (CostCategory)

- 35 経費明細の詳細画面を閉じます。
 36 契約の詳細画面を閉じます。
 37 依頼の詳細画面を表示したままにします。

内部作業指示の作成

- 1 依頼「*PC15 - REQ001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合: [実行] をクリックします。
 Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [実行] を選択します。
- 3 [発注を生じない品目を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を生じない品目を作成] ページ	
処理する依頼明細	明細「 <i>PCI - コンピュータの接続 PCI - コンピュータの接続 1 1</i> 」が既に選択されているので、[作成数] 列の値を「1」に設定します。
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 4  **警告:**
 「内部作業指示の作成 [献 136]」の残りの部分については、Windowsクライアントにのみ適用されます。
 [トラッキング] タブを表示します。
- 5 [作業指示] のブランチをクリックします。
 - 6 作業指示「*PCI - コンピュータの接続*」の詳細画面を表示します。
 - 7 このレコードの詳細を調べます。特に、以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値	発生元
[取得] タブ		
コストタイプ (CostCategory)	PC1 - 作業指示	モデル: コストタイプ (CostCategory)
見積額 (mEstimCost)	未入力	
初期経費 (mCost)		
税金 (mTax)		

- 8 【コスト】 タブを表示します。
- 9 経費明細が作成されませんでした。
- 10 すべてのウィンドウを閉じます。

13 依頼のセルフサービス

基本概念

依頼の作成には、いくつかの方法を利用できます。いくつかの方法が、「[依頼 \[献 67\]](#)」の章で説明されています。

ここでは、依頼のセルフサービスシステムについて説明します。このシステムでは、より操作性が向上し、依頼の実行に**HP Service Manager**インタフェースを使用できます。

- 1 **HP Service Manager**セルフサービスで公開するカタログについて、**Asset Manager**で記述できます。
- 2 **Asset Manager**からのモデルは、「[HP Service Managerのカテゴリとして公開されたモデルの管理 \[献 142\]](#)」に説明されている条件下で、カテゴリとして**HP Service Manager**カタログにエクスポートされます。
- 3 標準依頼、製品、およびカタログ外製品は、「[品目としてHP Service Managerに転送されるAsset Manager品目 \[献 142\]](#)」に説明されている特定の条件下で、品目として**HP Service Manager**カタログにエクスポートされます。
- 4 ユーザは、**HP Service Manager**セルフサービスカタログを使用し、使用可能品目から選択して依頼を作成します。

 **注意:**

依頼者は、以下に関して以外、品目の内容を変更することはできません。

- 標準依頼のオプションの選択肢：インタフェースにより、依頼者は維持するオプションを選択できます。
- カタログ外製品の説明：依頼者は、対応するフィールドに詳細な製品の説明を入力します。

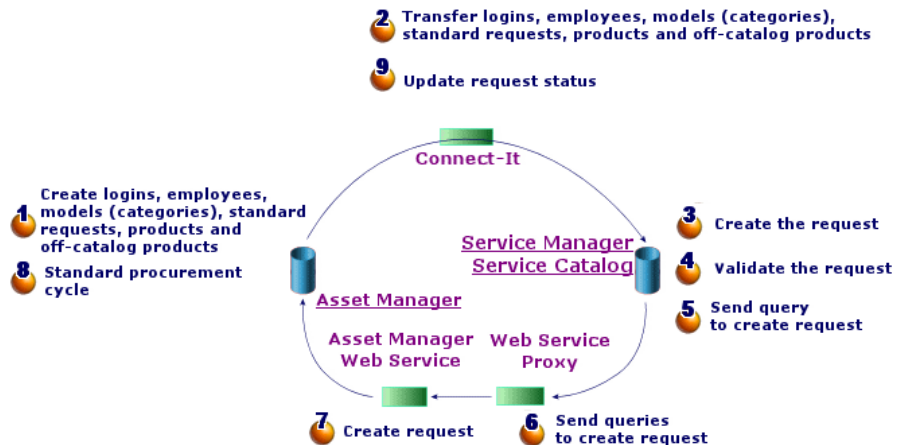
- 5 Asset Managerからの品目を含む依頼を作成するためのクエリは、Web Service Proxy経由で、HP Service ManagerからAsset Manager Web Serviceに転送されます。
- 6 次に、Asset Manager Web Serviceで依頼が作成されます。
- 7 この手順の後、「調達サイクル[献 59]」の章に説明されているとおり、調達サイクルは通常Asset Managerで実行されます。
- 8 依頼明細のステータスは、HP Connect-ItシナリオによりHP Service Managerで更新されます。
ユーザは、Asset Managerで依頼のステータスを表示することができます。

 **警告:**

依頼のセルフサービスを使用するには、HP Service ManagerのESS (Employee Self-Service) ユーザインストールが必要です。詳細については、『HP Service Managerインストールとアップグレード』マニュアルを参照してください。ESS ユーザのみがこのHP Service Manager Webのインスタンスに接続できます。他のユーザについては、HP Service Managerの別のインスタンスをインストールする必要があります。

システムは、下の図のように動作します。

図 13.1. 依頼のセルフサービス - 概要



依頼を作成するには、以下のいずれかを使用できます。

- HP Service Managerクライアントのいずれか1つ
- Asset Manager WebとHP Service Manager Webのメニューが集約されている場合は、Asset Manager Webクライアント。

注意:

メニューの集約をさらにうまく機能させるには、プラットフォームにシングルサインオンを導入できます（シングルサインオンを使用すると、再認証を必要とせずに、HP Service ManagerとAsset Managerとの間のやり取りができます）。

▶ シングルサインオン [献 145]

HP Service Managerカタログの構成

HP Service Managerの依頼のセルフサービスカタログは、以下で構成されています。

- 依頼時にユーザが選択した品目
- 品目が分類されるカテゴリ。

品目としてHP Service Managerに転送されるAsset Manager品目

HP Service Managerカタログには、Asset Managerに由来する異なった種類の品目があります。

- 製品：これらは、以下に該当する【製品】（amCatProduct）テーブルからの品目です。
 - コンポーネントを持たない
 - 承認され（ [承認（Certification）] フィールド）、承認の終了日（dCertifEnd）が現在の日付より後（ [取得] タブ）
 - HP Service Managerに対して公開可能： [Service Managerで公開可能]（bPubInSSC）フィールドがオンになっている（ [取得] タブ）
 - モデルの親とすべての親モデル（階層的に関連付けられたモデル）がHP Service Manager内でカテゴリとして公開可能
- 以下の条件を満たす標準依頼：
 - 購入依頼について承認され（ [bRequestable] フィールドがオン）、有効性の終了日（dtEndValidity）が現在の日付より後（またはフィールドが空）（ [標準] タブ）
 - HP Service Managerに対して公開可能： [Service Managerで公開可能]（bPubInSSC）フィールドがオンになっている（ [標準] タブ）
 - モデルとすべての親モデルがHP Service Managerカテゴリとして公開可能
- カタログ外製品のモデル：
 - HP Service Managerに対して公開可能
 - カタログ外製品として選択可能であると識別されている（ [bOffCat] フィールドがオンになっている）
 - モデルとすべての親モデルがHP Service Managerのカテゴリとして公開可能
 - モデル（カテゴリ）が継承された製品を保有している

これらのカタログ外製品を使用すると、ユーザは依頼作成時にカタログにない品目を選択することができます。ユーザは、発注する製品カテゴリに対応するカタログ外製品を選択し、対応するフィールドで目的の製品にさらに詳細な説明を追加します。

HP Service Managerのカテゴリとして公開されたモデルの管理

HP Service Managerカタログで公開可能なモデル（カテゴリ）は、ナビゲーションバーの【Service Managerで公開可能なカタログ/モデル】リンクを使用して表示できます。

HP Service Managerサービスカタログでモデルを公開、または公開をキャンセルするには

- モデルの詳細画面（ナビゲーションメニューにある【ポートフォリオ管理／モデル】リンク）で、【SMカタログ管理】ボタンをクリック（またはWebクライアントの【アクション...】ドロップダウンメニューで【SMカタログ管理】を選択）して、【HP Service Managerカタログで公開可能または公開不可能なモデルを作成】ウィザードを使用します。
このウィザードを使用すると、すべての子モデルに伝達する【Service Managerで公開可能】プロパティを指定することができます。
- モデルの詳細画面（ナビゲーションメニューにある【ポートフォリオ管理／モデル】リンク）の【全般】タブで【Service Managerで公開可能】（bPubInSSC）チェックボックスをオン、またはオフにして、HP Service Managerでモデルの公開をカテゴリとして手動で指定します。

カタログ外製品の管理

HP Service Managerの依頼のセルフサービスカタログでは、カタログ外製品、つまりカタログに掲載されていないが既存のカテゴリに属している製品を選択することができます（例：カタログに含まれていないレーザープリンタ）。

依頼でこのカタログ外製品を選択し、対応するフィールドに目的の製品の詳細な説明と参考情報を入力します。

HP Service Managerで公開されたカタログ外製品をAsset Managerで作成するには：

- 1 カatalog外製品の作成に使用するモデルとHP Service Managerで公開可能なそのモデルのすべての親モデルを作成します。
この場合、モデルの詳細画面（ナビゲーションメニューにある【ポートフォリオ管理／モデル】リンク）で、【SMカタログ管理】ボタンをクリック（またはWebクライアントの【アクション...】ドロップダウンメニューで【SMカタログ管理】を選択）して、【HP Service Managerカタログで公開可能または公開不可能なモデルを作成】ウィザードを使用します。
- 2 カatalog外モデル画面を開きます（ナビゲーションバーの【カタログ／Service Manager用のカタログ外モデル】リンク）。
- 3 モデルの詳細画面で、【SMカタログ管理】ボタンをクリック（またはWebクライアントの【アクション...】ドロップダウンメニューで【SMカタログ管理】を選択）して、【HP Service Managerカタログで公開可能または公開不可能なモデルを作成】ウィザードを起動します。

HP Service Managerカタログ外製品カタログの作成に使用するレコードを選択して、ウィザードの詳細に入力します。

 **警告:**

HP Service Managerでは、モデルは以下の条件がすべて満たされた場合のみカタログ外製品として公開されます。

- カタログ外 (bOffCat) と記され、カタログ外モデルのリストに表示されている (ナビゲーションバーの [カタログ/**Service Manager**用のカタログ外モデル] リンク)。
- HP Service Managerで公開可能で、 [*Service Manager*で公開可能] (bPublnSSC) チェックボックスがオン、 [*SM*で公開可能なカタログ外製品モデルを管理] (ナビゲーションバーの [カタログ/**Service Manager**で公開可能なモデル] リンク) のリストに表示されている。
- このモデルのすべての親モデルがHP Service Managerで公開されている: すべての親モデルの [*Service Manager*で公開可能] (bPublnSSC) チェックボックスがオンになっている。
- 親モデルがHP Service Managerで公開可能な継承された製品を保有している。

インストールと設定

コンポーネントのインストールと設定

HP Service ManagerおよびHP Service Manager Web

- 既にフルバージョンのHP Service Managerがある場合は、*ESS (Employee Self-Service)* ユーザ用のHP Service Manager Webをインストールしていることを確認するか、『HP Service Managerインストールとアップグレード』ガイドを参照してインストールしてください。

 **注意:**

ESSユーザのみがこのHP Service Manager Webのインスタンスに接続できません。

他のユーザについては、HP Service Managerの別のインスタンスをインストールする必要があります。

- HP Service Managerを保有していない場合は、ESSユーザ向けのインストールを実行していることを確認して、Asset Manager (または別のCD-ROM) で提供されるバージョンをインストールしてください。
- 依頼の承認を無効にします。
 - 1 HP Service Managerクライアントを実行します。
 - 2 HP Service Managerデータベースに接続します。

- 3 ブラウザで、[メニュー/サービスカタログ/承認アクティビティ] を選択します。
- 4 **[General Approval]** テーブルの最初の行を選択します。
- 5 **[承認アクティビティの削除]** リンクをクリックします。
- 6 **[終了]** をクリックします。

Asset ManagerとAsset Manager Web

▶Asset ManagerとAsset Manager Webのインストールについては、『インストールとアップグレード』ガイドを参照してください。

シングルサインオン

Asset Manager WebとHP Service Managerを移動するたびに再認証する必要を避けるには、シングルサインオンを設定する必要があります。

次の項で説明されている手順を実行してください。

- Asset Manager Webでシングルサインオンを設定するには：
 - ▶『管理』ガイドの「データベースへのアクセスコントロール」の章、「Asset Managerデータベースへのユーザ認証を管理する」のセクション。
 - 「Asset Manager Webクライアント：Active Directoryを使用するシングルサインオンの導入」
 - 「Asset Manager Webクライアント：SiteMinderを使用するシングルサインオンの導入」
 - 「Asset Manager Webクライアント：CAMSを使用するシングルサインオンの導入」
- HP Service Manager Webでシングルサインオンを設定するには：
 - ▶HP Service Managerマニュアル：http://<HP Service Manager documentation server>/help/index.jsp?topic=/security/concepts/example_enabling_trusted_sign-on.htm



警告:

Asset Manager WebとHP Service Manager Webのメニューの集約が正常に機能するには、両方のアプリケーションで、例えばActive Directoryを使用した統合Windows認証のような同じシングルサインオンシステムを使用する必要があります。

Asset Manager WebおよびHP Service Manager Webメニューの集約

WebでのAsset ManagerメニューとHP Service Managerメニューとの移動を簡素化するには、Asset Manager WebメニューとHP Service Manager Webメニューを集約できます。集約後、Asset Manager WebのメニューとHP Service Manager Webのメニューは、同じナビゲータにグループ化されます。

- ▶ 『カスタマイズ』ガイドの「Webクライアントのカスタマイズ」、
「Asset Manager WebおよびHP Service Manager Webメニューの集約」の章を
参照してください。

HP Connect-It

はじめに

HP Connect-Itは、Asset ManagerからHP Service Managerへのデータの同期に使用されます。

HP Connect-Itがインストールされると、シナリオは<HP Connect-Itインストールフォルダ>\scenario\ac\ac51\esscat\フォルダで使用できるようになります。

同期したオブジェクト	HP Connect-Itシナリオ	Asset Managerテーブル	HP Service Managerサービス	HP Service Managerデータベースに追加された接頭コード
依頼の作成が必要な場合のある従業員のログイン	sso.scn	amEmplDept	Operator700	
従業員	users.scn	amEmplDept	Contact	
標準依頼と製品モデル	categories.scn	amModel	ServiceCatalog	
標準依頼、製品およびカタログ外製品	catalogitems.scn	amRequest, amCatProduct, amModel	ServiceCatalog	標準依頼のタイプ： <i>STD-</i> 製品： <i>CP-</i> カタログ外製品： <i>OFFC-</i>
依頼のステータス	status.scn	amRequest	UpdateCartItem	

HP Connect-Itをインストールする

- ▶ HP Connect-It 『ユーザガイド』の「インストール」の章

Asset Managerで提供されるHP Connect-Itのバージョンを使用するか、サポートされるバージョンの詳細については、互換対応表（HP ソフトウェアサポート Webサイト）：www.hp.com/go/hpsupport）を参照してください。

HP Connect-Itの設定

HP Connect-Itを起動し、各シナリオに対して以下を実行します。

- 1 <HP Connect-Itインストールフォルダ>\scenario\ac\ac51\esscat\フォルダのシナリオを開きます（**[File/Open]**メニュー）。
- 2 **[Scenario diagram]** ウィンドウでHP Service Manager Web Serviceコネクタの設定を変更します。
 - 1 HP Service Manager Web Serviceコネクタを右クリックし、**[Configure connector...]** を選択します。

- 2 **[Configure the connector]** ウィザードが開きます。
 - 3 **[Next]** をクリックします。
 - 4 **[Define the connection parameters]** ページに必要な情報を入力します。
 - 5 **[Finish]** をクリックします。
- 3 **[Scenario diagram]** ウィンドウに戻って**Asset Manager**コネクタの設定を変更します。
 - 1 **Asset Manager**コネクタを右クリックし、**[Configure connector...]** を選択します。
 - 2 **[Next]** をクリックします。
 - 3 **[Define the connection parameters]** ページに必要な情報を入力します。
 - 4 **[Finish]** をクリックします。
 - 4 変更を保存します（**[File/Save]** メニュー）。

Asset Manager Automated Process Manager

Asset Manager Automated Process Managerのインストールと設定

Asset Manager Automated Process Managerを使用すると、HP Connect-Itシナリオを定期的に起動できます。

Asset Manager Automated Process Managerのインストール方法については、『インストールとアップグレード』ガイドの「*Windows* でのインストールとアンインストール（*Asset Manager Web*以外）」の章を参照してください。

デフォルトでは、HP Connect-Itシナリオは、以下の回数実行されるように設定されています。

- ログインの同期（sso.scn）：週1回
- ユーザの同期（users.scn）：週1回
- モデルの同期（categories.scn）：週1回
- 標準依頼、製品およびカタログ外製品の同期（catalogitems.scn）：週1回
- 依頼のステータスの同期（status.scn）：1日1回

シナリオが実行される頻度を変更することができます。この場合は、次のように設定します。

- 1 **Asset Manager Automated Process Manager**を起動し、本番データベースに接続します。
- 2 **[ツール/モジュールの設定...]** メニューを選択します。
- 3 **[新規作成]** をクリックします。
- 4 名前、説明、および以下のコマンドを入力します。

```
"$connectit_exedir$/conitsvc.exe" -once -wpplog '$connectit_exedir$/scenario/ac/ac51/esscat/xxx.scn' -dc:AssetCenter.SERVER=$cnx$ -dc:AssetCenter.LOGIN=$login$ -dc:AssetCenter.TEXTPASSWORD=$pwd$
```

ここでxxxは、スケジュールするシナリオの名前を示します。

- 5 必要に応じて実行をスケジュールします。
- 6 **【新規作成】** をクリックします。

その他のスケジューラ

独自のスケジューラを使用している場合、Asset Manager Automated Process Managerの代わりに使用して、HP Connect-Itシナリオを起動します。このためには、実行をトリガする新しい時間を設定し、名前、説明および以下のコマンドラインを入力してHP Connect-Itを実行します。

```
"$<HP Connect-Itインストールフォルダ>%/conitsvc.exe" -once -wpplog '$<HP Connect-It installation folder>%/.scenario/ac/ac51/esscat/xxx.scn' -dc:AssetCenter.SERVER=$<Name of connection to Asset Manager Automated Process Manager>% -dc:AssetCenter.LOGIN=$<Login>% -dc:AssetCenter.TEXTPASSWORD=$<Password >%
```

ここでxxxは、スケジュールするシナリオの名前を示します。

次に、必要に応じて実行をスケジュールします。

Asset Manager Web Service

- ▶ 『インストールとアップグレード』ガイドの「Asset Manager Webのインストール、設定、削除、更新」の章、「Asset Manager Webのインストール」のセクション、「Asset Manager Web Serviceのインストール」を参照してください。

Web Service Proxy

Web Service Proxyは、HP Service Managerカタログから購入依頼を作成するクエリをAsset Manager Web Serviceへの一連の呼び出しに変換する場合に使用されるインタフェースです。これにより、Asset Managerでの購入依頼の作成が可能になります。

Web Service Proxyは任意のマシン（例えば、Asset Manager Web Serviceと同じマシン）にインストールすることができます。

- 1 Web Service Proxyを設定するマシンにApache Antをインストールします (<http://ant.apache.org/>から入手)。
- 2 http://java.sun.com/javase/downloads/index_jdk5.jspから、Java SE 5をインストールします。
- 3 <Asset Managerインストールフォルダ>\esscat\build\フォルダで、「ant.properties.default」ファイルを複製し、複製したファイルの名前を「ant.properties」に変更します。
- 4 編集モードで「ant.properties」ファイルを開き、ws.host、ws.port、およびws.serviceパラメータを変更して、<http://<ws.host>/<ws.port>/<ws.service>>リンクがAsset Manager Web Serviceのインストールされているマシンを示すように変更します。

必要に応じて、Webアプリケーション（Web Service Proxy）を作成する手順を実行するフォルダを示すように変数gen.dir も変更します。

- 5 DOSコマンドラインプロンプトを開き、<Asset Managerインストールフォルダ>\esscat\build\フォルダに変更します。
次のコマンドを実行する。

```
ant all
```

- 6 これにより、「ServiceCatalog.war」ファイルが作成されます。このファイルはアプリケーションサーバに展開する必要があります。
- 7 例えば、アプリケーションサーバがTomcatの場合、Tomcat Web Application Managerを開きます。[導入するWARファイル] セクションで、「ServiceCatalog.war」ファイルへのパスを指定して、[展開] を指定します。

 **注意:**

Tomcat以外のアプリケーションサーバを使用している場合、標準的な作業指示手順に従って、アプリケーションサーバに「ServiceCatalog.war」ファイルを展開します。

- 8 Web Service Proxyは、HP Service ManagerとAsset Manager Web Serviceの間のリンクとして機能するため、これらの要素の間でリンクを設定する必要があります。

HP Service ManagerとWeb Service Proxyとの間のリンクを設定するには、HP Service Managerで次のとおり、**カタログコネクタ**を設定します。

- 1 HP Service Managerを起動します。
- 2 [サービスカタログ/カタログコネクタ] メニューを選択します。
- 3 「Open a Standard Request in Asset Manager」という名前のコネクタを選択します。
- 4 [式] タブで、*\$L.url*の直後にWeb Service Proxyへのパスを入力します。

```
$L.url="http://<Name or IP address of the Web Service Proxy>:<Web Service Proxy port number>/ServiceCatalog/services/ServiceCatalog"
```

例 :

```
$L.url="http://ProxyServer:8080/Service Catalog/services/ServiceCatalog"
```

アプリケーションサーバにより起動されるJava仮想マシンには、多くのメモリが必要なため、少なくとも256MB使用できるようにメモリを増強する必要があります。このためには、以下のスイッチで、JVM (Java仮想マシン) *MaxPermSize* パラメータを変更します。

```
-XX:MaxPermSize=256m
```

Tomcat アプリケーションサーバを使用している場合は、次の手順に従います。

- 1 Tomcat設定コンソールを起動します (**Windows**メニューの [スタート/プログラム/**Apache Tomcat 5.0/Configure Tomcat**])。
- 2 [**Java**] タブを選択します。
- 3 [*Java Options*]セクションに、以下の行を追加します。

```
-XX:MaxPermSize=256m
```

- 4 Tomcat設定コンソールを終了します。

標準依頼番号に追加された接頭コードの変更

Web Service ProxyがAsset Managerデータベースでの新しい依頼の作成を開始すると、依頼の [番号] (ReqNumber) フィールドに接頭コードを追加します。

デフォルトで、この接頭コードは**ESS-**です。

この接頭コードを変更する場合は

- 1 HP Connect-Itシナリオエディタを実行します。
- 2 <HP Connect-Itインストールフォルダ>\scenario\ac\ac51\esscat\フォルダの*status.scn*シナリオを開きます ([ファイル/開く] メニュー) 。
- 3 [*Scenario diagram*] ウィンドウで
 - 1 [**Asset Manager**] ボックスを右クリックします。
 - 2 [Edit a document type...] メニューを選択します。
 - 3 [*amRequest (amRequest)*] の詳細行を表示します。
 - 4 [*amRequest*] の行を選択します。
 - 5 [**WHERE Clause:**] フィールドで、**ESS-**を選択した接頭コードで置き換えます。
 - 6 確認します ([OK] ボタン) 。
- 4 変更を保存します ([File/Save] メニュー) 。
- 5 <Tomcatインストールフォルダ>\webapps\ServiceCatalog\WEB-INFフォルダのWeb Service Proxyの「web.xml」ファイルをテキストエディタで開きます。
- 6 *RequestCreationPrefix*パラメータを検索し、*status.scn*シナリオで使用した、同じ接頭コードを持つ**ESS-**の値と置き換えます。
- 7 変更を保存します。

初期化

ユーザプロファイルの設定

ユーザを依頼のセルフサービスシステムに正しく接続させるには、以下のHP Service Manager設定を実行します。

- 1 管理者権限を持つHP Service Managerクライアントを起動します (例えば、*falcon*) 。

- 2 [システムナビゲータ/システム管理/進行中のメンテナンス/オペレータ] メニューを開きます。
- 3 テンプレートサービスカタログレコードを検索します（[ログイン名] フィールドにテンプレートサービスカタログを入力し、[検索] をクリック）。
- 4 [セルフサービスアクセスのみ] チェックボックスをオンにします。
- 5 [ノートブックの起動] タブ、[実行ケイパビリティ] で、*svcCatEmployeeRequester*をテーブルの最初の空いた行に入力します。
- 6 変更を保存します。

Asset Managerでの参照レコードの作成

Asset Managerで事前に作成する必要のある項目には、以下が含まれます。

- データベースに接続でき、依頼のセルフサービスシステムを使用している従業員（**amEmplDept**テーブル）。
これらの従業員には、ログインとパスワードが必要です。
- 依頼の作成対象となっている従業員（**amEmplDept**テーブル）。
- 標準依頼と製品モデル（**amModel**テーブル）。
- 標準依頼（**amRequest**テーブル）、製品（**amCatProduct** テーブル）およびカタログ外製品（**amModel**テーブル）。

HP Connect-Itシナリオの初期化

別のコンポーネントがインストールされている場合は、HP Connect-Itシナリオを初期化する必要があります。

- 1 ログインの同期化：データベース管理者が行います
- 2 従業員の同期化：データベース管理者が行います
- 3 標準依頼と製品モデルの同期化：カタログマネージャが行います
- 4 標準依頼、製品、カタログ外製品の同期化：カタログマネージャが行います
- 5 依頼ステータスの同期化：カタログマネージャ、または調達部管理者が行います

次にこれらのシナリオを手動、または自動で「**Asset Manager Automated Process Manager** [献 147]」に定義された日時、または指定した日時に起動します。

linkerスケジューラの有効化

HP Service Managerのlinkerスケジューラは、HP Service ManagerクエリがWeb Service Proxyに送信されたことを確認します。

linkerスケジューラが有効になっていることを確認します。この場合は、次のように設定します。

- a HP Service Managerコマンドプロンプトに「*status*」と入力します。
- b *linker*がリスト画面に表示されることを確認します。

linkerスケジューラがリストに表示されない場合は、linkerスケジューラを有効にします。

- 1 [スケジュールの開始] ボタンをクリックします。
- 2 リストの [linker-startup] をダブルクリックします。

用途

- 1 HP Service Managerクライアント、またはAsset Manager Webクライアントを起動します (Asset ManagerとHP Service Managerメニューを集約している場合)。
- 2 「サービスカタログ」セクションでは、選択を行い、依頼を作成します。
依頼の中にオプション製品付きの標準依頼が含まれている場合は、これらのオプションを選択する必要があります。
カタログ外モデル画面を開きます (ナビゲーションバーの [カタログ/Service Manager用のカタログ外モデル] リンク)。
- 3 依頼を承認する権限を持つユーザは、HP Service Managerで依頼を承認または却下します。

注意:

HP Service Managerでは、Asset Managerとは異なり、依頼の品目を1つずつ承認または却下することはできません。依頼全体を承認または却下する必要があります。

- 4 HP Service Managerで依頼が承認された場合、依頼を作成するためのクエリは、Web Service Proxy経由で、HP Service ManagerからAsset Manager Web Serviceに転送されます。
Asset Manager品目のみがAsset Managerに転送されます。

注意:

最初の依頼が、Asset Manager品目とHP Service Manager品目の両方に含まれていた場合、Asset Manager品目のみがAsset Managerで処理されます。HP Service Manager品目は、HP Service Managerで直接処理されます。

- 5 依頼はAsset Managerで処理され、標準の調達サイクルがトリガされます。
- 6 次に、依頼明細のステータスは、HP Connect-Itシナリオstatus.scnによりHP Service Managerで更新されます。

 **警告:**

HP Service Managerの依頼のステータス（すべての依頼された品目のグローバルなステータス）は更新されていません。これは、HP Service Manager依頼には、Asset Manager以外のアプリケーション向けの依頼品目を含めることができるからです。

- 7 依頼のグローバルなステータスを確認するには、ナビゲーションバーの [調達/購入依頼] リンクを介して、Asset Managerで確認します。
- ▶HP Service ManagerサービスカタログとHP Service Managerでの依頼作成手順の詳細については、*HP Service Manager*オンラインヘルプの [サービスカタログ] のセクションを参照してください。

II 特別な例

14 複合製品

基本概念

複合製品とは

複合製品とは、1つのサプライヤで入手可能なグループ化された製品です。

複合製品のタイプ

複合製品には2つのタイプがあります。

- 受領時に主製品がレコードを作成する複合製品。

この主製品とは、主製品を構成している製品群の親製品です。

例：外付けCDライターがリンクされている「*HP Compaq*デスクトップコンピュータ」という名前の複合製品。

このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、**【作成】**（seBasis）フィールドが「なし」以外の値に設定された属性にリンクされています。

- 受領時に主製品がレコードを作成しない複合製品。

この主製品は、主製品を構成している製品群の入れ物として機能します。

例：ラップトップとプリンタで構成されている「セールスエンジニア用の設定」という名前の複合製品。

このタイプの複合製品を取得するには、主製品をモデルにリンクします。モデル自体は、【作成】（seBasis）フィールドが「なし」に設定された属性にリンクされています。

実用例8a - 複合製品

はじめに

この実用例では、受領時に主製品がレコードを作成することになる複合製品を作成する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施する必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

外付けCDライター「PC1 - HP Compaq外付けCDライター」がリンクされているコンピュータ「PC1 - HP Compaqデスクトップコンピュータ」を発注します。サプライヤ「PC1 - MySupplier」は、この製品について特別な条件を提示しています。

作成

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの【カタログ／製品】リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
【全般】 タブ	

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ
フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - デスクトップコンピュータに関連付けられた外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	いいえ

3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ
説明 (Description)	PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	1000
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC8 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier)付きデスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
製品 (CatProduct)	PC8 - デスクトップコンピュータに関連付けられた外付けCDライター
説明 (Description)	PC8 - デスクトップコンピュータに関連付けられた外付けCDライター
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	30%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC8 - デスクトップコンピュータと関連付けられた外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼を作成する

- 1 **[新規依頼を作成...]** ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの **[調達 / 新規依頼を作成...]** リンク)。
- 2 **[新規依頼を作成...]** ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[新規依頼を作成] ページ	
ブランド	PC1 - HP Compaq
[フィルタを適用] ボタンをクリックします。	
モデル	PC1 - デスクトップコンピュータを選択します。
[追加] の右側のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC8 - コンピュータと外付けCDライター
[完了] をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 3 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 **[明細]** タブを選択します。
- 5 このタブの内容を調べます。
- 6 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC8 - REQ001

- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC8 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[見積/発注] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC8 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
発注する発注明細のリスト	PC1 - デスクトップコンピュータ 1 1 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示] ボタンをクリックします。	
対応するカタログリファレンスのリスト	PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC8 - 外付けCDライター付きデスクトップコンピュータ 1 000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[全般] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC8 - RFP001 (PC8 - コンピュータと外付けCDライター)
[明細] タブ	

フィールドまたはリンク	値
	2つの発注明細がウィザード【見積を作成】によって作成されます。1つは主製品（「PC8-外付けCDライター付きデスクトップコンピュータと」）用で、もう1つがその従属製品（「PC8-デスクトップコンピュータに関連付けられた外付けCDライター」）用です。

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC8 - EST001

- 6 変更を確定します（Windowsクライアントでは【変更】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン）。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内の見積を発行する

- 1 見積「PC8 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【発行】ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【発行】を選択します。
- 3 【発注】ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【発注で欠けている依頼明細を作成する】ページ	
依頼を作成し既存の依頼に関連付ける	はい
【次へ】をクリックします。	
【発注】ページ	
依頼	依頼「PC8 - REQ001」を選択します。
【完了】をクリックします。	

- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付

6



警告:

「発注の書式内の見積を発行する [献 162]」の残りの部分については、Windows クライアントにのみ適用されます。

[トラッキング] タブを選択します。

7 [関連する購入依頼] のブランチをクリックします。

8 明細「PC8 - REQ001 (PC8 - コンピュータと外付けCDライター)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。

9 最初の依頼の詳細画面が表示されます。

10 [明細] タブを選択します。

11 明細「1 PC8 - REQ001 (PC8 - デスクトップコンピュータに関連付けられた外付けCDライター-PC1-外付けCDライター)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。

12 次の表に示すフィールドとリンクを入力することによって、依頼明細をその他の依頼明細にリンクします。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
親レコード (Parent)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ

13 依頼明細の変更を確定します ([変更] ボタン)。

14 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。

15 依頼の詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。

16 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

1 発注「PC8 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。

2 Windowsクライアントの場合: [受領] をクリックします。

3 Webクライアントの場合: [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。

4 ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。

5 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。

6 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。

これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル（「 <i>PCI</i> - デスクトップコンピュータ」）が表示されます。
[全般] タブ 単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格「 <i>900</i> 」が表示されます。
[コスト] タブ	ポートフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（「 <i>PCI</i> - 外付け <i>CD</i> ライター」）。
[全般] タブ 単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格（ <i>70</i> ）が表示されます。
親レコード (Parent) [コスト] タブ	1 HP Compaq <i>PC1</i> - デスクトップコンピュータ ポートフォリオ品目の取得に対応する経費明細が表示されます。

7 すべてのウィンドウを閉じます。

実用例8b - 複合製品

はじめに

この実用例の目的は、主製品がそれを構成している製品群の入れ物として使用される複合製品を作成し使用する方法を示すことです。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

シナリオは実用例8aと同じです。
ただし、製品の構成は異なります。

作成

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの[カタログ/製品]リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - セールスエンジニア用の設定

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - 設定用デスクトップコンピュータ
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	いいえ

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC8 - 設定用外付けCDライター
ブランド (Brand)	PC1 - HP Compaq
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
親レコード (Parent)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
リストから選ぶのではなく、前のフィールドの値を入力した場合、次のフィールドを表示するには、入力を確定するか、カーソルを別のフィールドに移動する必要があります。	
オプション (bOption)	いいえ

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの[カタログ/カタログリファレンス]リンク）。

- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
説明 (Description)	PC8 - セールスエンジニア用の設定
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	1100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC8 - セールスエンジニア用設定 (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - 設定用デスクトップコンピュータ
説明 (Description)	PC8 - 設定用デスクトップコンピュータ
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	1000
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC8 - 設定用デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier)

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC8 - 設定用外付けCDライター
説明 (Description)	PC8 - 設定用外付けCDライター
有効期間の開始日 (dtStartValidity)	現在の日付より前の日付を入力します。
有効期間の終了日 (dtEndValidity)	現在の日付より後の日付を入力します。
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	10%
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC8 - 設定用外付けCDライター (PC1 - MySupplier)

- 3 Windowsクライアント：すべてのウィンドウを閉じます。

依頼を作成する

- 1 [新規依頼を作成...] ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの [調達 / 新規依頼を作成...] リンク)。
- 2 [新規依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[新規依頼を作成] ページ	
モデル	「PC1 - セールスエンジニア用の設定」を選択します。
[追加] の右側のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC8 - セールスエンジニア用の設定
[完了] をクリックします。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 3 ウィザードで作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 [明細] タブを選択します。
- 5 ウィザードによって作成された明細の詳細画面を確認します。
- 6 依頼を変更するには、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC8 - REQ002

- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC8 - REQ002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 [見積/発注] ボタンをクリックします。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC8 - REQ002] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	

フィールドまたはリンク	値
発注する発注明細のリスト	「PC1 - セールスエンジニア用の設定 1 1 PC8 - セールスエンジニア用の設定 (PC1 - MySupplier) PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100 JPY 10%」を選択します。
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC8 - セールスエンジニア用の設定 (PC1 - MySupplier) PC8 - セールスエンジニア用の設定 1,100 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier」を選択します。
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[全般] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC8 - REQ002 (PC8 - セールスエンジニア用の設定)
[明細] タブ	
	3つの見積明細がウィザード [見積を作成] によって作成されます。1つは主製品（「PC8 - セールスエンジニア用の設定」）用で、残り2つがその従属製品（「PC8 - 設定用デスクトップコンピュータ」）用と「PC8 - 設定用外付けCDライター」）用です。

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC8 - EST002

- 6 変更を確定します（Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内の見積を発行する

- 1 見積「PC8 - EST002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【発行】ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【発行】を選択します。
- 3 【発注】ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【発注で欠けている依頼明細を作成する】ページ	
依頼を作成し既存の依頼に関連付ける	はい
【次へ】をクリックします。	
【発注】ページ	
依頼	依頼「PC8 - REQ002」を選択します。
【完了】をクリックします。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。	

- 4 発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べます。特に、以下のフィールドとリンクが更新されていることを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
【全般】タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付

- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC8 - EST002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【受領】をクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【受領】を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（【完了】ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル（「 <i>PCI - デスクトップコンピュータ</i> 」）が表示されます。
[全般] タブ	
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格（ <i>900</i> ）が表示されます。
[コスト] タブ	
	発注明細から計算された税抜価格（ <i>900</i> ）が表示されます。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（「 <i>PCI - 外付けCDライター</i> 」）。
[全般] タブ	
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格（ <i>90</i> ）が表示されます。
[コスト] タブ	
	発注明細から計算された税抜価格（ <i>90</i> ）が表示されます。



注意:

リファレンス「*PC8 - セールスエンジニア用の設定*」に対して、ポートフォリオ品目は作成されません。これは意図的な仕様であり、このリファレンスにリンクされている製品が、レコードが作成されることがない属性を持つモデルにリンクされていることがその理由です。

- すべてのウィンドウを閉じます。

15 依頼オプション

基本概念

依頼の作成時にオプションを選択することができます。

オプションのリストは、標準依頼で定義されます。

オプションには、次の種類があります。

- 必要なオプション（ユーザは選択肢から製品を選択する必要があります）
- 任意のオプション（ユーザは選択肢の製品を選択するかしないかを決定できます）

デフォルトのオプションを指定することもできます。これらのデフォルトのオプションは、ユーザがウィザードを実行する場合に、ユーザに対するデフォルトで選択される製品です。

依頼を作成するとユーザはウィザードを実行してオプションを選択します。



警告:

【依頼のセルフサービス】（▶[依頼のセルフサービス \[献 139\]](#)）を使用する場合、作成するオプションの【説明】（LineDesc）フィールド、およびそれらのオプションに対して可能なさまざまな値の【説明】（LineDesc）フィールドにカンマ（,）が入っていないことを確認してください。

プロセス

オプション製品付きの標準依頼の作成

- 1 標準依頼を表示します（ナビゲーションバーの【ポートフォリオ管理／拡張ポートフォリオ／サービスのカタログ】リンク）。
- 2 新規のレコードを作成します（【新規作成】ボタン）。
- 3 レコードの詳細画面に入力します。特に【明細】タブの【オプション】フレームのフィールドに入力します。

標準依頼からオプション製品付きの依頼を作成する

- 1 【標準依頼から依頼を作成...】ウィザードを実行し（ナビゲーションバーの【調達／標準依頼から依頼を作成...】リンク）、情報を入力します。
- 2 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 3 依頼と依頼明細のフィールドとリンクを入力することによって、依頼を完了します。

オプションが依頼明細に関連付けられている場合（【明細】タブ、【オプション】フレーム）、【依頼オプションを選択】（sysProcSolveOptions）ウィザードから目的のオプションを選択します。

- Windowsクライアントの場合：【オプション】ボタンをクリックします。
- Webクライアントの場合：【アクション...】ドロップダウンリストから【オプション】を選択します。

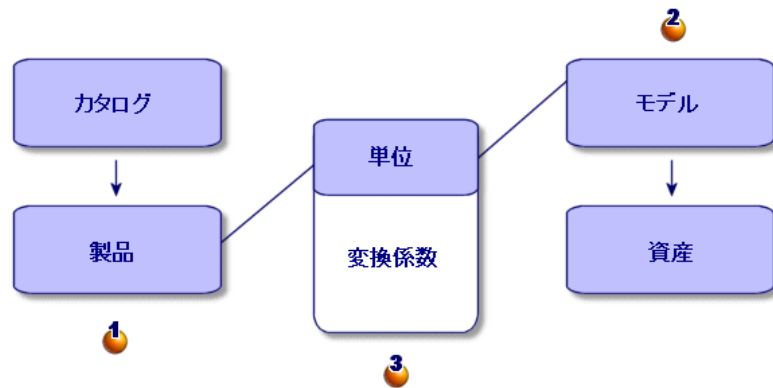
実用例 - 依頼オプション

「実用例5 - 標準依頼 [献 76]」のセクションで説明されている実用例で、ユーザは依頼の作成時に製品オプションを選択します。

16 計量単位

基本概念

図 16.1. 計量単位



計量単位は、製品レベル (1) とモデルレベル (2) で定義されます。
これらの計量単位は、製品レベルとモデルレベルで別にすることができます。

受領品目の作成時に、製品の計量単位とモデルの計量単位の関係 (3) を Asset Managerが確認する必要があります。
この割合は、計量単位間の変換率を使用して定義されます。

実用例9 - 計量単位

はじめに

この実用例では、製品とそれらの関連モデルの間で異なる計量単位を適切に使用する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

100リットルの液体を発注します。液体は、製品レベルではヘクトリットルで計量され、モデルレベルではリットルで計量されます。

作成

単位の作成

- 1 単位を表示します (ナビゲーションバーにある [管理/システム/単位] メニュー)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - リットル
次元 (Dimension)	PC9 - 体積

注意:

[値'xxx'をリストデータ'yyy'に追加しますか?]
というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

フィールドまたはリンク	値
記号 (Symbol)	PC9 - 1
	注意: [値'xxx'をリストデータ'yyy'に追加しますか?] というメッセージが表示されたら、[はい] をクリ ックします。
変換係数 (fConv)	1

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - ヘクトリットル
次元 (Dimension)	PC9 - 体積
	注意: [値'xxx'をリストデータ'yyy'に追加しますか?] というメッセージが表示されたら、[はい] をクリ ックします。
記号 (Symbol)	PC9 - hl
	注意: [値'xxx'をリストデータ'yyy'に追加しますか?] というメッセージが表示されたら、[はい] をクリ ックします。
変換係数 (fConv)	100

3 すべてのウィンドウを閉じます。

属性の作成

- 1 属性を表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/属性] メニュー)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - 液体
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

3 すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

- 1 モデルを表示します（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/モデル] メニュー）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC9 - ガソリン
[全般] タブ	
属性 (Nature)	PC9 - 液体
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい
使用単位 (UseUnit)	PC9 - リットル
不分割数量 (fUseQty)	1

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの [カタログ/製品] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC9 - ガソリン
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
[取得] タブ	
購入単位 (PurchUnit)	PC9 - ヘクトリットル
変換係数 (fUnitConv)	100

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC9 - ガソリン

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC9 - ガソリン
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	5%
最低発注量 (fMinQty)	1
タブの上のゾーン	
リファレンス (Ref)	PC9 - ガソリン (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 **【新規依頼を作成...】** ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの **【調達／新規依頼を作成...】** リンク)。
- 2 **【新規依頼を作成...】** ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【新規依頼を作成】 ページ	
モデル	PC9 - ガソリン
【追加】 の右側のフィールド	100
【追加】 をクリックします。	
【次へ】 をクリックします。	
【新規依頼】 ページ	
目的	PC9 - ガソリン
ウィザードの実行を確定します (【完了】 ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは 【OK】 ボタン、Webクライアントでは 【戻る】 ボタン) 。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC9 - ガソリン
ステータス (seStatus)	準備中
【明細】 タブ	
	モデル「 PC9 - ガソリン 」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「 PC9 - l 」の「 100 」であることがわかります。

- 4 これが開いている場合、依頼明細の詳細画面を閉じますが、依頼の詳細画面は表示したままにします。
- 5 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC9 - REQ001

- 6 依頼の変更を確定します（[変更] ボタン）。
- 7 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC9 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC9 - REQ001] ページ 明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ そのままの状態ページを使用できるはずです。	
以下の表は、「PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン (PC1 - MySupplier) PC9 - ガソリン 100 JPY 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus) [全般] タブ	見積依頼済
元の依頼明細 (Request) [明細] タブ	PC9 - REQ001 (PC9 - ガソリン)
	ウィザード [見積を作成] を使用してカタログリファレンス「PC9 - REF001」に関連付けられた依頼明細「PC9 - REQ001」に対応する発注明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC9 - EST001

- 6 これらの変更を確定します（[変更] ボタン）。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

- 1 見積「PC9 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付
[明細] タブ	
	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、発注量が単位「PC9 - hl」の「1」であることがわかります。 カタログリファレンスに関連付けられた製品に対応して、単位の変換が適切に行われています。

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC9 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[受領] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。

- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル（「PC9 - ガソリン」）が表示されます。
【全般】 タブ	
数量 (fQty)	100 PC9 - 1 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目に関連付けられたモデルの単位で数量が表示されます。
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格 (I) が表示されます。

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。

17 パッケージング

基本概念

Asset Managerでは、製品のパッケージングを記述して、これを調達サイクルで考慮することができます。

パッケージングは、製品の数量を表示するかどうかによって別々に処理されます。

- 品目数で（単位なし）

例：製品「インクカートリッジ」は、1ロット6カートリッジ入りのロットで入手可能です。

12カートリッジを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	12カートリッジを依頼します。
見積と発注	1ロット6カートリッジ入りのカートリッジを2ロット発注します。

段階	手順
受領	<p>配達完了すると、6カートリッジ入りのロットを2ロット受領することになります。</p> <p>Asset Managerによって作成されるものを以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 属性の詳細画面で [管理条件] (seMgtConstraint) フィールドが「資産タグ」に設定されている場合：6単位の2ポートフォリオ品目 ■ 属性の詳細画面で [管理条件] (seMgtConstraint) フィールドが「固定資産タグ」に設定されている場合：12個の個別のポートフォリオ品目

■ 単位で

例：製品「ガソリン」は、1ロットに5リットル入り缶が20缶含まれるロット単位で入手可能です。

モデル「ガソリン」と製品「ガソリン」が、「リットル」で表示されるとします。

200リットルを発注する場合を考えます。

段階	手順
依頼	200リットルを依頼します。
見積と発注	1缶5リットル入りの缶を40缶発注します。
受領	<p>配達完了すると、5リットル入りの缶を40缶受領することになります。</p> <p>Asset Managerによって、200リットルのポートフォリオ品目1つが作成されます。</p>

手順

製品のパッケージング条件を定義するには：

- 1 製品を作成します（ナビゲーションバーの [カタログ／製品] リンク）。
- 2 レコードの詳細画面に入力します。特に以下のフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	コメント
[取得] タブ	
パッケージ (bIsPackaged)	
数量 (lSetQty)	

フィールドまたはリンク	コメント
内容量 (fPkgQty)	このフィールドは、[発注] (PurchUnit) フィールドが入力されている場合に表示されます。

実用例10a - パッケージング

はじめに

この実用例では、計量単位が製品に関連付けられていない場合に製品パッケージングを管理する方法を示します。

前提条件

実用例実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]を実行している必要があります。

シナリオ

12カートリッジを依頼し、6カートリッジ入りのロットを2ロット発注します。

作成

属性の作成

- 1 属性を表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/属性] メニュー)。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC10 - 消耗品
作成 (seBasis)	ポートフォリオ品目
オーバーフローテーブル (OverflowTbl)	(テーブルなし)
管理条件 (seMgtConstraint)	個別管理しない

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

モデルの作成

- 1 モデルを表示します (ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/モデル] メニュー)。

- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
名前 (Name)	PC10 - インクカートリッジ
属性 (Nature)	PC10 - 消耗品
[全般] タブ	
購入依頼用に承認済 (bRequestable)	はい

- すべてのウィンドウを閉じます。

製品の作成

- カタログ製品を表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/製品] リンク)。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC10 - インクカートリッジ
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC10 - インクカートリッジ
[取得] タブ	
パッケージ (bIsPackaged)	はい
数量 (lSetQty)	6

- すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- カタログリファレンスを表示します (ナビゲーションバーの [カタログ/カタログリファレンス] リンク)。
- 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC10 - インクカートリッジ
説明 (Description)	PC10 - インクカートリッジ
価格 (fPrice)	100
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のゾーン	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 **【新規依頼を作成...】** ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの **【調達／新規依頼を作成...】** リンク)。
- 2 **【新規依頼を作成...】** ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【新規依頼を作成】 ページ	
モデル	PC10 - インクカートリッジ
【追加】 の右側のフィールド	12
【追加】 をクリックします。	
【次へ】 をクリックします。	
【新規依頼】 ページ	
目的	PC10 - インクカートリッジ
ウィザードの実行を確定します (【完了】 ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは 【OK】 ボタン、Webクライアントでは 【戻る】 ボタン) 。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC10 - インクカートリッジ
ステータス (seStatus)	準備中
【明細】 タブ	
	モデル「 <i>PC10-インクカートリッジ</i> 」に対応する依頼明細
	この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した量が「12」であることがわかります。

- 4 依頼の詳細画面で、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC10 - REQ001

- 5 依頼に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは **【変更】** ボタン、Webクライアントでは **【保存】** ボタン) 。

- 6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC10 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC10 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
そのままの状態ページを使用できるはずです。	
以下の表は、「PC10 - インクカートリッジ 12 2 PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier) PC10 - インクカートリッジ 100 JPY 5%」を示します。	
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[全般] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC10 - REQ001 (PC10 - インクカートリッジ)
[明細] タブ	
	ウィザード [見積を作成] を使用してカタログリファレンス「PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier)」に関連付けられた依頼明細「PC10 - REQ001」に対応する見積明細

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC10 - EST001

- 変更を確定します (Windowsクライアントでは **[変更]** ボタン、Webクライアントでは **[保存]** ボタン)。
- 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

- 見積「*PC10 - EST001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合：**[発行]** ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：**[状況依存アクション]** ドロップダウンリストから **[発行]** を選択します。
- ウィザードの実行を確定します (**[完了]** ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは **[OK]** ボタン、Webクライアントでは **[戻る]** ボタン)。
- 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付
[明細] タブ	
	モデル「 <i>PC10-インクカートリッジ</i> 」に対応する発注明細 この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が6カートリッジの「2」ロットになっていることがわかります。 依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。

- 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 発注「*PC10 - EST001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合：**[受領]** をクリックします。
Webクライアントの場合：**[状況依存アクション]** ドロップダウンリストから **[受領]** を選択します。
- ウィザードの実行を確定します (**[完了]** ボタン)。

- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデルが表示されます（「PC10 - インクカートリッジ」）。
[全般] タブ	
数量 (fQty)	12
	注意: 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性に従って数量が表示されます。
単価 (mAvgPrice)	発注明細から計算された税抜価格 (15.83) が表示されます。

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。

実用例10b - パッケージング

はじめに

この実用例では、計量単位が製品に関連付けられるときに製品パッケージングを管理する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例9 - 計量単位 [献 174]
- 実用例10a - パッケージング [献 183]

シナリオ

ガソリン400リットルを依頼し、5リットル缶入りガソリンが20缶で1ロットのものを4ロット発注します。

作成

製品の作成

- 1 カタログ製品を表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ／製品]** リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
説明 (Description)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
[全般] タブ	
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
[取得] タブ	
購入単位 (PurchUnit)	PC9 - リットル
変換係数 (fConv)	1
パッケージ (bIsPackaged)	はい
数量 (lSetQty)	20
内容量 (fPkgQty)	5

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

カタログリファレンスの作成

- 1 カタログリファレンスを表示します（ナビゲーションバーの **[カタログ／カタログリファレンス]** リンク）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
カタログ (Catalog)	PC1 - MySupplier
[全般] タブ	
製品 (CatProduct)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
説明 (Description)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
価格 (fPrice)	1
	ヒント: 製品の計量単位ごとの価格を指定する必要があります（[購入単位] (PurchUnit) フィールド）。ロットごとの価格ではありません。
割引 (pDiscount)	5%
タブの上のゾーン	

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC10 - 5リットル缶入りガソリン (PC1 - MySupplier)

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 **【新規依頼を作成...】** ウィザードを起動します (ナビゲーションバーの **【調達／新規依頼を作成...】** リンク)。
- 2 **【新規依頼を作成...】** ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【新規依頼を作成】 ページ	
モデル	PC9 - ガソリン
【追加】 の右側のフィールド	400
【追加】 をクリックします。	
【次へ】 をクリックします。	
【新規依頼】 ページ	
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
ウィザードの実行を確定します (【完了】 ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは 【OK】 ボタン、Webクライアントでは 【戻る】 ボタン) 。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
【全般】 タブ	
目的	PC10 - 5リットル缶入りガソリン
ステータス (seStatus)	準備中
【明細】 タブ	
	モデル「 PC9 - ガソリン 」に対応する依頼明細。 この依頼明細の詳細画面を確認すると、依頼した数量が「 PC9 - I 」の「 400 」であることがわかります。

- 4 依頼の詳細画面で、次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC10 - REQ002

- 5 依頼の変更を確定します (**【変更】** ボタン) 。

- 6 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC10 - REQ002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから[見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成PC10 - REQ002] ページ 明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ 依頼明細のリスト	「PC9 - ガソリン 400 4 PC9 - ガソリン (PC1 - MySupplier) PC9 - ガソリン 1 JPY 5%」を選択します。
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
対応するカタログリファレンスのリスト	「PC10 - 5リットル缶入りガソリン (PC1 - MySupplier) PC10 - 5リットル缶入りガソリン 1 JPY 5% 0 PC9 - リットル PC1 - MySupplier」を選択します。
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済
[全般] タブ 元の依頼明細 (Request)	PC10 - REQ002 (PC10 - 5リットル入り缶のガソリン)
[明細] タブ	

フィールドまたはリンク	値
	<p>ウィザード【見積を作成】を使用してカタログリファレンス「PC10 - 5リットル缶入りガソリン (PC1 - MySupplier)」に関連付けられた依頼明細「PC10 - REQ002」に対応する見積明細</p> <p>この発注明細の詳細画面を確認すると、発注量が5リットル缶入り20缶で1ロットの「4」ロットになっていることがわかります。</p> <p>依頼された品目数と依頼されたロット数との間で変換が適切に行われました。</p>

- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC10 - EST002

- 6 変更を確定します (Windowsクライアントでは【変更】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン)。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

見積から発注する

- 1 見積「PC10 - EST002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【発行】ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【発行】を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します (【完了】ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン)。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
【全般】タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付
【明細】タブ	
	モデル「PC9 - ガソリン」に対応する発注明細。

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC10 - EST002」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[受領] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。
- 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。
- 5 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
このポートフォリオ品目の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル（「PC9 - ガソリン」）が表示されます。
[全般] タブ 数量 (fQty)	500 PC9 - 1
	注意: <ul style="list-style-type: none">■ 変換がもう一度行われ、受領したポートフォリオ品目の属性と単位に従って数量が表示されます。■ 実用例「実用例10a-パッケージング [献183]」が完了すると、受領した100単位に受領した400単位が自動的に追加されます。
単価 (mAvgPrice)	0.01

警告:

数量で表示された製品を受領したときに、Asset Managerによって、同一モデルに関連付けられ同一の場所、ユーザ、または在庫に関連付けられたポートフォリオ品目が見つからない場合は新しいポートフォリオ品目のみが作成されます。

Asset Managerによってそのようなポートフォリオ品目が見つかった場合は、受領した数量がポートフォリオ品目の既存の数量にそのまま追加されます。

- 6 すべてのウィンドウを閉じます。

18 取得予定の品目の予約

基本概念

Asset Managerでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 取得する予定のポートフォリオ品目

ここでは、取得する予定のポートフォリオ品目の予約について説明します。

在庫にあるポートフォリオ品目の予約の詳細については、「予約 [献 81]」を参照してください。

プロセス

依頼モデルを予約するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの調達／購入依頼）リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 [明細] タブを表示します。
- 4 予約するモデルの依頼明細の詳細画面を表示します。
- 5 次のフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
ユーザ (User)	ポートフォリオ品目を予約する部署または従業員
即時割り当て (bInstantAssign)	<ul style="list-style-type: none"> このオプションを選択する場合、ポートフォリオ品目が次のように入力されます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割り当て (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	依頼明細に指定されたユーザ

- このオプションを選択していない場合、ポートフォリオ品目が次のように入力されます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	依頼明細で選択された在庫 ([購入] タブ)
[予約] タブ	
依頼明細で指定したユーザのために予約が作成されます。	



注意:

このオプションを無効にすると、[購入] タブで [配達先在庫] (Stock) フィールドにも入力する必要があります。



警告:

[ユーザ] フィールドは、依頼と依頼明細にのみ表示されます。発注と発注明細には表示されません。

実用例11 - 予約

はじめに

この実用例では、ポートフォリオ品目の依頼時にポートフォリオ品目を予約する方法と、予約することで調達サイクルに与える影響を示します。

特に、この処理で管理条件を扱うとともにモデルに関連付けられた属性のレベルで定義された単位を扱うことが明らかになります。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]
- 実用例9 - 計量単位 [献 174]
- 実用例10a - パッケージング [献 183]

シナリオ

さまざまなポートフォリオ品目を依頼します。

これらのモデルの中に、「*PCI - 小林*」氏のために予約されるものがあります。残りのモデルの中には、受領時に「*PCI - 小林*」氏に直接割り当てられるがあり、その他はユーザなしのポートフォリオに入れられるか在庫に割り当てられます。

依頼モデル	「 <i>PCI - 小林</i> 」氏用に在庫「 <i>PCI - 在庫</i> 」内で予約するには	「 <i>PCI - 小林</i> 」氏用に発注して受領時に直接割り当てるには	「 <i>PCI - 小林</i> 」氏用に発注して受領時に在庫に入庫して予約するには	予約作成なしで発注して在庫「 <i>PCI - 在庫</i> 」内に置くには
5 <i>PCI - HP Compaq</i> デスクトップコンピュータ	1			4
20 「 <i>PCI0 - インクカートリッジ</i> 」	1	6		12
700リットルの「 <i>PC9 - ガソリン</i> 」	100		100	500

これを実行するには：

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「*PCI - MySupplier*」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- ポートフォリオ品目が受領されます。
- 受領品目が在庫から取り出されます。

作成

在庫内のポートフォリオ品目の作成

- 1 ポートフォリオ品目を表示します（ナビゲーションバーにある【ポートフォリオ管理／ポートフォリオ品目】メニュー）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC10 - インクカートリッジ
入力内容を確定するか、別のフィールドをクリックします。これで次のフィールドに入力できるようになります。	
数量 (fQty)	2
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
数量 (fQty)	200
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 【新規依頼を作成...】ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの【調達／新規依頼を作成...】リンク）。
- 2 【新規依頼を作成...】ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【新規依頼を作成】 ページ	
モデル	PC1 - デスクトップコンピュータ
【追加】の右側のフィールド	数量に「5」を指定します。
	注意:
	発注4 + 在庫中1

【追加】をクリックします。

フィールドまたはリンク	値
[次へ]	をクリックします。
[新規依頼]	ページ
目的	PC11 - 予約付きの依頼
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン）。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
この依頼の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
目的	PC11 - 予約付きの依頼
ステータス (seStatus)	準備中
[明細]	タブ
モデル「PC1 - デスクトップコンピュータ」に対応する依頼明細	

- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC11 - REQ001

- 5 [明細] タブを選択します。
- 6 発注明細「5 PC1 - デスクトップコンピュータPC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
即時割り当て (bInstantAssign)	いいえ
ユーザ (User)	このリンクは空白にします。
[購入]	タブ
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

- 8 [予約] タブを選択します。
- 9 予約を追加し、以下の表に指定したフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ポートフォリオ品目 (Assignment)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ
[全般]	タブ

フィールドまたはリンク	値
予約者 (Reserver)	PC1 - 小林

- 10 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 11 依頼明細に戻ります (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 12 次の表に対応する依頼の行を追加します。

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「PC10 - インクカートリッジ」
即時割り当て (bInstantAssign)	いいえ
数量 (fQty)	12
モデル (Model)	「PC10 - インクカートリッジ」
ユーザ (User)	このリンクは空白にします。
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「PC10 - インクカートリッジ」
即時割り当て (bInstantAssign)	○
数量 (fQty)	7
モデル (Model)	「PC10 - インクカートリッジ」
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
予約の追加	
ポータフォリオ品目 (Assignment)	「PC10 - インクカートリッジ」
[全般] タブ	
数量 (fQty)	1
予約者 (Reserver)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC9 - ガソリン
即時割り当て (bInstantAssign)	いいえ
数量 (fQty)	200
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
ユーザ (User)	PC1 - 小林
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
予約の追加	
ポータフォリオ品目 (Assignment)	PC9 - ガソリン

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
数量 (fQty)	100
予約者 (Reserver)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	PC9 - ガソリン
即時割り当て (bInstantAssign)	いいえ
数量 (fQty)	500
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
ユーザ (User)	このリンクは空白にします。
[購入] タブ	
配達先在庫 (Stock)	PC1 - 在庫

 **注意:**

「PC1 - 小林」氏用に予約された依頼明細と予約されていない依頼明細とを識別するために、PC10 - インクカートリッジとPC9 - ガソリンのモデルに対して2つの依頼明細を作成する必要があります（1つの依頼明細の一部を予約することはできないため、2つの依頼明細が必要です）。

- 13 依頼に加えた変更を確定します（Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。
- 14 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC11 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [見積] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [見積] を選択します。
- 3 [見積を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成 PC11 - REQ001] ページ	
明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ	
方タログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ	
「依頼明細のリスト」	PC1 - デスクトップコンピュータ 4 4 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%

フィールドまたはリンク	値
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
「依頼明細のリスト」	PC10 - インクカートリッジ 12 2 PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier) PC10 - インクカートリッジ 100 JPY 5%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier) PC10 - インクカートリッジ 100 JPY 5% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
「依頼明細のリスト」	PC10 - インクカートリッジ 6 1 PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier) PC10 - インクカートリッジ 100 JPY 5%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC10 - インクカートリッジ (PC1 - MySupplier) PC10 - インクカートリッジ 100 JPY 5% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
「依頼明細のリスト」	PC9 - ガソリン 500 5 PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 JPY 5%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 JPY 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
「依頼明細のリスト」	PC9 - ガソリン 100 1 PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 JPY 5%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リスト	PC9 - ガソリン (PC1 - My supplier) PC9 - ガソリン 1 JPY 5% 0 PC9 - ヘクトリットル PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。

この見積の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積依頼済

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
元の依頼明細 (Request)	PC11 - REQ001 (PC11 - 予約付きの依頼)
[明細] タブ	
	[見積を作成] ウィザードを使用して選択されたカタログリファレンスに対応する発注明細

- 5 見積に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するには、以下の表に示すようにフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC11 - EST001

- 6 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 7 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

- 1 見積「PC11 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 5 見積から作成された発注の詳細画面が表示されます。
この発注の詳細画面を調べ、特に下記のフィールドとリンクが入力されたことを確認します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	発行済
[全般] タブ	
発行日 (dtSent)	現在の日付

- 6 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「PC11 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [受領] をクリックします。

Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【受領】を選択します。

- 3 ウィザードの実行を確定します（【完了】ボタン）。
 - 4 ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。
 - 5 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
これらのポートフォリオ品目の詳細画面を調べます。
- 4 依頼された5品目から在庫中に予約される1品目を引いた数に相当する4つの「PC1 - デスクトップコンピュータ」：

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ
【全般】 タブ	
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
【予約】 タブ	
	リストは空白です。

「800 PC9 - リットル」の「PC9 - ガソリン」：

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC9 - ガソリン
【全般】 タブ	
数量 (fQty)	800、以下の合計: <ul style="list-style-type: none"> ■ 既に在庫にあり、予約されていない100リットル ■ 既に在庫にあり、「PC1 - 小林」氏用に予約されている100リットル ■ 発注され、「PC1 - 小林」氏に割り当てられている100リットル ■ 発注され在庫「PC1 - 在庫」内で受領される500リットル
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
【予約】 タブ	
	2つの予約が見つかりました <ul style="list-style-type: none"> ■ 依頼に対して、1つの予約 ■ 「PC1 - 小林」氏に割り当てられた発注明細から1つの予約を自動的に生成される

14 の「PC10 - インクカートリッジ」：

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC10 - インクカートリッジ
[全般] タブ	
数量 (fQty)	12カートリッジが注文中、在庫「PC1 - 在庫」として受領され、既に在庫にある2カートリッジに追加される。
割り当て (seAssignment)	在庫中
在庫 (Stock)	PC1 - 在庫
[予約] タブ	
	PC1 - 小林氏用のカートリッジの予約

6 の「PC10 - インクカートリッジ」:

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC10 - インクカートリッジ
[全般] タブ	
数量 (fQty)	6
ユーザ (User)	PC1 - 小林

6 すべてのウィンドウを閉じます。

在庫内の品目の発注



警告:

このセクション「発注の書式内の見積を発行する [献 162]」はWindowsクライアントにのみ適用されます。

- 1 発注を表示します (ナビゲーションバーの [調達/発注] リンク)。
- 2 発注「PC11 - EST001」の詳細画面を表示します。
- 3 [トラッキング] タブを選択します。
- 4 [予約] のブランチをクリックします。
- 5 「XXXXXX (1 PC1 - デスクトップコンピュータ)」の詳細画面を表示します (明細をダブルクリックします)。
- 6 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します ([ポートフォリオ品目] リンク (Assignment) の右側にある拡大鏡)。
- 7 次のフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
割り当て (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
使用開始日 (dAssignment)	現在の日付

8 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます ([閉じる] ボタン)。

- 9 予約の詳細画面を閉じます（[閉じる] ボタン）。
- 10 「XXXXXXX (100 PC9 - ガソリン)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 11 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（[ポートフォリオ品目] リンク (Assignment) の右側にある拡大鏡）。
- 12 ロットを分割します（[分割] ボタン）。
- 13 [ロットの分割] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ロットの分割] ページ	
抽出数	100
割当	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
責任者 (Supervisor)	PC1 - 小林
使用開始日	現在の日付
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 14 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（[閉じる] ボタン）。
- 15 予約の詳細画面を閉じます（[閉じる] ボタン）。
- 16 「XXXXXXX (100 PC9 - ガソリン)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。
- 17 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（[ポートフォリオ品目] リンク (Assignment) の右側にある拡大鏡）。
- 18 ロットを分割します（[分割] ボタン）。
- 19 [ロットの分割] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ロットの分割] ページ	
抽出数	100
割り当て	使用中
ユーザ	PC1 - 小林
使用開始日	現在の日付
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 20 ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます（[閉じる] ボタン）。
- 21 予約の詳細画面を閉じます（[閉じる] ボタン）。
- 22 「XXXXXXX (1 PC10 - インクカートリッジ)」の詳細画面を表示します（明細をダブルクリックします）。

- 23 予約済ポートフォリオ品目の詳細画面を表示します（ [ポートフォリオ品目] リンク（Assignment）の右側にある拡大鏡）。
- 24 次のフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
割り当て（seAssignment）	使用中
ユーザ（User）	PC1 - 小林
使用開始日（dAssignment）	現在の日付

- 25 すべてのウィンドウを閉じます。

19 交換

基本概念

購入依頼の詳細画面では、交換する資産を指定することができます。
交換する資産のリストは、参照専用です。Asset Managerでは、受領時に交換にリンクされた処理は実行されません。

手順

資産を発注によって交換することを指定するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
- 2 依頼の詳細画面を表示します。
- 3 【交換】タブを表示します。
- 4 交換する資産を追加します（Windowsクライアントでは【+】ボタン、Webクライアントでは【追加】ボタン）。

実用例12 - 交換

はじめに

この実用例では、資産交換依頼を処理する方法を示します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏の所有するコンピュータ「PC1 - Compaqデスクトップコンピュータ」が動作しなくなりました。

このコンピュータは、同じモデルの別のコンピュータに交換する必要があります。

これを実行するには：

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- 新しいコンピュータは、受領され「PC1 - 小林」氏に割り当てられます。
- 古いコンピュータは除却されます。

作成

古いコンピュータの作成

- 1 コンピュータを表示します（ナビゲーションバーにある【ポートフォリオ管理/IT/IT機器/コンピュータ】メニュー）。
- 2 以下のレコードを作成します。フィールドとリンクを下記の表に示すように入力します。

フィールドまたはリンク	値
資産タグ (AssetTag)	PC12 - CPU001
【全般】 タブ	
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ

フィールドまたはリンク	値
割り当て (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 3 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 **【新規依頼を作成...】** ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの **【調達／新規依頼を作成...】** リンク）。
- 2 **【新規依頼を作成...】** ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【新規依頼を作成】 ページ	
モデル	PC1 - デスクトップコンピュータ
【追加】 の右側のフィールド	1
【追加】 をクリックします。	
【次へ】 をクリックします。	
【新規依頼】 ページ	
目的	PC12 - 小林氏用コンピュータの交換
ウィザードの実行を確定します（ 【完了】 ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは 【OK】 ボタン、Webクライアントでは 【戻る】 ボタン）。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC12 - REQ001

- 5 **【明細】** タブを選択します。
- 6 発注明細「1 PC1 - デスクトップコンピュータPC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
【全般】 タブ	
即時割り当て (bInstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 8 依頼明細に加えた変更を確定します（Windowsクライアントでは **【変更】** ボタン、Webクライアントでは **【保存】** ボタン）。

- 9 依頼明細を閉じます（Windowsクライアントでは【閉じる】ボタン、Webクライアントでは【ドキュメントに戻る】リンク）。
- 10 【交換】タブを選択します。
- 11 資産PC12 - CPU001にリンクを追加します（【資産タグ】フィールド（AssetTag））。
- 12 依頼に加えた変更を確定します（Windowsクライアントでは【変更】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン）。
- 13 依頼の詳細画面を表示したままにします。

見積の書式内の依頼を評価する

- 1 依頼「PC12 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：【見積】ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：【状況依存アクション】ドロップダウンリストから【見積】を選択します。
- 3 【見積を作成】ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【見積を作成 PC12 - REQ001】 ページ 明細をすべて含める	はい
【次へ】をクリックします。	
【明細を選択】 ページ カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
【次へ】をクリックします。	
【依頼が使用するリファレンスを変更】 ページ 発注する発注明細のリスト	PC1 - デスクトップコンピュータ 1 PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%
【対応するカタログリファレンスのリストを表示】	ボタンをクリックします。
【対応するカタログリファレンスのリスト】 リスト	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
【選択されたリファレンスを依頼に関連付ける】	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します（【完了】ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは【OK】ボタン、Webクライアントでは【戻る】ボタン）。	

- 4 依頼から作成された見積の詳細画面が表示されます。
- 5 見積に番号を割り当て、その見積済ステータスを確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC12 - EST001

- 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 見積の詳細画面を表示したままにします。

発注の書式内で見積を発行する

- 見積「PC12 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 発注「PC12 - EST001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合： [受領] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 発注から作成されたポートフォリオ品目のリストが表示されます。
モデル「PC1 - デスクトップコンピュータ」のコンピュータの詳細画面を確認します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	最初の依頼で選択されたモデル (「PC1 - デスクトップコンピュータ」) が表示されます。
[全般] タブ	
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- すべてのウィンドウを閉じます。

「PC1 - 小林」の古いコンピュータを削除する

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
- 2 依頼「PC12 - RFP001」の詳細画面を表示します。
- 3 【交換】タブを選択します。
- 4 「PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ (PC12 - CPU001) PC12 - CPU001」の詳細画面を表示します。
- 5 次のフィールドとリンクに値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
【ポートフォリオ】タブ	
割り当て (seAssignment)	除却済(または消費済)

- 6 変更を確定します（Windowsクライアントでは【変更】ボタン、Webクライアントでは【保存】ボタン）。
- 7 すべてのウィンドウを閉じます。

20 作業指示

基本概念

作業指示は、調達サイクル内で管理可能なサービスです。

作業指示を受領する方法は、そのタイプ（[タイプ]（seType）フィールド）によって決まります。

- 内部メンテナンス
- 契約外メンテナンスまたは契約メンテナンス

調達モジュールに関連付けられた専門分野データには、次のワークフロースキームがあります。

- 作業指示の自動作成（BST_PROCUR_CREATEWO）：内部作業指示の作成を自動化します。
- 作業指示のトラッキング（BST_PROCUR_UPDATEWO）：作業指示を担当する技術者のワークフロータスクを作成します。依頼時に、このワークフロータスクによって、作業指示詳細画面内の特定フィールドの入力に使用されるウィザードがトリガされます。

手順

内部メンテナンスタイプの作業指示を取得する

- 1 依頼を作成します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成 (seBasis)	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
【作業指示】タブ タイプ (seWOType)	内部メンテナンス

- 2 依頼から見積を作成します（【見積】ボタン）。

契約メンテナンスまたは契約外メンテナンスタイプの作業指示を取得する

- 1 依頼を作成します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
属性が以下の任意管理項目であるモデルを参照する依頼明細を追加します。

フィールドまたはリンク	値
作成 (seBasis)	作業指示

モデル自体には、次の任意管理項目が必要です。

フィールドまたはリンク	値
【作業指示】タブ タイプ (seWOType)	契約外メンテナンスまたは契約メンテナンス

- 2 依頼から見積を作成します（【見積】ボタン）。

内部メンテナンスタイプの作業指示の作成を自動化する

- 1 まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた専門分野データを Asset Manager データベースにインポートします。
▶ 準備段階 [献 31].

この方法で、**作業指示の自動作成 (BST_PROCUR_CREATEWO)** ワークフローチャートがデータベースにインポートされます。

- 2 Asset Manager Automated Process Managerを開始します。
- 3 モジュール**実行グループ**'BST_PROCUR'に**ワークフロー規則を適用** (WkGroupBST_PROCUR) を設定します ([ツール/モジュールの設定] メニュー) 。
 - ▶ 『管理』ガイドの「Asset Manager Automated Process Manager」の章、「Asset Manager Automated Process Managerでモニタするモジュールを設定する」のセクション。

この方法でAsset Manager Automated Process Managerは、**実行グループ**'STD_PROCUR'に**ワークフロー規則を適用**モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、**作業指示の自動作成** (BST_PROCUR_CREATEWO) ワークフローチャートを実行します。

以下は、**作業指示の自動作成 (BST_PROCUR_CREATEWO)** ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 20.1. 作業指示 - 作業指示の自動作成ワークフローチャート

トリガ対象のワークフローチャートの条件	定期的トリガ
ワークフローチャートによってトリガされるアクション	作業指示の自動作成 (BST_PROCUR_CREATEWO) ワークフローチャートによって、依頼明細に表示される 内部メンテナンス タイプの作業指示が作成されます。

内部メンテナンスタイプの作業指示の更新を自動化する

- 1 まだ実行されていない場合は、調達にリンクされた専門分野データを Asset Managerデータベースにインポートします。
 - ▶ 準備段階 [献 31].この方法で、**作業指示のトラッキング (BST_PROCUR_UPDATEWO)** ワークフローチャートと関連ウィザード [作業指示の更新] (UpdateWO) がデータベースにインポートされます。
- 2 Asset Manager Automated Process Managerを開始します。
- 3 モジュール**実行グループ**'BST_PROCUR'に**ワークフロー規則を適用** (WkGroupBST_PROCUR) を設定します ([ツール/モジュールの設定] メニュー) 。
 - ▶ 『管理』ガイドの「Asset Manager Automated Process Manager」の章、「Asset Manager Automated Process Managerでモニタするモジュールを設定する」のセクション。

この方法でAsset Manager Automated Process Managerは、**実行グループ**'STD_PROCUR'に**ワークフロー規則を適用**モジュールに定義されたスケジュール用モードとオプションに従って、**作業指示のトラッキング** (BST_PROCUR_UPDATEWO) ワークフローチャートを実行します。

以下は、**作業指示のトラッキング** (BST_PROCUR_UPDATEWO) ワークフローチャートの任意管理項目です。

表 20.2. 作業指示 - 作業指示トラッキングワークフローチャート

ワークフローをトリガするイベント	作業指示の作成または【作業指示】 (amWorkOrder) テーブルの【技術者】 (Technician) フィールドの変更		
トリガ対象のワークフローチャートの条件	テーブル名	フィールド名	フィールドの値
	作業指示 (amWorkOrder)	タイプ (seType)	内部メンテナンス
	作業指示 (amWorkOrder)	技術者 (Technician)	空白ではありません
	作業指示 (amWorkOrder)	ステータス (seStatus)	クローズド以外
ワークフローチャートによってトリガされるアクション	ワークフローチャートでは、ワークフロータスクが作成されます。		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業指示の更新が呼び出される ■ 【技術者】 (Technician) フィールドに指定された技術者に割り当てられる ■ 作業指示にリンクする ■ それにより、【作業指示の更新】 (UpdateWO) ウィザードの開始が要求される 		

【作業指示の更新】 (UpdateWO) ウィザードは、作業指示の詳細画面内の特定キーフィールドを簡単に入力するために使用されます。

実用例13 - 作業指示

はじめに

この実用例では、作業指示の調達サイクル内のさまざまな段階を示すとともに、作業指示タイプによって異なる各段階を説明します。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]

- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

「PC1 - 小林」氏は、コンピュータ「PC1 - HP Compaqデスクトップコンピュータ」、コンピュータをインストールする契約外作業指示、コンピュータをネットワークに接続する内部作業指示を依頼します。

これを実行するには：

- この要求を依頼の書式で保存します。
- この依頼は、会社「PC1 - MySupplier」にリンクされた見積の書式で見積もられます。
- 見積は発注の書式で発行されます。
- コンピュータと内部の作業指示が作成されます。
- コンピュータと外部の作業指示が受領されます。

作成

依頼の作成

- 1 [依頼を作成...] ウィザードを起動します（ナビゲーションバーの[調達/依頼を作成...] リンク）。
- 2 [依頼を作成...] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[依頼を作成] ページ	
モデル	次のモデルを同時に選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ PC1 - デスクトップコンピュータ ■ PC1 - コンピュータのインストール ■ PC1 - コンピュータの接続
[追加] の右側のフィールド	1
[追加] をクリックします。	
[次へ] をクリックします。	
[新規依頼] ページ	
目的	PC13 - コンピュータの購入と接続
依頼者	PC1 - 小林
ウィザードの実行を確定します（[完了] ボタン）。	
ウィザードを終了します（Windowsクライアントでは[OK] ボタン、Webクライアントでは[戻る] ボタン）。	

- 3 ウィザードによって作成された依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (amRequest)	PC13 - REQ001

- 5 [明細] タブを選択します。
- 6 依頼明細「1 PC1 - デスクトップコンピュータ PC1 - コンピュータ」の詳細画面を表示します。
- 7 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
即時割り当て (bInstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林

- 8 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 9 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 10 依頼明細「1 PC1 - コンピュータの接続 PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
- 11 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
即時割り当て (bInstantAssign)	はい
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ

- 12 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 13 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 14 依頼明細「1 PC1 - コンピュータのインストール PC1 - 技術者」の詳細画面を表示します。
- 15 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
即時割り当て (bInstantAssign)	はい
ユーザ (User)	PC1 - 小林

フィールドまたはリンク	値
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 PC1 - デスクトップコンピュータ

- 16 依頼明細に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 17 依頼明細を閉じます (Windowsクライアントでは [閉じる] ボタン、Webクライアントでは [ドキュメントに戻る] リンク)。
- 18 依頼に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 19 依頼の詳細画面を表示したままにします。


内部作業指示の作成

- 1 依頼「PC13 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 以下のフィールドとリンクを変更します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済

- 3 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 4 Windowsクライアントの場合： [実行] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [実行] を選択します。
- 5 [発注を生じない品目を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[発注を生じない品目を作成] ページ	
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 6  **警告:**
「内部作業指示の作成 [献 221]」の残りの部分については、Windowsクライアントにのみ適用されます。
[トラッキング] タブを表示します。
- 7 [作業指示] のブランチをクリックします。
- 8 作業指示「PC1- コンピュータの接続」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 (dtNotif)	作業指示の作成の日付と時間
資産 (Asset)	このリンクには当面入力されません。 資産が作成されたときに入力されます。

- 9 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 10 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から発注を作成する

- 1 依頼「PC13 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：[発注] をクリックします。
Webクライアントの場合：[状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発注] を選択します。
- 3 [発注を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成 PC13 - REQ001] ページ 明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	

ヒント:

「PC1 - コンピュータの接続」が選択されていないことに注意してください。
このタイプは内部メンテナンスであるため、サプライヤに発注する必要がありません。

[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ 「依頼明細のリスト」	PC1 - デスクトップコンピュータ 1 PC2 - デスク トップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示] ボタンをクリックします。	
[対応するカタログリファレンスのリスト] リス ト	PC2 - デスクトップコンピュータ (PC1 - MySupplier) PC2 - デスクトップコンピュータ 1,000 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
「依頼明細のリスト」	PC1 - コンピュータのインストール 1 PC2 - コン ピュータのインストール (PC1 - MySupplier) PC2 - コンピュータのインストール 400 JPY 10%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示] ボタンをクリックします。	
[対応するカタログリファレンスのリスト] リス ト	PC2 - コンピュータのインストール (PC1 - MySupplier) PC2 - コンピュータのインストール 400 JPY 10% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける] をクリックします。	
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	

フィールドまたはリンク	値
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。	

- 4 依頼から作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 発注に番号を割り当て、この見積用の依頼済見積を確認するために、以下の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	見積済
番号 (PONumber)	PC13 - PO001

- 6 変更を確定します (Windowsクライアントでは **[変更]** ボタン、Webクライアントでは **[保存]** ボタン)。
- 7 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

- 1 発注「**PC13 - PO001**」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：**[発行]** ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合：**[状況依存アクション]** ドロップダウンリストから **[発行]** を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します (**[完了]** ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは **[OK]** ボタン、Webクライアントでは **[戻る]** ボタン)。
- 5 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 1 発注「**PC13 - PO001**」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合：**[受領]** をクリックします。
Webクライアントの場合：**[状況依存アクション]** ドロップダウンリストから **[受領]** を選択します。
- 3 ウィザードの実行を確定します (**[終了]** ボタン)。
- 4 ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは **[OK]** ボタン、Webクライアントでは **[戻る]** ボタン)。
- 5 作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
- 6 以下のフィールドとリンクを調べます。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	

フィールドまたはリンク	値
割り当て (seAssignment)	使用中
ユーザ (User)	PC1 - 小林
使用開始日 (dAssignment)	受領日

- 7 [メンテナンス] タブを表示します。
- 8 作業指示「*PC1 - コンピュータのインストール*」の詳細画面を表示して、次のフィールドとリンクを確認します。

フィールドまたはリンク	値
報告日 (dtNotif)	作業指示の作成の日付と時間
資産 (Asset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ
依頼者 (Requester)	PC1 - 小林

- 9 作業指示の詳細画面を閉じます。
- 10 作業指示「*PC1 - コンピュータの接続*」の詳細画面を表示します。
この作業指示は、作業指示の受領前に作成されましたが、次のリンクがまだ入力されていません。

フィールドまたはリンク	値
資産 (Asset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ

- 11 すべてのウィンドウを閉じます。

21 在庫の自動再発注

Asset Managerでは、在庫補充用に自動発注を作成する規則を設定することができます。

Asset Manager Automated Process Managerでは、在庫規則がモニタされ、必要に応じて再発注明細が作成されます。

続いて、これらの依頼を探して調達サイクルを通して処理するのは、ユーザの作業です。

▶ 『ポートフォリオ』ガイドの「ポートフォリオ品目」の章、「在庫」のセクション。

22 リース

基本概念

Asset Managerでは、リース契約を使用して資産の取得を管理することができます。

リースの定義

リース契約はリース同意事項の説明です。このタイプの契約をファイナンス契約と呼ぶことがあります。

このタイプの契約は、長期にわたるレンタルの同意事項の書式です。賃貸料に対して資産を一定期間使用する権利を借主に与えます。

借主または顧客は、実際に所有することなく機器を完全に使用することができます。

借主は、賃貸する資産の法的な所有者である貸主に賃貸料を支払います。

Asset Managerによってリース資産の取得を管理する方法

リース契約は、【契約】（amContract）テーブルに記述されます。

次に、リース契約を基準として、発注を作成できます。

リース契約のリンクは、次のいずれかの段階で確立されます。

段階	効果
依頼	依頼明細のデフォルトの動作を定義します。
依頼明細	依頼された品目がリース契約によって資金が供給されることを指定します。

 **警告:**

発注明細レベルと依頼明細レベルのファイナンス契約 (AcquContract) のフィールドは、考慮されません。

前提条件

リース契約の作成を可能にするためには、Asset Managerユーザライセンスによって契約モジュールにアクセスする必要があります。

手順

資産の取得に資金を供給するために使用するリース契約を作成する

資産の取得に資金を供給するためにリース契約を作成するには：

- 1 契約を表示します (ナビゲーションバーの [契約/契約] リンク)。
- 2 新しい契約を作成します ([新規作成] ボタン)。

特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
タイプ (seType)	リース明細
[全般] タブ	
支払属性 (sePayType)	リストデータに表示されるその他の値
取得方法 (seAcquMethod)	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンタル ■ リース
[リース] タブ	
貸主 (Lessor)	このリンクは、依頼、見積、および発注で使用されるサプライヤと同一である必要があります。
[資産 (リース)] タブ	資産を直接作成しないでください。資産は、発注の受領時に作成されます。

フィールドまたはリンク	値
[賃貸料] タブ	資産の受領前に賃貸料を作成しないでください。

リース契約によって資金が供給される資産の依頼を作成する

受領時に資産が直接リース契約にリンクされる依頼を作成するには：

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの [調達／依頼] リンク）。
- 2 新規の依頼を作成します（ [新規作成] ボタン）。
- 3 依頼の詳細画面に入力します。
- 4 新規依頼を追加します（Windowsクライアントでは [作成] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。
- 5 [明細] タブを選択します。
- 6 資産の元の依頼明細を追加します。

特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[ファイナンス] タブ	
リース明細にリンク (bUsesAcquCntr)	はい
ファイナンス契約 (AcquContract)	ファイナンス契約の選択

- 7 作成された依頼明細を保存します（ [追加] ボタン）。
- 8 依頼に加えた変更を保存します（Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。
- 9 資産をファイナンス契約にリンクするために、第2の依頼明細を追加します。特に、次の表に示すフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr)	このリンクは空白にします。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	資産に作成された依頼明細を選択します。

- 10 作成された依頼明細を保存します（ [追加] ボタン）。
- 11 依頼に加えた変更を保存します（Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。

リース契約によって資金が供給される資産の見積、発注、および受領を作成する

調達サイクルの残りの部分については、一般的な例に従います。

受領する資産は、リース契約に関連付けられます。

リース契約によって資金が供給される資産の賃貸料を定義する

資産を受領した後は、『契約』ガイドの記述に従って、賃貸料を作成し、資産を承認し、経費明細の取得を作成します。

23 契約



警告:

この章は、Windowsクライアントにのみ適用されます。



基本概念

調達サイクルを使用すると、資産の契約との関連を管理することができます。既存の契約または取得予定の契約を参照することができます。既存の資産または取得予定の資産を参照することができます。可能性のある4つの組合せを以下に示します。

手順

既存の契約を既存の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します（ナビゲーションバーの【調達／依頼】リンク）。
- 2 【明細】タブを選択します。
- 3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある	 アイコンをクリックします。
使用契約 (UsedContract)	資産に関連付ける契約を選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset) の右側にある	 アイコンをクリックします。
使用資産 (UsedAsset)	契約に関連付ける資産を選択します。


- 4 調達サイクルを続行します。

既存の契約を新規の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	新規資産のモデルを選択します。


- 4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある	 アイコンをクリックします。
使用契約 (UsedContract)	資産に関連付ける契約を選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	新規資産の依頼明細を選択します。

- 5 調達サイクルを続行します。

新規の契約を既存の資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	既存の資産に関連付ける新規契約のモデルを選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	契約に関連付ける資産を選択します。

- 4 調達サイクルを続行します。

新規契約を新規資産に関連付ける

- 1 新規依頼を作成します (ナビゲーションバーの [調達/依頼] リンク)。
- 2 [明細] タブを選択します。
- 3 資産の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	新規資産のモデルを選択します。

- 4 契約の依頼明細を追加します。特に、以下のフィールドとリンクに入力します。

フィールドまたはリンク	値
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	新規契約のモデルを選択します。
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	新規資産の依頼明細を選択します。

- 5 調達サイクルを続行します。

実用例14 - 契約

はじめに

この実用例では、契約を資産に関連付ける方法を示します。

4つの組合せ (既存または新規の契約、既存または新規の資産) が対象となります。

前提条件

以下の実用例を最初に実施している必要があります。

- 実用例1 - 適切な参照レコード [献 36]
- 実用例2 - 単純カタログ [献 49]

シナリオ

以下のことを行います。

- 既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」を既存の資産「PC1 - デスクトップコンピュータ」にリンクします。
- 既存の契約「PC1 - メンテナンス契約」を既存の資産「PC1 - 外付けCDライター」にリンクします。
- 新規の契約「PC1 - 保証」を既存の資産「PC1 - デスクトップコンピュータ」にリンクします。
- 新規の契約「PC1 - 保証」を新規の資産「PC1 - 外付けCDライター」にリンクします。

作成

既存の資産の作成

- 1 資産を表示します（ナビゲーションバーにある [ポートフォリオ管理/資産] メニュー）。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
モデル (Model)	PC1 - デスクトップコンピュータ
[全般] タブ	
資産タグ (AssetTag)	PC14 - 001

- 4 資産の作成を確定します（ [作成] ボタン）。
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

既存の契約の作成

- 1 契約を表示します（ナビゲーションバーの [契約/契約] リンク）。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
リファレンス (Ref)	PC14 - 001
モデル (Model)	PC1 - メンテナンス契約
[全般] タブ	
会社 (Company)	PC1 - MySupplier



- 4 契約の作成を確定します（[作成] ボタン）。
- 5 すべてのウィンドウを閉じます。

依頼の作成

- 1 依頼を表示します（ナビゲーションバーの[調達/依頼] リンク）。
- 2 [新規作成] をクリックします。
- 3 新規依頼の詳細画面が表示されます。
- 4 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。


フィールドまたはリンク	値
目的	PC14 - 契約をポートフォリオ品目に関連付ける
番号 (amRequest)	PC14 - REQ001

- 5 依頼の作成を確定します（[作成] ボタン）。
- 6 [明細] タブを選択します。
- 7 以下の表に示すようにフィールドとリンクを入力することによって、以下の依頼明細を追加します（[+] ボタン）。


フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	契約PC14 - 001を資産PC14 - 001にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCntr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	PC14 - 001 (PC1 - メンテナンス契約)
依頼する品目 (UsedReqLineAsset) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ (CP14 - 001)

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	新規PC1 - 外付けCDライター
[全般] タブ	
契約の使用 (bCntrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
以下の依頼明細を作成可能にするには、まず依頼への変更を確定する必要があります（Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン）。	

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	契約PC14 - 001を1 新規PC1 - 外付けCDライターに結び付ける
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用契約 (UsedContract)	PC14 - 001 (PC1 - メンテナンス契約)
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 新規PC1 - 外付けCDライター

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	新規PC1 - 保証
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	いいえ
モデル (Model)	PC1 - 保証

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「1 新規PC1 - 保証」を資産「PC14 - 001」にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr)	1 新規PC1 - 保証
依頼する品目 (UsedReqLineAsset) の右側にある  アイコンをクリックします。	
使用資産 (UsedAsset)	PC1 - HP Compaq PC1 - デスクトップコンピュータ (CP14 - 001)

フィールドまたはリンク	値
詳細 (LineDesc)	「1 新規PC1 - 保証」を「1 新規PC1 - CDライター」にリンク
[全般] タブ	
契約の使用 (bCtrUtilization)	はい
依頼する契約 (UsedReqLineCtr)	1 新規PC1 - 保証
依頼する品目 (UsedReqLineAsset)	1 新規PC1 - 外付けCDライター

- 8 作成された依頼明細の詳細画面を閉じます。
- 9 次の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
ステータス (seStatus)	承認済

- 10 依頼に加えた変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 11 依頼の詳細画面を表示したままにします。

依頼から新規品目の発注を作成する

- 1 依頼「PC14 - REQ001」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 Windowsクライアントの場合： [発注] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発注] を選択します。
- 3 [発注を作成] ウィザードで以下の表に示す値を入力します。

フィールドまたはリンク	値
[見積を作成 PC14 - REQ001] ページ 明細をすべて含める	はい
[次へ] をクリックします。	
[明細を選択] ページ カタログまたはサプライヤから選択	いいえ
[次へ] をクリックします。	
[依頼が使用するリファレンスを変更] ページ 「依頼明細のリスト」	新規PC1 - 外付けCDライター 1 1 PC2 - 外付けCD ライター (PC1 - MySupplier) PC2 - 外付けCDラ イター 150 JPY 0%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リス ト	PC2 - 外付けCDライター (PC1 - MySupplier) PC2 - 外付けCDライター 150 JPY 0% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
「依頼明細のリスト」	新規PC1 - 保証 1 1 PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier) PC2 - 保証 50 JPY 0%
[対応するカタログリファレンスのリストを表示]	ボタンをクリックします。
[対応するカタログリファレンスのリスト] リス ト	PC2 - 保証 (PC1 - MySupplier) PC2 - 保証 50 JPY 0% 0 PC1 - MySupplier
[選択されたリファレンスを依頼に関連付ける]	をクリックします。
ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン) 。	
ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン) 。	

- 4 発注を使用して作成された発注の詳細画面が表示されます。
- 5 発注に番号を指定して、以下の表に示すフィールドとリンクを入力します。

フィールドまたはリンク	値
番号 (PONumber)	PC14 - PO001

- 変更を確定します (Windowsクライアントでは [変更] ボタン、Webクライアントでは [保存] ボタン)。
- 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注する

- 発注「*PC14 - PO001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合： [発行] ボタンをクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [発行] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 発注の詳細画面を表示したままにします。

発注の受領

- 発注「*PC14 - PO001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合： [受領] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [受領] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。
- 発注から作成されたポートフォリオ品目の詳細画面が表示されます。
- ポートフォリオ品目の詳細画面を閉じます。
- 発注の詳細画面を閉じます。
- 依頼の詳細画面を表示したままにします。

既存の契約のリンクを作成する

- 依頼「*PC14 - REQ001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- Windowsクライアントの場合： [実行] をクリックします。
Webクライアントの場合： [状況依存アクション] ドロップダウンリストから [実行] を選択します。
- ウィザードの実行を確定します ([完了] ボタン)。
- ウィザードを終了します (Windowsクライアントでは [OK] ボタン、Webクライアントでは [戻る] ボタン)。

- 5 依頼の詳細画面を表示したままにします。

結果を確認する



警告:

このセクションはWindowsクライアントにのみ適用されます。

- 1 依頼「*PC14 - REQ001*」の詳細画面が表示されることを確認します。
- 2 【トラッキング】タブを選択します。
- 3 【資産】のブランチをクリックします。
- 4 新規資産「*PC1 - HP Compaq PC1 - 外付けCDライター*」が表示されます。これは、発注の受領時に作成されました。
- 5 資産「*PC1 - HP Compaq PC1 - 外付けCDライター*」の詳細画面を表示し、タブ【契約】を選択します。既存の契約「*PC1 - メンテナンス契約*」と受領された新規の契約「*PC1 - 保証*」のリンクが適切に作成されています。
- 6 資産の詳細画面を閉じます。
- 7 すべてのウィンドウを閉じます。
- 8 資産を表示します（ナビゲーションバーにある【ポートフォリオ管理／資産】メニュー）。
- 9 【資産タグ】（AssetTag）フィールドが「*PC14 - 001*」に設定された資産の詳細画面が表示されます。
- 10 【契約】タブを選択します。既存の契約「*PC1 - メンテナンス契約*」と受領された新規の契約「*PC1 - 保証*」のリンクが適切に作成されています。
- 11 すべてのウィンドウを閉じます。

III 付録

A 用語解説

用語解説では、調達モジュールで使用する基本用語の定義を示します。

資産

[資産] テーブル内のレコードは、個々のトラッキングが必要な価値のあるポートフォリオ品目です。

Asset Managerでは、各資産はリンクされた2つのレコードに対応します。

- 最初のレコードは [ポートフォリオ品目] テーブル内にあります。
- 2つめのレコードは [資産] テーブル（ [ポートフォリオ品目] テーブルのオーバーフローテーブル）内にあります。

作成されたポートフォリオ品目について [資産] テーブルにこの品目のレコードを作成するためには、このポートフォリオ品目のモデルの属性内で [管理条件] (seMgtConstraint) フィールドを「**固定資産タグ**」に設定する必要があります。すべての資産はポートフォリオ品目ですが、すべてのポートフォリオ品目が資産であるとは限りません。

関連する概念

- ポートフォリオ品目 [献 247]
- 属性 [献 251]
- モデル [献 250]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
資産 (amAsset)

カタログ

カタログは、サプライヤから取得可能なものを記述します。

関連する概念

- 製品 [献 252]
- カタログリファレンス [献 253]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
カタログ (amCatalog)

分類の基準

製品の分類に使用する基準を示します。

関連する概念

- 分類コード [献 244]

分類コード

製品の分類に使用される分類規格によって定義されるコード

関連する概念

- 分類の基準 [献 244]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
分類コード (amProdClassCode)

発注

発注には、任意のサプライヤから取得するカタログリファレンスのリストが含まれます。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。[ステータス] (seStatus) フィールドの値によって、両者を区別することができます。

関連する概念

- 見積 [献 247]
- 発注明細 [献 249]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
発注 (amOrder)

標準発注

発注の作成にするために使用できるモデルです。

関連する概念

- 発注 [献 245]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
発注 (amPOrder)

発注された品目のレコードを受領前に作成する

受領前でも発注済みの品目のレコードを作成することができます。

これは発注されたすべての製品属性適用可能です。

この手順を行っておくと、発注後すぐにビジネスプロセス（作業指示の計画、研修など）を開始することができます。

調達サイクル

調達サイクルは、以下のそれぞれの段階を続轄したものです。

- 1 依頼 [献 246]
- 2 予約 [献 253]
- 3 見積 [献 247]
- 4 発注 [献 245]
- 5 受領 [献 252]
- 6 請求書 [献 248]

依頼

依頼では、必要な場合にモデルを参照し、カタログリファレンスを使用して、要求を記述できます。

発注の受領時に作成されるレコード間の階層リンクは、依頼明細間の階層リンクによって定義されます。

Asset Managerでは、**購入依頼**（**〔調達／購入依頼〕**メニューで作成）と**社内依頼**（**〔ポートフォリオ／社内依頼〕**メニューで作成）は異なります。

社内依頼と発注は、同じレコードで表され、**〔調達／購入依頼〕**と**〔ポートフォリオ／社内依頼〕**メニューには、両方とも同じ依頼リストが表示されます。ただし、社内依頼の詳細画面には、**〔見積〕**と**〔発注〕**ボタンがありません。

これらの違いにより、**調達**モジュール（つまり**〔調達〕**メニュー）にアクセス不可で**ポートフォリオ**モジュールにアクセス可能なユーザでも**〔ポートフォリオ／社内依頼〕**メニューを使用して依頼を作成することができます。

関連する概念

- 依頼明細 [献 248]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル

依頼 (amRequest)

標準依頼

依頼を作成するために使用できるモデルです。

関連する概念

- 依頼 [献 246]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
依頼 (amRequest)

見積

見積では、実際に行われる発注を記述します。

発注と見積は同一テーブルに作成されます。[ステータス] (seStatus) フィールドの値によって、両者を区別することができます。

通常、見積は依頼から作成されます。

例外として、依頼を作成せずに見積を作成することもできます。

この場合、見積内の[発行] ボタンをクリックすると、依頼が自動的に作成されます。

関連する概念

- 発注 [献 245]
- 発注明細 [献 249]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
発注 (amOrder)

ポートフォリオ品目

[ポートフォリオ品目] テーブル内のレコードは、元のモデルに基づき、そのモデルの任意管理項目を継承します。

ポートフォリオ品目の値に応じて、そのポートフォリオ品目に基づくモデルの属性の管理条件レベルが選択されます。

この条件により、各品目を資産、ロット、またはトラッキングされないロットとして作成することができます。

ポートフォリオ品目のモデルの属性に指定されたオーバーフローテーブルに従って、その[ポートフォリオ品目] テーブルに作成されたレコードがリンクされたレコードと共に次のいずれかのテーブルに作成されます。

- 資産テーブル
- コンピュータテーブル
- 電話テーブル
- ソフトウェアのインストールテーブル

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
ポートフォリオ品目 (amPortfolio)

実行

この手順は、発注が作成されない依頼から品目を作成するために使用します。

- 内部メンテナンスタイプの作業指示
 - 契約をポートフォリオ品目にリンクする
-

請求書

請求書は、サプライヤからの請求を記録します。

請求書は、受領の詳細から作成するのがロジカルです。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
請求書 (amInvoice)

オプショングループ

オプショングループは、発注内で製品を選択するときのオプションのグループです。

例：オプション3-doorと5-doorが含まれる**ドアの数**グループ

依頼明細

依頼は、依頼明細で構成されます。

各依頼明細は、任意のモデルと関連し、このモデルに基づいて要求が記述されます。

関連する概念

- 依頼 [献 246]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
依頼明細 (amReqLine)

発注明細

発注は、発注明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関連し、このリファレンスの取引条件が記述されます。

関連する概念

- 発注 [献 245]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
発注明細 (amPOrdLine)

見積明細

発注と見積は同一テーブルに作成されます。それらは、[ステータス]
(seStatus) フィールドで識別できます。

発注明細と見積明細は、[発注明細] (amPOrdLine) テーブルで作成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに対応し、このリファレンスの取引条件が記述されます。

関連する概念

- 見積 [献 247]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
発注明細 (amPOrdLine)

請求明細

請求書は、請求明細で構成されます。

各発注明細は、任意のカタログリファレンスに関連し、そのカタログリファレンスのサプライヤによる請求が記述されます。

関連する概念

- 請求書 [献 248]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
請求明細 (amInvoiceLine)

受領明細

受領は受領明細で構成されます。

各受領明細は、任意のカタログリファレンスに関連し、そのカタログリファレンスの受領が記述されます。

関連する概念

- 受領 [献 252]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
受領明細 (amReceiptLine)

モデル

[モデル] テーブルのレコードによって、以下のテーブルにレコードを作成します。

- ポートフォリオ品目
ポートフォリオ品目の作成は、以下のいずれかのオーバーフローテーブルにレコードを同時作成することを伴う場合があります。
 - 資産テーブル
 - コンピュータテーブル
 - 電話テーブル
 - ソフトウェアのインストールテーブル
- 作業指示
- 契約
- 研修
- ケーブル

ポートフォリオ品目を作成する時、この品目の基になるモデルを必ず指定する必要があります。モデル用に入力したデータは、ポートフォリオ品目のレコードに自動的にコピーされます。例えば、コンピュータのプロセッサのタイプ、適用される税率、契約の期間などの情報がコピーされます。

[モデル] テーブルの階層構造によって、ポートフォリオを系統立てることができます。一般モデルを作成し、そこに詳細な従属モデルを含めることをお勧めします。例えば、プリンタ/レーザプリンタ/Laserjetプリンタ8000DNなどです。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
モデル (amModel)

属性

[属性] テーブルのレコードによって、モデルで作成可能な品目タイプが決まります。モデルを作成する時に、属性を指定する必要があります。属性は以下のモデルで使用できます。

属性は以下のモデルで使用できます。

- ポートフォリオ品目
- 作業指示
- 契約
- 研修
- ケーブル

属性を作成する時に、この属性に基づくモデルに影響するいくつかのパラメータを定義します。例えば、[管理条件] フィールド (seMgtConstraint) を個別管理しないに設定することにより、[資産] テーブルにレコードがないポートフォリオ品目のモデルを作成できます。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
属性 (amNature) はい

オプション

オプションのコンポーネントは、製品の発注時に使用可能です。オプションは、オプショングループにまとめられます。

関連する概念

- オプショングループ [献 248]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
オプション (amProdOption)

製品

製品は、取得できる品目、品目セット、またはサービスです。

任意の製品を複数のサプライヤからさまざまな条件で取得可能で、カタログリファレンスの書式で記述されます。

例：製品「*HP VECTRA VL 800*」は、*Micro*カタログ内のリファレンスとして使用可能で、*Direct*カタログ内でも参照されます。

製品は、単一オブジェクト (CPU) またはオブジェクトのセット (コンピュータ設定) に対応します。

関連する概念

- カタログリファレンス [献 253]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
製品 (amProduct)

返却

オブジェクトを受領後にサプライヤに返却することで構成される操作です。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
受領 (amReceipt)

受領

商品の配達またはサービスの受領を認識し登録することで構成される処理を指します。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル
受領 (amReceipt)

カタログリファレンス

カタログリファレンスには、任意のサプライヤでの任意の製品の取引条件が記述されます。

カタログリファレンスは、カタログ内にまとめられます。

関連する概念

- カタログ [献 244]

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル

カタログリファレンス (amCatRef)

予約

Asset Managerでは、以下を予約できます。

- 既に在庫にあるポートフォリオ品目
- 取得する予定のポートフォリオ品目

ポートフォリオ品目は、受領時に依頼明細レベルで予約されます。

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル

予約 (amReservation)

オーバースペック

複数の変数を使用する依頼定義の方法。

例：ケーブルの依頼は、ケーブルの長さで定義されます。

計量単位

パッケージされた製品を表示する単位

これらのオブジェクトを記述する**Asset Manager**データベーステーブル

単位 (amUnit)

索引

- アイコン
 - 調達サイクル - トラッキング, 61
 - インストール, 33
 - インストールするモジュール, 31
 - オーバースペック - 定義, 253
 - オプション (参考 製品)
 - (参考 依頼のオプション製品)
 - オプショングループ
 - (参考 製品)
 - 定義, 248
 - カタログ, 45
 - (参考 カタログリファレンス)
 - (参考 依頼のセルフサービス)
 - (参考 製品)
 - インポート, 46
 - サプライヤ - リンク, 45
 - 一般概念, 23
 - 基本概念, 45
 - 作成, 48
 - 実行順序, 47
 - 実用例, 49
 - 手順, 47
 - 定義, 244
- カタログリファレンス
 - 一般概念, 25
 - 作成, 48
 - 定義, 253
 - カタログリファレンス (ボタン) , 91
 - コスト, 125
 - 基本概念, 125
 - 契約, 127
 - 研修会, 126
 - 作業指示
 - 契約メンテナンス, 127
 - 契約外メンテナンス, 127
 - 内部メンテナンス, 128
 - 資産, 125
 - 実用例, 128
 - コストセンタ (参考 コスト) (参考 リポジトリ)
 - コストタイプ (参考 コスト) (参考 リポジトリ)
 - (参考 基本概念) (参考 実用例)
 - データベース
 - 準備, 31
 - 専門分野データ - インポート
 - 既存のデータベース, 32
 - 新しいデータベース, 32
 - パッケージング, 181
 - 基本概念, 181
 - 実用例
 - 計量単位あり, 188

- 計量単位なし, 183
- 手順, 182
- ブランド (参考 リポジトリ)
- ポートフォリオ品目
 - 階層, 29
 - 定義, 247
- モジュールの設定... (メニュー) , 147
- モデル (参考 リポジトリ)
 - HP Service Managerで公開可能, 142
 - カタログリファレンスなし, 91
 - 階層, 29
 - 定義, 250
- ユーザ (フィールド) , 196
- ライセンス, 31
- リース, 227 (参考 リース)
 - 依頼, 229
 - 管理, 227
 - 基本概念, 227
 - 作成, 228
 - 手順, 228
 - 定義, 227
- リポジトリ, 35
- レンタル (参考 リース)
- 依頼, 67
 - (参考 依頼のオプション製品)
 - (参考 調達サイクル)
 - オプション製品付きの依頼
 - 作成, 172
 - オプション製品付きの標準依頼
 - 作成, 172
 - ステータス - 更新の自動化, 75
 - 一般概念, 26
 - 基本概念, 67
 - 作成
 - カスタム依頼, 70
 - モデルの選択による, 70
 - 標準依頼から, 69 , 68
 - 実行, 108
 - 手順, 68
 - 承認 - 自動化
 - 自動化, 73
 - 定義, 246
 - 標準依頼
 - 依頼を変換する, 68
 - 作成, 68
- 実用例, 76
- 定義, 246
- 明細
 - 階層, 29
 - 追加, 67
 - 追加ボタン, 71
 - 標準依頼から追加する, 71
 - [+] または [追加] ボタン, 72
- 明細 - 定義
 - 定義, 248
- 依頼セルフサービス
 - 基本概念, 139
- 依頼のオプション製品, 171
 - プロセス, 172
 - オプション製品付きの依頼, 172
 - オプション製品付きの標準依頼, 172
- 基本概念, 171
- 実用例, 172
- 依頼のセルフサービス, 139
- インストールと設定, 144
 - Asset Manager, 145
 - Asset Manager Automated Process Manager, 147
 - Asset Manager Web Service, 148
 - HP Connect-It, 146
 - HP Service Manager, 144
 - Web Service Proxy, 148
 - シングルサインオン, 145
 - プロファイル, 150
 - メニューの集約, 145
 - 参照レコード, 151
 - 初期化, 150
- カタログ
 - 明細, 141
 - カタログ外製品, 143
 - カテゴリ, 142
 - 品目, 142
 - カタログ外製品, 143
 - 用途, 152
- 依頼の受諾 (ワークフロー) , 75
- 会社 (参考 リポジトリ)
- 契約, 231
 - ファイナンス (参考 リース)
 - 階層, 29
 - 基本概念, 231

- 資産との関連付け
 - 既存の資産, 232, 231
 - 新規資産, 233, 232
- 実用例, 233
- 手順, 231
- 経費 (参考 コスト)
- 計量 (参考 計量単位)
- 計量単位, 173
 - 基本概念, 173
 - 実用例, 174
 - 定義, 253
- 見積, 89
 - (参考 調達サイクル)
 - 依頼から作成する
 - 依頼から, 90
 - 一般概念, 27
 - 基本概念, 89
 - 作成
 - 直接作成, 90
 - 手順, 90
 - 定義, 247
 - 明細
 - カタログリファレンスなしのモデル, 91
 - カタログリファレンスボタン, 91
 - 追加, 89
 - 定義, 249
 - 発注テンプレートから追加する, 92
 - [+] または [追加] ボタン, 92
- 交換, 209
 - 基本概念, 209
 - 実用例, 210
 - 手順, 209
- 購入依頼の承認 (ワークフロー), 73
- 在庫 (参考 リポジトリ)
 - (参考 予約)
 - 再発注, 225
- 作業指示, 215
 - 階層, 30
 - 基本概念, 215
 - 更新を自動化する, 217
 - 作成を自動化する, 216
 - 実用例, 218
 - 手順, 216
 - 契約メンテナンス, 216
 - 契約外メンテナンス, 216
- 内部メンテナンス, 216
- 作業指示トラッキング (ワークフロー), 217
- 作業指示の自動作成 (ワークフロー), 216
- 作成
 - (参考 受領)
 - 定義, 245
 - 品目を物理的に受領する前に受領する, 109
- 資産
 - (参考 交換)
 - (参考 予約)
 - 契約にリンクする (参考 契約)
 - 定義, 243
- 実行
 - (参考 受領)
 - 手順, 108
 - 定義, 248
- 実用例, 18
- 取得 (参考 調達サイクル)
- 受領
 - (参考 実行)
 - (参考 調達サイクル)
 - 一般概念, 28
 - 受領品目
 - 階層, 29
 - 定義, 252
 - 発注, 110
 - 受領から, 111
 - 前提条件, 110
 - 発注から, 110
 - 明細 - 定義, 250
- 従業員 (参考 リポジトリ)
- 準備段階, 31
- 製品
 - オプション
 - 原則, 46
 - 作成, 48
 - 定義, 251
 - カタログ外製品, 143
 - パッケージング (参考 パッケージング)
 - 一般概念, 24
 - 階層, 29
 - 作成, 48
 - 定義, 252
 - 複合製品, 157
 - 実用例, 164, 158

- 定義, 157
- 複合製品, 157
- 製品分類コード
 - 定義, 244
- 請求書, 121
 - (参考 調達サイクル)
 - 一般概念, 28
 - 基本概念, 121
 - 作成
 - 受領から, 122
 - 前提条件, 121
 - 直接, 122
 - 手順, 121
 - 定義, 248
 - 明細
 - 追加, 122
 - 定義, 249
- 専門分野データ, 32, 32
- 前提条件, 31
- 属性 (参考 リポジトリ)
 - 定義, 251
- 調達 (参考 調達サイクル)
- 調達サイクル
 - (参考 依頼)
 - (参考 見積)
 - (参考 受領)
 - (参考 請求書)
 - (参考 発注)
 - トラッキング, 60
 - アイコン, 61
 - 一般概念, 25
 - 基本概念, 59
 - 実用例, 61
 - 段階, 59
 - 定義, 245
- 発注, 95
 - (参考 調達サイクル)
 - 一括発注, 99
 - 依頼, 100
 - 管理, 99
 - 基本概念, 99
 - 金額 - 整合性, 101
 - 作成, 100
 - 実用例, 102
 - 手順, 100
 - 前提条件, 228, 100
 - 定義, 99
 - 発注, 101
 - 一般概念, 28
 - 基本概念, 95
 - 定義, 245
 - 発注された品目を作成する - 実用例, 113
 - 発注された品目 - 受領前の作成, 109
 - 標準発注, 96
 - ステータスの更新, 97
 - バージョン, 98
 - 依頼から, 97
 - 見積から, 96
 - 手順, 96
 - 標準発注 - 定義, 245
 - 変更, 95
 - 明細 - 定義, 249
 - 発注明細 - 階層, 29
 - 部署 (参考 リポジトリ)
 - 分類 (参考 分類コード) (参考 分類の基準)
 - 分類の基準
 - 定義, 244
 - 返却
 - (参考 受領)
 - 一般概念, 28
 - 手順, 112
 - 返却品
 - 定義, 252
 - 予約, 81
 - Create, 82
 - ウィザードの使用, 82
 - 依頼明細から, 82
 - キャンセル, 83
 - ウィザードの使用, 83
 - 依頼明細から, 84
 - 概要, 27
 - 基本概念, 81
 - 在庫中資産, 109
 - 実用例, 84
 - 取得予定の品目, 195
 - プロセス, 195
 - 基本概念, 195
 - 実用例, 196
 - 手順, 82
 - 受領品目を作成する, 110

定義, 253
予約の表示, 84
[ポートフォリオ品目] テーブル
(参考 予約)

A

Asset Manager Application Designer
 専門分野データ - インポート
 既存のデータベース, 32
 新しいデータベース, 32
Asset Manager Automated Process Manager
 スケジュールされたモジュール, 147
Asset Manager Automated Process Manager
 のスケジュールされたモジュール, 147

H

HP Connect-It
 インストールと設定, 146
 シナリオの初期化, 151
HP Service Manager
 Linkerスケジューラ, 151
 カタログ (参考 依頼のセルフサービス)

